

昭和大学病院・昭和大学病院附属東病院 年報

目 次

I	病院概要	
	1) 病院理念	7
	2) 施設概要	11
	3) 沿 革	13
	4) 組 織	16
	5) 医療機関の承認・指定状況等	17
	6) 届出施設基準	18
II	診療統計及び臨床評価指標	
	1) 病院運営委員会に報告している統計資料	25
	2) 診療科別・疾病分類別（入院）順位表	31
	3) 診療科別 外来・入院診療実績	42
III	各部門活動状況	
1	昭和大学病院	
	〈診療部門〉	
	1) 呼吸器・アレルギー内科	51
	2) リウマチ・膠原病内科	53
	3) 腎臓内科	55
	4) 消化器内科	57
	5) 血液内科	59
	6) 循環器内科	61
	7) 腫瘍内科	63
	8) 総合診療科（ER）	65
	9) 感染症内科	67
	10) 心臓血管外科	69
	11) 呼吸器外科	71
	12) 消化器・一般外科	73
	13) 乳腺外科	75
	14) 小児外科	77
	15) 脳神経外科	79
	16) 整形外科	81
	17) リハビリテーション科	83
	18) 形成外科	85
	19) 産婦人科	87
	20) 小児科	89
	21) 泌尿器科	91
	22) 耳鼻咽喉科	93
	23) 放射線科	95

24) 放射線治療科	97
25) 麻酔科	99
26) 救急医学科	101
27) 臨床病理診断科	103
28) 歯科・口腔外科	105
〈中央診療部門〉	
1) 総合周産期母子医療センター	106
1-1) 産科部門	106
1-2) 新生児部門	107
2) 血液浄化センター	109
3) 救命救急センター	111
4) ICU	112
5) HCU	114
6) CCU	115
7) リハビリテーションセンター	117
8) 中央手術室	119
9) 緩和ケアセンター	120
10) 褥瘡ケアセンター	122
11) 腫瘍センター	123
12) ブレストセンター	124
13) 輸血センター	126
14) 超音波センター	128
15) 内視鏡センター	129
16) 頭頸部腫瘍センター	130
17) 小児循環器・成人先天性心疾患センター	132
〈診療・患者支援部門〉	
1) 看護部	133
2) 薬局	135
3) 放射線室	137
4) 臨床病理検査室	139
5) 栄養科	141
6) 臨床工学室	143
〈診療運営部門〉	
1) 臨床試験支援センター	145
2) 診療録管理室	146
3) 医療情報室	147
4) 管理課	148
5) クオリティマネジメント課	150
6) 医事課	151
7) 医療推進課	153
〈医療安全管理部門〉	
1) 医療安全管理部門	154

〈感染管理部門〉	
1) 感染管理部門	156
〈ベッドコントロール管理室〉	
1) ベッドコントロール管理室	158
〈総合相談センター〉	
1) 総合相談センター	159
2 昭和大学病院附属東病院	
〈診療部門〉	
1) 糖尿病・代謝・内分泌内科	165
2) 神経内科	167
3) 精神神経科	169
4) 眼科	171
5) 皮膚科	173
6) 麻酔科（ペインクリニック）	175
〈中央診療部門〉	
1) リハビリテーション室	177
2) 手術室	179
〈診療・患者支援部門〉	
1) 看護部（大学病院看護部に収蔵 P133 参照）	
2) 薬局	180
3) 臨床病理検査室（大学病院臨床病理検査室に収蔵 P139 参照）	
4) 放射線室	182
5) 栄養科	183
〈診療運営部門〉	
1) 臨床試験支援室（大学病院臨床試験支援センターに収蔵 P145 参照）	
2) 管理課	185
〈医療安全管理部門〉	
1) 医療安全管理部門	187
〈感染管理部門〉	
1) 感染管理部門	189
〈総合相談センター〉	
1) 総合相談センター（大学病院総合相談センターに収蔵 P159 参照）	

I 病院概要

1) 病院理念

昭和大学の理念

本学は、創設者である上條秀介博士の「国民の健康に親身になって尽せる臨床医家を養成する」という願いのもとに昭和3年（1928年）に設立された。その後、医学部・歯学部・薬学部および保健医療学部の四学部からなる医系総合大学に発展し、人々の健康の回復・維持・増進に貢献すべく、医療に携わる多くの専門家を輩出してきた。価値観が多様化し、社会構造の変化が地球規模で進む現代では、人々の医療に対する要求は多様かつ高度になり、医療のあり方もそれぞれの専門領域で深化するとともに分化してきた。その一方で、多種の医療専門職が互いに連携して克服すべき課題も生じ、専門領域の新たな統合も模索されてきている。このような時代の要請に対して、本学こそ、医系総合大学という特長を生かして、専門領域の深化と連携をはかり、知の新たな創造をめざすにふさわしく、またその達成が可能であると自ら信じるものである。これまでも増して、建学以来受け継がれてきた「至誠一貫」の精神を体現し、真心を持って国民一人一人の健康を守るために孜孜として尽力することを本学の使命とする。

昭和大学病院の理念

- | | | |
|-----------|-----------|----------|
| ● 患者本位の医療 | ● 高度医療の推進 | ● 医療人の育成 |
|-----------|-----------|----------|

昭和大学病院が目標とする医療

1. 患者さんの目線で考える医療
2. 職種・職域を越えたチーム医療
3. 先進的な医療の実践

昭和大学病院の基本方針

1. 患者さんと共にチーム医療を実践する。
2. 特定機能病院及び地域の基幹病院として高度急性期医療を推進し、質の高い医療を提供する。
3. 教育病院としての機能を充実し、質の高い医療人の育成を行う。
4. 生命倫理を尊重し臨床研究を実施する。

昭和大学病院職員の倫理指針

1. 安全で良質な医療の提供に努める。
2. 患者さんの生命及び人間としての尊厳、権利を尊重する。
3. 患者さんに対して全て平等に接する。
4. 患者さんに対し診療について解りやすい言葉と方法で納得されるまで説明する。

患者さんの権利

医療は患者さんと医療従事者（医療機関）との十分な信頼関係の上で成り立っています。昭和大学病院は、すべての患者さんの下記の権利を尊重した医療を行います。

1. 安全で良質な医療を受ける権利。
2. 各人の人格が尊重された医療を受ける権利。
3. 個人の希望や意見を述べる権利とともに、希望しない医療を拒否する権利。
4. 解りやすい言葉と方法で、納得できるまで説明と情報を受ける権利。
5. 十分な説明と情報を受けた上で、治療方法などを自らの意思で選択する権利。

当病院は医学教育のための施設でもあります。そのため、医学生・薬学生や看護学生などの教育実習が行われております。また、当病院は教育とともに医学研究を行っておりますので、患者さんの医学的な記録を研究に使用させていただくことがあります。この場合、患者さんの人権および個人情報保護は保護された上で行いますので、あわせて皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

昭和大学病院を受診される患者の皆様へ

－医療安全に関するメッセージ－

病院の中で行われる手術や注射、検査などを診療行為と言います。その診療行為の多くは、皮膚を切ったり、体に針を刺したりするため、身体にとって負担となります。通常、その負担よりも診療行為による治療効果等の「利益」の方が大きいので、病院では診療行為が行われるわけです。しかし、医療とは本質的に不確実なものである点もご理解下さい。つまり、私たち医療に携る者が、例えば、不注意によって起こしてしまうような「過失」がなくても、重大な合併症や偶発症が起こり得ます。加齢に伴う、またはひそかに進行していた病気が診療行為の前や後に発症する可能性もあります。それらが起こった場合は、治療に最善を尽くすことはもちろんですが、最悪の事態もあり得ます。生命の仕組みを解明する努力は日進月歩でなされていますが、医学の専門家からみても、生命は複雑でかつ神秘的でさえあります。重要な合併症で予想できるものについては十分に説明することができます。しかし、極めて稀なものや予想のつかないものもありますので、全ての可能性を網羅し説明することはできません。このように医療は必ずしも確実ではないということです。皆様には、私たちが医療行為を行うにあたり、同意書などを求めることがあると思います。その場合、医療にはこうした不確実なことが存在することをご承知いただいた上で同意書に署名して下さい。疑問があるときには、納得できるまで質問して下さい。納得できない場合には、無理に結論を出さずに、他の医療機関でのセカンド・オピニオンを参考にされるとよいと思います。何かお困りのことが生じましたら『総合相談センター（中央棟1階正面入口から入って右隣り）』に遠慮なくご相談下さい。今後とも、皆様とともに協働して質の高い医療を実践していく所存です。ご協力の程宜しくお願い申し上げます。

迷惑行為について

次のような迷惑行為は、診療をお断りするとともに、所轄警察に届ける場合があります。

- ・ 他の患者さんや職員にセクシャルハラスメントや暴力行為があった場合、もしくはその恐れが強い場合。

- ・ 大声、暴言または脅迫的な言動により、他の患者さんに迷惑を及ぼし、あるいは職員の業務を妨げた場合。
- ・ 解決しがたい要求を繰り返し行い、病院業務を妨げた場合。
- ・ 建物設備等を故意に破損した場合。
- ・ 受診に必要な危険な物品を院内に持ち込んだ場合。

これからの医療にあたって

今日の医療環境では、一つの診療所や病院のみで患者さんの診断から治療、経過観察が終了するまでのすべてを行うことが難しくなっております（これを院内完結医療といいます）。一方、近隣の医療機関と連携・協力して医療にあたることを地域内完結医療といい、国の医療政策でもあります。当病院は、地域内完結医療を目指し、病診連携を積極的に行っており「かかりつけ医」の受診を推進しております。病状が安定し、お薬のみで来院されている方や退院後などに往診が必要な患者さんに、紹介元の先生方のところに戻っていただき、「かかりつけ医」が決まっていない患者さんでは、ご希望に応じてご自宅に近い診療所・病院をご紹介いたします。また、かかりつけ医の先生方の診療において専門治療が必要と判断されたときや、定期的に検査が必要な患者さんにつきましては、従来どおり当病院で診察を行えます。詳細につきましては、主治医または医療連携窓口（中央棟1階正面入口奥）へご相談下さい。

患者さんの個人情報について

当病院は、個人の権利・利益を保護するために、個人情報を適切に管理することが社会的責務と考えます。また、知り得た患者さんの貴重な個人情報を含む記録を、医療機関としてだけでなく教育研究機関として以下に示す所定の目的に利用させていただく場合もありますので、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

1. 個人情報の利用目的

個人情報は、各種法令に基づいた院内規定を守ったうえで下記の目的に利用されます。

(1) 当病院での利用

患者さんがお受けになる医療サービス

医療保険事務

患者さんに関係する管理運営業務

（入退院等の病棟管理、会計・経理、医療事故の報告、医療サービスの向上）

医療サービスや業務の維持・改善のための基礎資料

(2) 当病院および学校法人昭和大学での利用

医学系教育

症例に基づく研究

外部監査機関への情報提供

これらの利用に当たりましては、匿名化するよう努力します。

(3) 他の事業者等への情報提供

他の病院、診療所、助産所、薬局、訪問看護ステーション、介護サービス事業者等との医療サービス等に関する連携

他の医療機関等からの医療サービス等に関する照会への回答

患者さんの診療等にあたり外部の医師等の意見・助言を求める場合

検体検査業務の委託その他の業務委託

ご家族への病状説明

医療保険事務（保険事務の委託、審査支払機関へのレセプトの提出）

審査支払機関又は保険者からの照会への回答

関係法令等に基づく行政機関及び司法機関等への提出等

関係法令に基づいて事業者等からの委託を受けて健康診断を行った場合における、事業者等へのその結果通知

医師賠償責任保険などに係る医療に関する専門の団体、保険会社等への相談又は届出等

(4) その他の利用

上記利用目的以外に個人情報を利用する場合は、書面により同意をいただくことといたします。

2. 個人情報開示請求

所定の手続きのうえ、自己の個人情報の開示を請求することができます。

(1) 開示相談窓口：総合相談センター患者相談担当（03-3784-8775）

(2) 請求手数料：患者さんが個人情報の開示を請求する場合は、当病院が定めた手数料を納めていただきます。

手数料 5,400円（税込） コピー代 1ページ 43円（税込）

※詳細は窓口にご確認ください。

3. 個人情報についての相談他

当病院での個人情報の取扱い等に関して、ご不明な点・ご異義等がございましたら、下記にご連絡下さい。

総合相談センター患者相談担当（03-3784-8775）

4. 付記

- ・上記のうち、他の医療機関等への情報提供について同意しがたい事項がある場合には、その旨を担当医にご相談下さい。
- ・お申し出がないものについては、同意していただいたものとして取り扱わせていただきます。
- ・これらのお申し出は、いつでも撤回、変更することが可能です。

診療録について

当病院の診療録は、院内、院外の施設に保存しており、運用管理においては、日常の診療に不都合が生じることの無いよう万全の体制を整えております。また、主に院外の保存につきましては、患者さんの個人情報の保護に努めた運用を行っておりますのでご了承下さい。

2) 施設概要

規模	中央棟 入院棟	SRC造 SRC造	地上11階 地上18階	地下3階 地下3階
面積	(延床面積)	中央棟 入院棟	38703.71 m ² 29297.58 m ²	
電気設備	特別高圧SNW方式3回線 22KV (3,000KVA×3) 設備容量 中央棟 変圧器25台 9,950KVA、入院棟 変圧器23台 5,000KVA、計 14,950KVA 自家用発電機 中央棟 ガスタービン発電機(空冷式) 1,500KVA×1台 入院棟 ディーゼル発電機(水冷式) 1,250KVA×1台 CVCF設備 中央棟 2組・100V出力 100KVA 入院棟 1組・100V出力 100KVA			
空調設備	中央棟 入院棟	空調機 FCU PAC 送排風機 空調機 FCU PAC 送排風機	53台 521台 20台 192台 21台 400台 24台 60台	
給排水設備	給水設備 給湯設備 排水設備 RI排水設備	中央棟 入院棟 中央棟 入院棟 中央棟 入院棟 中央棟	上水受水槽217m ³ 、上水高架水槽43m ³ 雑用水受水槽145m ³ 、雑用水高架水槽27m ³ 上水受水槽500m ³ 、上水高架水槽30m ³ ×2台 9.5m ³ ×2台 7.9m ³ ×2台、2.2m ³ ×2台、2.9m ³ ×2台 汚水排水調整槽130m ³ 、雑排水調整槽190m ³ 、雨水貯留槽204m ³ 汚水槽20m ³ 、雑排水槽20m ³ 、グリストラップ20m ³ ×2槽 貯留槽20m ³ ×3基(排水量1m ³ /日)	
ガス設備	都市ガス(中圧・低圧)			
昇降機設備	中央棟 入院棟	乗用(展望用) 人荷用(非常用) 寝台用 乗用 荷物用(クリーンタイプ) 乗用(油圧) ダムウェーター エスカレーター 乗用(非常用) 寝台用(非常用) 寝台用 人荷用(非常用) 人荷用(厨房用) ダムウェーター	120m/min 15人用 120m/min 26人用 120m/min 15人用 120m/min 15人用 60m/min 600kg 45m/min 9人用 30m/min 100kg 30m/min 1200形 150m/min 17人用 150m/min 14人用 105m/min 14人用 105m/min 17人用 150m/min 17人用 60m/min 100kg	3基(No.1~3) 2基(No.4・9) 2基(No.5・6) 2基(No.7・8) 1基(No.10) 1基(No.11) 2基(DW No.1・2) 8基 2基(No.1・2) 1基(No.3) 1基(No.4) 1基(No.5) 1基(No.6) 1基(故障中)
エネルギー設備	中央棟 入院棟	電動ターボ冷凍機×2台(289USRT) 冷温水発生機×2台(564USRT) 貫流ボイラー×4台(換算蒸発量2,000kg/h) 真空温水ボイラー×2台(1000MCal/h、400MCal/h)×1台 冷温水発生機×2台(450USRT) 貫流ボイラー×3台(換算蒸発量2,000kg/h)	燃料:都市ガス13Aおよび非常用灯油 燃料:都市ガス13A及び灯油 燃料:非常用灯油 燃料:都市ガス13A 燃料:都市ガス13A	

■昭和大学病院附属東病院(平成30年5月現在)

規模	SRC造 地上7階 地下2階				
面積	(延床面積) 東病院 12,955m ²				
電気設備	地中方式 1回線6.6kv 設備容量 Tr9台 2,800KVA 自家発電機 ガスタービン発電機(空冷式)500KVA CVCF設備 1組・100v 15KVA				
空調設備	AC 8台 AHE 3台 FCU 66台 PMAC 210台 PAC 5台 エアコン 16台 (CT室、X線室、DR、監視室、栄養科、清掃室、霊安室、守衛室、心療内科、MDF、OP休憩室) 給気ファン 計84台 シロッコ型 20台 ライン型 43台 換気扇 21台				
給排水設備	給水設備 上水受水槽 60m ³ 1基 (加圧ポンプ式) 消火水槽 給湯設備 ストレージタンク 4.2m ³ ×2台 排水設備 機械排水槽×1 雨水槽×2 汚水槽(86m ³)×1 雑排水層(80m ³)×1 湧水槽×3 グリストラップ(1m ³)×1 グリストラップ 栄養科(1m ³)×1 2階食堂×1				
ガス設備	都市ガス(低圧)				
昇降機設備	寝台用 2台 No.1、2 90m/min 14名 乗用 2台 No.3、4 90m/min 11名 ダムウェーター 2台 No.5、6 30m/min 200kg				
エネルギー設備	水冷チラー×3台 207kw×3 燃料:電気 ボイラー×2台 350kg/h(換算蒸発量) 燃料:ガス ボイラー×1台 400kg/h(換算蒸発量) 燃料:灯油 バコティンヒーター×2台 679kw(最大燃焼量) 燃料:ガス バコティンヒーター×1台 40,600KJ/m ³ (低発熱量) 燃料:ガス・灯油(併用)				

3) 沿革

昭和大学病院沿革

年号	西暦	年譜
大正 14	1925	医学博士上條秀介、医学専門学校設立の必要を提唱し石井吉五郎らと同志を募る。学校設立地を東京府荏原郡平塚大字中延に決める。
大正 15	1926	第1回創立委員会開催、創立の方針を決める。創立委員長に鍋木忠正。上條秀介宅を創立事務所とし、上條秀介常務委員となる。
昭和 2	1927	東京府荏原郡荏原町の敷地に講堂及び附属医院を建築着工。
昭和 3	1928	財団法人昭和医学専門学校を設立し、昭和医学専門学校設置。講堂及び附属医院竣工。
昭和 21	1946	学校法人昭和医科大学設立。昭和医科大学病院に名称変更。
昭和 39	1964	昭和医科大学病院を昭和大学病院に名称変更。
昭和 55	1980	昭和大学病院入院棟竣工。
昭和 62	1987	東棟（現、昭和大学病院附属東病院）開設。
平成 6	1994	昭和大学病院、特定機能病院に認可される。
平成 7	1995	阪神淡路大震災で昭和大学医療救援隊1か月間医療奉仕。エイズ拠点病院となる。
平成 8	1996	昭和大学病院中央棟第一期工事竣工、診療開始。 （地域）災害拠点病院に選定される。
平成 9	1997	東京都災害時後方医療施設の指定を受ける。
平成 10	1998	昭和大学病院中央棟二期工事竣工。
平成 11	1999	昭和大学病院中央棟二期工事竣工。東棟分離・独立。 （昭和大学病院附属東病院開設） 救命救急センターの認定を受ける。 日本医療機能評価機構により病院機能評価の認定を受ける。
平成 15	2003	東京都総合周産期母子医療センターとして指定を受ける。 DPC 対象病院となる。 東京都 CCU ネットワークに加盟する。
平成 16	2004	臨床研修指定病院となる。 日本医療機能評価機構により病院機能評価の更新認定を受ける。
平成 17	2005	東京 DMAT 指定医療機関として指定を受ける
平成 18	2006	特定機能病院入院基本料（7：1 入院基本料）届け出。
平成 20	2008	東京都認定がん診療病院として認定を受ける。
平成 21	2009	東京都母体救命対応総合周産期母子医療センターとして指定される。 日本医療機能評価機構により病院機能評価の更新認定を受ける。
平成 22	2010	がん診療連携拠点病院として認定を受ける。 ブレストセンターの新設。
平成 23	2011	臓器別のセンターの新設。 総合診療部の新設。
平成 24	2012	東京都より DMAT カーが配備。 卒後臨床研修評価機構により臨床研修評価の認定を受ける。

年号	西暦	年譜
平成 25	2013	内視鏡下手術支援ロボット「ダヴィンチ」導入。 内視鏡センター改修工事
平成 26	2014	日本医療機能評価機構により病院機能評価の更新認定を受ける。 がん診療連携拠点病院としての更新認定を受ける。 卒後臨床研修評価機構により臨床研修評価の更新認定を受ける。 頭頸部腫瘍センターの新設。 優良防火対象物の認定を受ける。
平成 27	2015	ハイブリッド手術室の新設。
平成 29	2017	小児循環器・成人先天性心疾患センター設置 電子カルテシステム稼働

昭和大学病院附属東病院沿革

年号	西暦	年譜
昭和 62	1987	東棟（現、昭和大学病院附属東病院）開設。
平成 11	1999	昭和大学病院より分離・独立。 昭和大学病院附属東病院開設。
平成 21	2009	DPC 対象病院となる。
平成 29	2017	電子カルテシステム稼働

病床種別病床数の推移
施設名 昭和大病院、昭和大附属東病院

沿革

平成30年3月31日現在

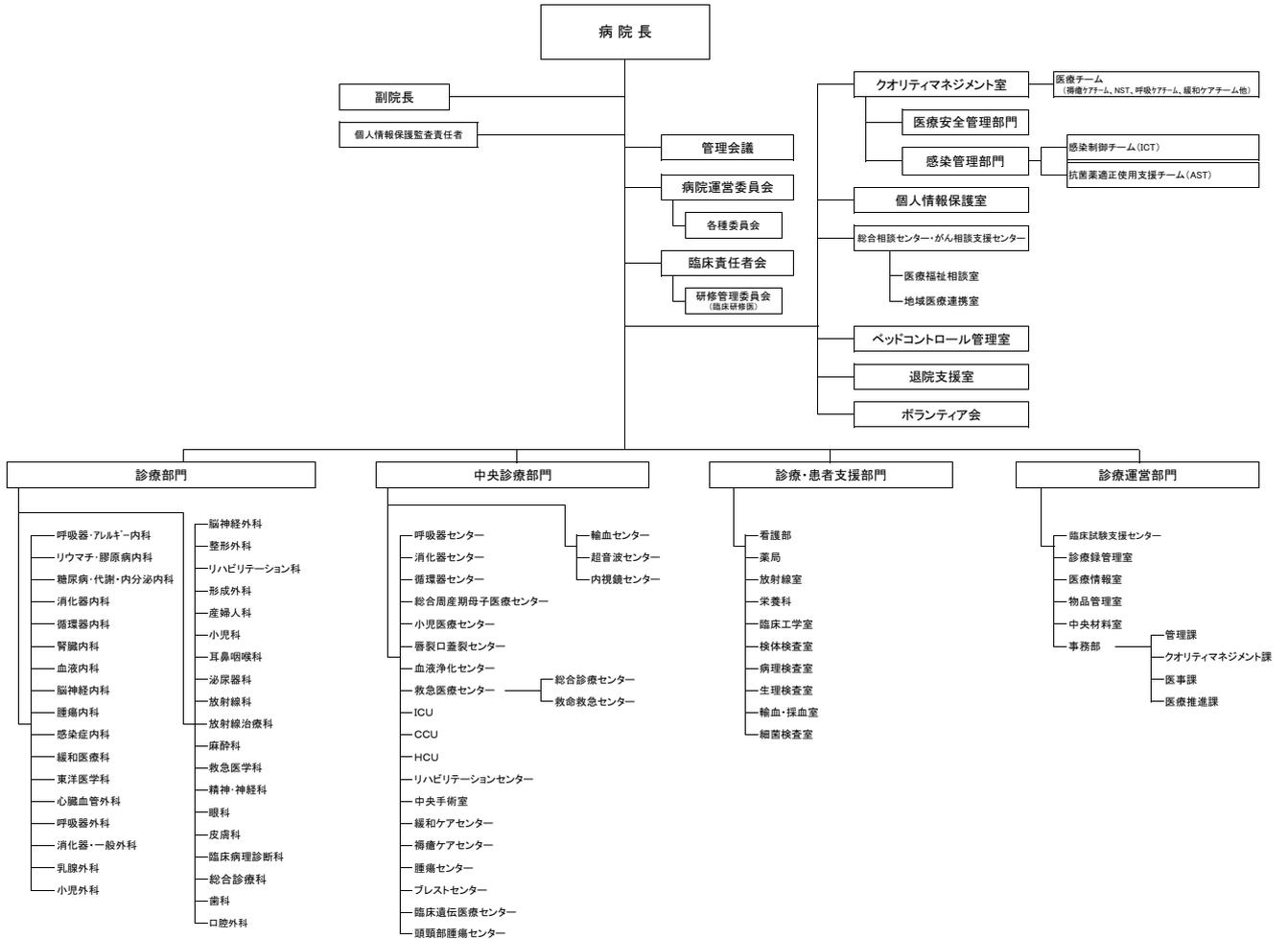
年月日	病床数					備考
	総数	一般	精神	結核	伝染	
昭和4年4月1日	92	65			27	昭和医学専門学校附属病院 入院棟開棟
昭和6年4月1日	104	77			27	
昭和13年4月1日	324	252		45	27	
昭和24年9月1日	309	224		57	28	
昭和25年1月1日	264	221	3	38	2	
昭和24年12月31日	264	261	3			
昭和26年7月1日	158	158				
昭和28年3月1日	309	178		125	6	
昭和29年6月1日	309	184		125		
昭和31年9月1日	463	338		125		
昭和32年2月1日	467	342		125		
昭和32年12月1日	467	399		68		
昭和34年6月1日	600	532		68		
昭和39年3月1日	696	631		65		昭和大病院と改称
昭和43年7月1日	806	806				
昭和44年10月1日	749	749				
昭和47年7月1日	753	753				
昭和48年6月1日	767	767				
昭和49年8月9日	727	727				
昭和55年2月5日	723	723				
昭和55年12月4日	1,343	1,343				入院棟開棟
昭和56年1月23日	826	826				入院棟へ移転した病棟を閉鎖
昭和61年5月1日	890	890				
昭和56年6月9日	843	843				
昭和57年4月12日	990	990				西病棟開棟
昭和57年7月5日	943	943				
昭和60年8月7日	936	936				N4階改修
昭和61年4月18日	946	946				旧本館4-2病棟改修
昭和61年12月17日	947	947				N15階改修
昭和62年4月28日	1,118	1,068	50			東病棟開棟
昭和62年7月7日	1,123	1,073	50			N9階改修
昭和63年12月28日	1,131	1,081	50			救急センター改修
平成1年3月23日	1,140	1,090	50			入院棟改修
平成1年4月4日	1,148	1,098	50			〃
平成1年7月28日	1,180	1,130	50			旧4-2病棟改修
平成5年3月23日	1,176	1,126	50			本館改修
平成6年2月22日	1,142	1,092	50			本館B1、1、2、3階改修
平成9年4月22日	1,373	1,323	50			N5、6、8、9階、C1、6、8、9階改修
平成9年7月8日	1,027	977	50			N2階、旧病棟(本館、西病棟)改修
平成9年9月10日	1,031	981	50			N7、10階改修
平成9年9月29日	1,044	994	50			N2、11階改修
平成9年10月20日	1,047	997	50			N11階改修
平成10年4月2日	1,053	1,003	50			N11、14、15階改修
平成10年6月8日	1,061	1,011	50			N12、13階改修
平成10年8月12日	1,070	1,020	50			N9、10階改修
平成10年10月1日	1,094	1,044	50			N5、東棟2、4階改修
平成10年10月7日	1,100	1,050	50			N4-1、6、7階改修
平成11年2月16日	大学病院 東病院	1,050 215	1,050 165	50		東棟が東病院として独立して開設
平成11年4月1日	大学病院 東病院	885 215	885 165	50		中央棟改修
平成14年10月23日	大学病院 東病院	873 215	873 165	50		N5階改修(MFICU、LDR、新生児室の設置)
平成15年4月1日	大学病院 東病院	879 215	879 165	50		〃
平成18年5月10日	大学病院 東病院	879 199	879 199			E3～5階改修
平成18年6月6日	大学病院 東病院	853 199	853 199			N3、4、6～9、12、13、16階改修
平成22年12月1日	大学病院 東病院	844 199	844 199			・N6階の3室(15床)を新生児室へ改修 ・NICUとMFICUを3床ずつ増床
平成23年2月28日	大学病院 東病院	815 199	815 199			・臓器別のセンターの新設 ・総合診療部の新設
平成27年7月15日	大学病院 東病院	815 199	815 199			・C8カンファレンスルームを2床室へ改修 ・N5LDRの1床室2部屋を分娩室へ用途変更
平成27年8月24日	大学病院 東病院	815 199	815 199			・C9階4床室と隣接する部屋の間の壁を 撤去し、4床室と8床室へ改修 ・N4階2病棟の3床室2部屋を2床室2部屋へ減床 ・N4GCUの31床室を25床室へ減床
平成27年9月10日	大学病院 東病院	815 199	815 199			・N7階の1床室2部屋を4床室1部屋へ改修 ・N5LDRの1床室2部屋を分娩室へ用途変更
平成27年9月30日	大学病院 東病院	815 199	815 199			・N7階の1床室2部屋を4床室1部屋へ改修 ・N5LDRの1床室2部屋を分娩室へ用途変更
平成30年3月16日	大学病院 東病院	815 199	815 199			・救命救急センターの2床室を診察室へ用途変更 ・N4 GCUを25床から27床へ変更

4) 組織

組織

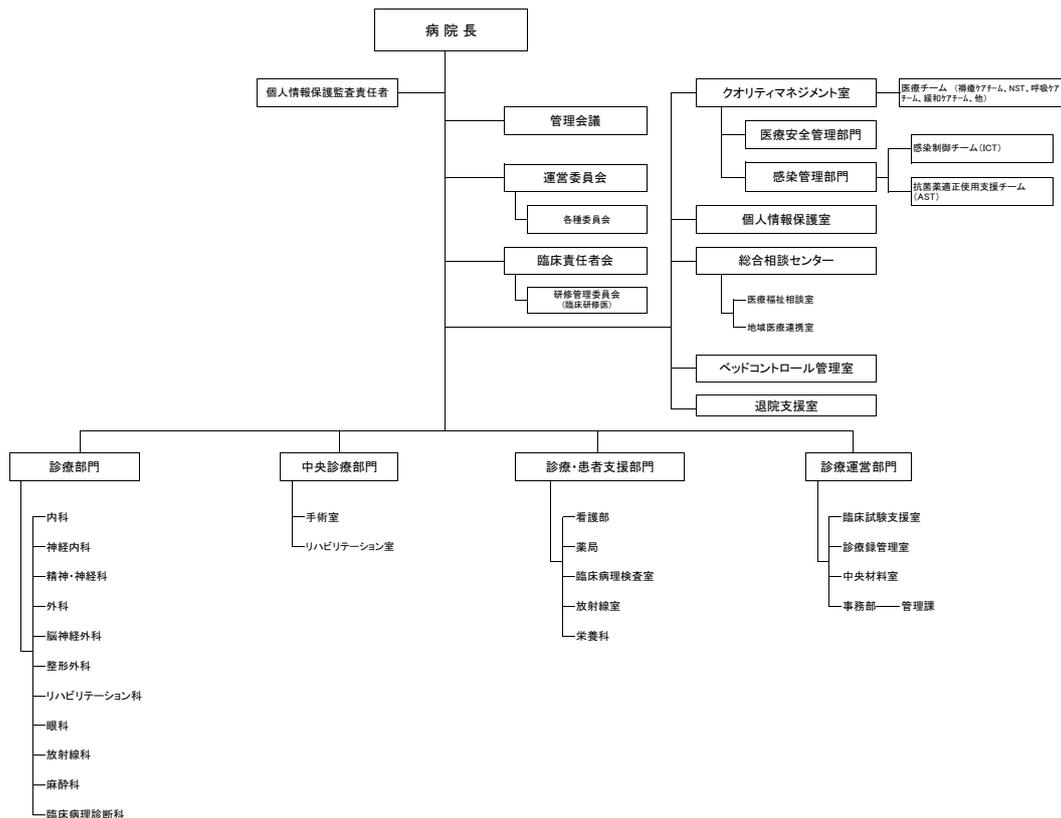
昭和大学組織図

平成 29 年 4 月 1 日



昭和大学東病院組織図

平成 29 年 4 月 1 日



5) 医療機関の承認・指定状況等

法令等の名称		承認(指定)等の年月日
医療法による病院開設承認		昭和 3年 5月 15日
特定機能病院		平成 6年 3月 1日
消防法による救急医療機関		昭和 40年 3月 18日
労働者災害補償保険法による医療機関		昭和 26年 7月 1日
地方公務員災害補償法による医療機関		昭和 26年 7月 1日
原爆援護法	一般医療	昭和 35年 10月 1日
	認定医療	—
	健康医療	—
戦傷病者特別援護法による医療機関		昭和 28年 2月 12日
母子保健法	妊娠中毒	昭和 45年 4月 1日
	妊娠乳児健康診査	昭和 45年 4月 1日
	養育医療	昭和 35年 2月 15日
生活保護法による医療機関		昭和 30年 10月 1日
障害者自立支援法	育成医療・更正医療機関	平成 19年 1月 1日
	精神通院医療機関	平成 19年 2月 1日
臨床修練指定病院(外国医師・外国歯科医師)		昭和 63年 3月 29日
指定小児慢性特定疾病医療機関		平成 27年 1月 1日
難病医療費助成指定医療機関		平成 27年 1月 1日

小児慢性特定疾患治療研究事業	
悪性新生物	昭和 48年 4月 1日
慢性腎疾患	昭和 48年 4月 1日
慢性呼吸器疾患	昭和 48年 4月 1日
慢性心疾患	昭和 48年 4月 1日
内分泌疾患	昭和 48年 4月 1日
膠原病	昭和 48年 4月 1日
糖尿病	昭和 48年 4月 1日
先天性代謝異常	昭和 48年 4月 1日
血友病等血液疾患・免疫疾患	昭和 48年 4月 1日
神経・筋疾患	昭和 48年 4月 1日
慢性消化器疾患	昭和 48年 4月 1日
先天性血液凝固因子障害等治療研究事業	
先天性血液凝固因子欠乏症	平成 元年 4月 1日

6) 届出施設基準

昭和大学病院

基本診療料に係る施設基準
歯科外来診療環境体制加算
特定機能病院入院基本料 (7 対 1)
超急性期脳卒中加算
診療録管理体制加算 2
医師事務作業補助体制加算 1 (50 対 1)
急性期看護補助体制加算 (25 対 1)
看護職員夜間配置加算 (12 対 1 配置加算 1)
療養環境加算
重症者等療養環境特別加算
無菌治療室管理加算 1・2
緩和ケア診療加算
医療安全対策加算 1
感染防止対策加算 1
患者サポート体制充実加算
褥瘡ハイリスク患者ケア加算
ハイリスク妊婦管理加算
ハイリスク分娩管理加算
※平成 28 年取扱分娩件数 1,192 件
※医師数 37 名/助産師数 41 名 (平成 29 年 4 月 1 日現在)
呼吸ケアチーム加算
病棟薬剤業務実施加算
データ提出加算 2
退院支援加算 2
救命救急入院料 1
特定集中治療室管理料 3 (小児加算)
ハイケアユニット入院医療管理料 1
総合周産期特定集中治療室管理料 1・2
新生児治療回復室入院医療管理料
小児入院医療管理料 1
特掲診療料に係る施設基準
ウイルス疾患指導料
高度難聴指導管理料
糖尿病合併症管理料
がん性疼痛緩和指導管理料
がん患者指導管理料 1・2・3
外来緩和ケア管理料
移植後患者指導管理料 (臓器移植後)
移植後患者指導管理料 (造血幹細胞移植後)
糖尿病透析予防指導管理料
地域連携小児夜間・休日診療料 2
地域連携夜間・休日診療料
院内トリアージ実施料
外来放射線照射診療料
ニコチン依存症管理料
がん治療連携計画策定料
肝炎インターフェロン治療計画料
薬剤管理指導料
医療機器安全管理料 1
医療機器安全管理料 2
歯科治療総合医療管理料
持続血糖測定器加算
遺伝学的検査
HPV 核酸検出及び HPV 核酸検出 (簡易ジェノタイプ判定)
検体検査管理加算 (I)

検体検査管理加算（Ⅱ）
心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算
時間内歩行試験及びシャトルウォーキングテスト
胎児心エコー法
ヘッドアップティルト試験
神経学的検査
補聴器適合検査
小児食物アレルギー負荷検査
内服・点滴誘発試験
センチネルリンパ節生検（片側）
画像診断管理加算 1
画像診断管理加算 2
遠隔画像診断
CT 撮影及びMRI 撮影
冠動脈 CT 撮影加算
外傷全身 CT 加算
心臓 MRI 撮影加算
乳房 MRI 撮影加算
抗悪性腫瘍剤処方管理加算
外来化学療法加算 1
無菌製剤処理料
心大血管疾患リハビリテーション料（Ⅰ）
脳血管疾患等リハビリテーション料（Ⅱ）
運動器リハビリテーション料（Ⅰ）
呼吸器リハビリテーション料（Ⅰ）
がん患者リハビリテーション料
リンパ浮腫複合的治療料
エタノールの局所注入（甲状腺に対するもの）
エタノールの局所注入（副甲状腺に対するもの）
透析液水質確保加算 2
下肢末梢動脈疾患指導管理加算
CAD/CAM 冠
皮膚悪性腫瘍切除術（悪性黒色腫センチネルリンパ節加算を算定する場合に限る。）
組織拡張器による再建手術（一連につき）（乳房（再建手術）の場合に限る。）
骨移植術（軟骨移植術を含む。）（自家培養軟骨移植術に限る。）
脳刺激装置植込術（頭蓋内電極植込術を含む。）及び脳刺激装置交換術、 脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術
人工内耳植込術、植込型骨導補聴器移植術及び植込型骨導補聴器交換術
仙骨神経刺激装置植込術及び仙骨神経刺激装置交換術
内視鏡下鼻・副鼻腔手術Ⅴ型（拡大副鼻腔手術）
乳腺悪性腫瘍手術（乳がんセンチネルリンパ節加算 1 及び又は 乳がんセンチネルリンパ節加算 2 を算定する場合に限る。）
乳腺悪性腫瘍手術（乳頭乳輪温存乳房切除術（腋窩郭清を伴わないもの）及び 乳頭乳輪温存乳房切除術（腋窩郭清を伴うもの）
ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術（乳房切除後）
経皮的冠動脈形成術（特殊カテーテルによるもの）
経カテーテル大動脈弁置換術（旧名称：経皮的冠動脈弁置換術）
磁気ナビゲーション加算
経皮的中隔心筋焼灼術
ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術
両心室ペースメーカー移植術及び両心室ペースメーカー交換術
植込型除細動器移植術、植込型除細動器交換術及び経静脈電極除去術
両室ペースメーカー機能付き植込型除細動器移植術及び両室ペースメーカー機能付き植込型除細動器交換術
大動脈バルーンポンピング法（IABP 法）
腹腔鏡下小切開骨盤内リンパ節群郭清術
腹腔鏡下小切開後腹膜リンパ節群郭清術
腹腔鏡下小切開後腹膜腫瘍摘出術及び腹腔鏡下小切開後腹膜悪性腫瘍手術
胆管悪性腫瘍手術（膵頭十二指腸切除及び肝切除(葉以上)を伴うものに限る。）
体外衝撃波胆石破砕術

腹腔鏡下肝切除術
生体部分肝移植術
体外衝撃波碎石破砕術
腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術
早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術
腹腔鏡下小切開副腎摘出術
体外衝撃波腎・尿管結石破砕術
“腹腔鏡下小切開腎部分切除術、
腹腔鏡下小切開腎摘出術、腹腔鏡下小切開腎（尿管）悪性腫瘍手術”
腎腫瘍凝固・焼灼術（冷凍凝固によるもの）
同種死体腎移植術
生体腎移植術
腹腔鏡下小切開尿管腫瘍摘出術
膀胱水圧拡張術
腹腔鏡下小切開膀胱腫瘍摘出術
人工尿道括約筋植込・置換術
腹腔鏡下小切開前立腺悪性腫瘍手術
腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いるもの） （旧名称：内視鏡手術用支援機器加算）
腹腔鏡下仙骨腔固定術
腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術（子宮体がんに限る。）
胎児胸腔・羊水腔シャント術
胃瘻造設術(内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む。)
輸血管理料Ⅰ
輸血適正使用加算
人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算
胃瘻造設時嚥下機能評価加算
麻酔管理料（Ⅰ）
麻酔管理料（Ⅱ）
放射線治療専任加算
外来放射線治療加算
高エネルギー放射線治療
1回線量増加加算
強度変調放射線治療（IMRT）
画像誘導放射線治療加算（IGRT）
体外照射呼吸性移動対策加算
定位放射線治療
定位放射線治療呼吸性移動対策加算
画像誘導密封小線源治療加算
保険医療機関間の連携による病理診断
病理診断管理加算2
クラウン・ブリッジ維持管理料

昭和大学病院附属東病院

基本診療科に係る施設基準

一般病棟入院基本料（7対1）

臨床研修病院入院診療加算

診療録管理体制加算2

重症皮膚潰瘍管理加算

医療安全対策加算1

感染防止対策加算2

データ提出加算2

特掲診療科に係る施設基準

糖尿病合併症管理料

がん性疼痛緩和指導管理料

糖尿病透析予防指導管理料

地域連携診療計画退院時指導料（I）

薬剤管理指導料

持続血糖測定器加算

皮下連続式グルコース測定

神経学的検査

ロービジョン検査判断料

内服・点滴誘発試験

遠隔画像診断

CT撮影及びMRI撮影

脳刺激装置植込術（頭蓋内電極植込術を含む）及び脳刺激装置交換術、脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術

緑内障手術（緑内障治療用インプラント挿入術（プレートのあるもの））

網膜付着組織を含む硝子体切除術（眼内内視鏡を用いるもの）

網膜再建術

医科点数表第2章第10部手術の通則5及び6（歯科点数表第2章第9部の通則4を含む）に掲げる手術

Ⅱ 診療統計及び臨床評価指標

1) 病院運営委員会に報告している統計資料

平成29年度 昭和大学病院 診療統計表 -1-

診療科目	815床												平均	合計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
許可病床数	3,115	3,389	3,410	3,291	3,449	2,956	3,115	2,826	2,870	2,921	2,854	3,208	3,117	37,404
初診患者数	30	31	30	31	31	30	30	30	31	31	28	31	30	30
診療実日数	24	24	26	25	26	24	25	23	23	23	23	26	24	292
病床利用率	85.0%	81.3%	84.6%	83.3%	85.3%	81.6%	83.6%	83.8%	82.6%	83.6%	85.9%	83.2%	82.8%	82.8%
入院患者数	1,709	1,706	1,707	1,738	1,818	1,656	1,732	1,688	1,593	1,737	1,652	1,852	1,702	20,421
入院平均在院日数	10.9	10.9	10.9	11.0	10.6	10.7	11.1	11.1	10.8	10.6	10.8	10.8	10.8	10.8
分娩件数	114	88	98	100	98	107	109	94	96	101	78	85	97	1,168
一日平均外来患者数	1,514	1,549	1,494	1,459	1,427	1,503	1,458	1,512	1,619	1,644	1,605	1,644	1,536	16,445
救急搬送患者数	529	511	564	631	585	544	567	503	511	493	483	524	537	6,445
救急車件数	619	605	564	631	585	544	567	503	511	493	483	524	537	6,716
三次救急	90	94	82	89	79	62	85	87	86	92	108	76	92	982
品川区子ども夜間救急室	98	117	88	71	153	81	88	93	126	101	79	80	103	1,230
撮影患者数	11,805	12,365	12,231	11,517	11,420	11,066	11,000	10,883	11,335	10,263	8,537	11,840	11,190	134,282
心臓血管患者数	262	282	244	248	307	246	231	241	269	246	256	287	261	3,128
頭部	896	932	858	865	909	785	916	830	869	745	825	877	859	10,307
全身	2,278	2,248	2,572	2,410	2,407	2,323	2,403	2,285	2,316	2,286	2,140	2,496	2,347	28,164
インヒホ	265	221	221	228	247	205	249	181	227	177	227	226	226	2,714
頭部	827	808	858	828	840	781	767	738	842	661	656	696	775	9,302
全身	813	792	895	783	736	679	688	638	631	617	610	710	717	8,602
臨床病理検査室	502,255	597,126	613,859	626,477	624,910	599,625	610,508	591,671	591,469	563,819	1,149	595,772	543,220	6,518,640
輸血センター	5,594	6,529	6,302	6,436	6,588	6,481	6,561	6,612	6,164	6,061	6,327	6,646	6,358	76,301
入院	11,470	11,553	11,818	11,299	12,329	10,840	12,025	11,140	11,584	12,007	12,708	13,610	11,865	142,383
件数	22,539	22,401	23,619	22,076	23,991	21,165	23,215	21,625	22,865	26,165	28,384	30,731	24,065	288,776
放射線	11,123	11,360	11,124	11,333	11,892	10,823	11,143	10,761	10,583	10,732	10,291	11,194	11,033	132,399
外来	116	134	145	117	142	143	154	151	163	203	150	168	149	1,786
件数	439	349	381	379	493	530	463	530	607	551	472	605	578	5,748
院外処方	17,151	17,625	18,893	17,902	18,283	17,767	17,144	17,488	18,783	16,759	16,107	18,474	17,698	212,376
入院	3,917	4,457	4,815	4,573	4,870	5,022	4,996	5,022	4,585	4,037	3,829	4,247	4,532	54,890
外来	2,073	1,142	1,208	484	435	556	461	556	456	336	351	427	707	8,485
患者数	923	991	1,086	1,023	1,092	1,046	1,078	1,050	1,055	1,105	1,134	1,194	1,065	12,777
患者数	2,161	2,247	2,450	2,349	2,371	2,180	2,349	2,287	2,239	2,027	2,164	2,434	2,272	27,258
血液浄化センター	582	601	530	534	545	427	395	442	442	497	479	474	503	6,036
腫瘍センター	671	667	700	687	742	713	692	764	758	636	673	670	698	8,373
緩和ケアセンター	1,053	1,240	1,082	1,095	1,050	975	1,202	990	833	640	806	1,037	1,000	12,003
頭頸部腫瘍センター	24	17	23	19	23	21	23	14	20	16	15	27	20	242
手術室	610	613	639	607	712	590	588	603	578	481	514	566	592	7,101
緊急	96	68	64	78	68	62	69	68	68	46	50	58	65	785
診療録情報開示件数	5	11	6	9	5	9	10	2	7	4	4	6	7	78
総合栄養センター	45	64	62	54	57	57	71	55	66	22	42	43	53	638
生検	217	207	225	247	193	212	195	181	212	181	179	218	210	2,524
臨床病理検査室	1,768	1,923	1,958	1,832	2,079	1,886	1,799	1,906	2,006	1,707	1,855	2,063	1,899	22,782
細胞診	15,424	997	1,110	998	1,052	1,002	1,029	923	1,102	825	942	968	2,198	26,372
迅速検査件数	68	83	70	67	84	87	80	82	83	81	71	74	78	930
入院(事件数)	472	489	479	463	459	460	479	460	485	365	450	451	459	5,512
外来(事件数)	70	84	88	90	84	89	84	66	66	56	64	52	74	891
件数	54	60	45	50	61	40	56	66	65	79	80	53	59	709
24時間以内	21	20	15	13	17	12	24	27	30	37	28	18	22	282
死産数	1	0	3	3	1	2	3	3	2	4	2	3	2	26
剖検率	15.6%	19.1%	35.7%	27.0%	22.7%	20.0%	3.4%	2.7%	24.2%	0	16.0%	9.1%	0	0
剖検数	5	20	10	10	10	6	1	10	8	11	8	3	9	102
入院診療計画対象者数	1,641	1,730	1,698	1,611	1,861	1,585	1,746	1,648	1,713	*	1,758	1,699	1,699	16,991
紹介件数	1,529	1,545	1,771	1,724	1,664	1,437	1,567	1,442	1,480	1,492	1,474	1,528	1,554	18,653
逆紹介件数	1,558	1,427	1,468	1,321	1,343	1,339	1,369	1,260	1,407	1,058	1,133	1,598	1,357	16,281

*電子カルテ導入につき、算出不可

平成29年度 昭和大学病院附属東病院 診療統計表 -2

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	合計
許可病床数		199床													
初診患者数	入院	657	696	683	1,071	1,046	937	922	928	847	919	863	657	852	10,226
	外来	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	30	365
診療費日数	入院	24	24	26	25	26	24	25	23	23	23	23	26	24	292
	外来	68.5%	73.6%	73.1%	74.9%	66.5%	71.3%	70.7%	63.1%	61.7%	53.5%	73.3%	68.2%	69%	
病床利用率	新入院数	346	393	404	407	394	359	425	386	395	347	379	381	385	4,616
	入院平均在院日数	10.5	11.1	9.5	10.8	11.5	10.3	9.5	9.5	7.7	10.6	11.0	9.3	10	
一日平均外来患者数	救急搬送患者数	395	402	376	476	478	489	477	502	527	557	535	519	478	5,732
	撮影総患者数	17	20	22	23	31	27	16	10	17	11	24	22	20	240
放射線室	心臓血管患者数	767	773	983	1,780	2,060	1,671	1,948	1,763	1,934	2,594	1,646	733	1,554	18,652
	CT	3	1	1	0	3	4	4	2	2	2	4	4	3	26
MRI	頭部	189	166	204	228	178	170	155	164	163	222	195	149	182	2,183
	全身	152	148	188	218	264	218	257	234	198	274	241	131	210	18,652
臨床病理検査室	インピホ	58	76	48	74	85	71	75	72	68	45	55	70	66	797
	MRI	257	272	250	239	301	266	277	242	229	159	188	299	248	2,979
輸血センター	頭部	41	64	57	121	203	163	211	184	169	189	207	49	138	18,652
	全身	351	409	427	440	440	429	428	364	340	476	453	400	413	4,957
薬局	件数	85	139	111	306	265	233	253	244	264	228	237	180	212	2,545
	枚数	2,152	2,430	2,513	2,449	2,753	2,312	2,375	1,931	2,106	2,675	3,023	2,481	2,433	18,652
手術室	入院	6,173	6,748	7,415	6,936	8,119	6,746	6,809	5,629	6,001	7,270	8,091	7,045	6,915	82,982
	注射薬	919	1,106	1,113	1,111	1,187	1,020	1,010	914	1,045	1,382	958	1,054	1,068	12,819
総合栄養センター	外来	14	6	4	4	5	5	4	4	6	62	12	27	13	18,652
	院外処方	59	44	22	46	48	42	27	32	37	62	44	91	46	554
臨床病理検査室(病理)	件数	7,388	7,486	7,420	8,491	8,886	8,374	8,667	8,347	8,773	7,849	7,750	9,789	8,268	99,220
	緊急	298	311	358	340	347	306	395	354	365	257	310	292	328	18,652
総合相談センター	入院	7	12	20	14	19	11	13	13	17	24	10	17	15	178
	外来	9	11	16	14	14	18	22	8	7	14	17	14	14	164
死亡数	生検	56	43	58	54	62	52	68	59	69	60	62	64	59	18,652
	細胞診	6	13	22	16	18	12	7	6	6	12	24	98	21	246
24時間以上剖検	迅速検査件数	21	22	13	16	10	14	12	5	10	12	19	17	14	171
	入院(実件数)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	18,652
紹介状計画対象者数	外来(実件数)	74	86	98	90	100	87	78	76	68	79	86	98	85	1,020
	件数	13	16	14	12	8	12	9	9	13	10	7	16	12	139
逆紹介件数	24時間以内	0	7	1	2	1	4	0	1	0	2	0	3	2	18,652
	死産数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
入院診療計画対象者数	剖検率	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	剖検数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
逆紹介件数	対象	352	361	432	355	365	397	431	410	398	※	※	398	392	3,919
	紹介件数	418	398	480	453	405	451	447	421	379	376	398	433	422	5,059
合計		394	382	421	378	383	342	333	349	319	327	372	484	374	4,484

昭和大学病院 診療科別入院状況表 - 1

診療科	4月				5月				6月				7月				8月				9月								
	定床	一日平均患者数	病床利用率	平均在院日数(※1)																									
呼吸器アレルギー-内科	57	48.4	92.6%	16.3	47.8	92.4%	16.0	52.8	104.0%	16.0	51.5	100.2%	18.8	36.5	78.7%	13.6	36.7	78.5%	16.2	36.7	78.5%	16.2	36.7	78.5%	16.2	36.7	78.5%	16.2	
呼吸器外科		4.8		9.8	4.9		9.2	6.5		10.8	5.6		12.0	8.4		12.7	8.0		12.3	8.0		12.3	8.0		12.3	8.0		12.3	
リウマチ膠原病内科		0.3		11.0	0.6		5.7	1.2		12.8	1.7		20.8	1.1		32.0	1.5		22.0	1.5		22.0	1.5		22.0	1.5		22.0	
糖尿病内分泌代謝内科		0.1		1.0			2.0	0.4		2.0	0.4		2.0	0.1		2.0	0.1		2.0	0.1		2.0	0.1		2.0	0.1		2.0	
腎臓内科	27	38.1	133.7%	23.5	26.4	97.8%	22.9	23.1	85.6%	18.9	28.8	106.8%	20.9	25.6	94.9%	19.3	21.6	80.1%	20.1	21.6	80.1%	20.1	21.6	80.1%	20.1	21.6	80.1%	20.1	
消化器内科	144	70.7	86.7%	10.3	68.3	87.2%	9.8	65.5	85.2%	8.3	73.5	89.6%	10.1	78.5	96.6%	10.1	78.9	99.1%	9.5	78.9	99.1%	9.5	78.9	99.1%	9.5	78.9	99.1%	9.5	
消化器一般外科		54.1		11.3	57.3		12.7	56.1		12.3	55.5		12.2	60.6		11.7	63.9		11.6	63.9		11.6	63.9		11.6	63.9		11.6	
血液内科	48	44.1	91.9%	27.8	51.5	107.4%	31.6	46.9	97.8%	32.8	45.9	95.6%	27.8	48.3	100.7%	36.0	49.2	102.6%	32.2	49.2	102.6%	32.2	49.2	102.6%	32.2	49.2	102.6%	32.2	
腫瘍内科	50	34.0	68.1%	16.9	33.7	67.4%	18.7	34.9	69.9%	17.2	36.8	73.5%	18.2	34.1	68.3%	16.5	31.5	63.1%	15.9	31.5	63.1%	15.9	31.5	63.1%	15.9	31.5	63.1%	15.9	
循環器内科	74	71.8	97.1%	9.2	62.3	84.1%	9.5	62.1	83.9%	9.0	55.6	75.2%	9.4	60.7	82.1%	9.3	55.0	73.4%	8.5	55.0	73.4%	8.5	55.0	73.4%	8.5	55.0	73.4%	8.5	
神経内科		2.4		2.8	3.8		5.3	4.9		4.6	3.7		6.5	7.1		4.9	6.4		5.9	6.4		5.9	6.4		5.9	6.4		5.9	
心臓血管外科	11	8.5	77.0%	25.4	9.2	83.3%	24.0	10.4	94.8%	23.9	8.8	80.4%	16.0	11.0	101.2%	21.3	8.7	78.8%	13.3	8.7	78.8%	13.3	8.7	78.8%	13.3	8.7	78.8%	13.3	
小児循環器内科																													
小児心臓血管外科																													
乳腺外科	20	15.1	75.5%	7.9	17.0	85.0%	8.7	17.8	89.2%	7.9	18.2	91.0%	9.3	18.4	92.1%	8.9	18.4	92.0%	8.4	18.4	92.0%	8.4	18.4	92.0%	8.4	18.4	92.0%	8.4	
小児科	50	41.7	83.3%	9.0	42.3	84.6%	9.4	47.4	94.8%	8.0	44.8	89.6%	8.5	50.7	101.4%	8.5	43.2	85.4%	12.8	43.2	85.4%	12.8	43.2	85.4%	12.8	43.2	85.4%	12.8	
小児外科	4	7.7	192.5%	6.7	4.2	104.0%	10.1	5.6	139.2%	9.2	7.6	189.5%	10.8	8.4	208.9%	8.8	7.0	56.2%	20.9	7.0	56.2%	20.9	7.0	56.2%	20.9	7.0	56.2%	20.9	
脳神経外科	37	32.6	88.2%	12.7	36.2	97.7%	14.5	29.0	78.5%	14.1	30.8	83.2%	13.9	33.3	89.9%	12.4	32.8	88.6%	16.0	32.8	88.6%	16.0	32.8	88.6%	16.0	32.8	88.6%	16.0	
整形外科	40	52.8	131.9%	15.5	43.7	109.3%	16.8	53.1	132.8%	21.4	48.1	120.3%	18.5	45.9	114.7%	21.0	45.0	112.4%	23.6	45.0	112.4%	23.6	45.0	112.4%	23.6	45.0	112.4%	23.6	
リハビリ科																													
形成外科	22	17.6	80.2%	7.7	19.5	88.6%	7.2	24.4	111.1%	8.6	19.4	88.1%	6.7	19.6	89.0%	6.1	12.4	75.8%	6.4	12.4	75.8%	6.4	12.4	75.8%	6.4	12.4	75.8%	6.4	
産婦人科	63	57.9	92.0%	7.2	47.4	75.3%	6.8	55.5	88.1%	7.3	53.8	85.4%	7.5	51.0	80.9%	6.3	51.8	82.2%	6.9	51.8	82.2%	6.9	51.8	82.2%	6.9	51.8	82.2%	6.9	
耳鼻咽喉科	29	28.3	97.5%	10.3	22.3	76.9%	10.1	24.6	84.9%	9.1	22.5	77.4%	8.7	26.5	91.2%	9.2	29.0	100.1%	11.0	29.0	100.1%	11.0	29.0	100.1%	11.0	29.0	100.1%	11.0	
皮膚科	13	10.0	77.2%	11.6	13.3	102.2%	14.6	10.4	80.0%	10.1	11.6	89.1%	9.6	18.1	139.5%	13.5	10.7	82.1%	10.2	10.7	82.1%	10.2	10.7	82.1%	10.2	10.7	82.1%	10.2	
泌尿器科	24	24.1	100.4%	8.7	20.3	84.7%	8.0	26.5	110.4%	11.8	22.6	95.4%	8.0	22.1	92.2%	9.7	23.6	98.2%	8.8	23.6	98.2%	8.8	23.6	98.2%	8.8	23.6	98.2%	8.8	
救急医学科	8	8.9	111.3%	4.4	9.6	119.8%	5.3	6.2	77.9%	5.3	6.7	83.9%	4.0	5.9	73.8%	4.2	8.5	106.7%	7.3	8.5	106.7%	7.3	8.5	106.7%	7.3	8.5	106.7%	7.3	
総合内科(ER)		8.9		3.2	9.7		3.3	11.0		4.9	12.7		4.2	11.1		4.4	9.0	3.3	4.4	9.0	3.3	4.4	9.0	3.3	4.4	9.0	3.3		
小計	721	681.1	94.5%	10.7	651.4	90.3%	11.1	677.5	94.0%	10.9	666.9	92.5%	11.0	683.5	94.8%	10.6	653.6	90.6%	10.6	653.6	90.6%	10.6	653.6	90.6%	10.6	653.6	90.6%	10.6	
標準病床数外	80																												
合計	801	681.1	85.0%	10.7	651.4	81.3%	11.1	677.5	84.6%	10.9	666.9	84.6%	12.0	683.5	85.3%	10.6	653.6	81.6%	10.6	653.6	81.6%	10.6	653.6	81.6%	10.6	653.6	81.6%	10.6	

※患者数については各診療科に含まれる

昭和大学病院附属東病院

診療科	4月				5月				6月				7月				8月				9月							
	定床	一日平均患者数	病床利用率	平均在院日数(※1)	一日平均患者数	病床利用率	平均在院日数(※1)	一日平均患者数	病床利用率	平均在院日数(※1)	一日平均患者数	病床利用率	平均在院日数(※1)	一日平均患者数	病床利用率	平均在院日数(※1)	一日平均患者数	病床利用率	平均在院日数(※1)	一日平均患者数	病床利用率	平均在院日数(※1)	一日平均患者数	病床利用率	平均在院日数(※1)	一日平均患者数	病床利用率	平均在院日数(※1)
呼吸器アレルギー-内科		0.0			0.0			0.0		0.0			0.0			0.0				0.0			0.0				0.0	
リウマチ膠原病内科	46	22.3	86.2%	25.7	26.8	105.6%	25.9	24.7	89.3%	19.3	21.7	91.3%	28.3	29.9	97.5%	31.0	26.5	90.9%	19.8	26.5	90.9%	19.8	26.5	90.9%	19.8	26.5	90.9%	19.8
糖尿病内分泌代謝内科		17.3		11.7	21.8		17.5	16.4		10.3	20.3		10.3	14.9		11.6	15.3		11.6	15.3		11.6	15.3		11.6	15.3		11.6
神経内科	42	40.0	95.3%	22.7	40.2	95.8%	20.6	38.2	91.0%	19.3	42.1	100.2%	25.4	47.7	113.7%	20.4	38.6	92.0%	20.0	38.6	92.0%	20.0	38.6	92.0%	20.0	38.6	92.0%	20.0
脳神経外科		0.7		40.0	0.4		26.0	1.1		12.0	0.4		20.0	1.3		15.2	4.3		20.0	4.3		20.0	4.3		20.0	4.3		20.0
整形外科	40	18.5	46.3%	31.6	20.1		29.5	21.4	53.5%	25.2	26.5		16.0	29.3	73.2%	19.3	22.6	56.5%	16.1	22.6	56.5%	16.1	22.6	56.5%	16.1	22.6	56.5%	16.1
眼科	37	36.5	98.7%	4.0	35.4	95.6%	3.9	41.1	111.2%	4.0	36.0	97.2%	4.1	35.1	94.8%	4.1	33.0	89.3%	3.9	33.0	89.3%	3.9	33.0	89.3%	3.9	33.0	89.3%	3.9
麻酔科					0.1		1.0	0.1		1.0	0.6		8.0	0.1		1.0	0.3		6.0	0.3		6.0	0.3		6.0	0.3		6.0
小計	165	136.3	82.6%	10.5	146.5	88.8%	11.1	145.5	88.2%	9.5	149.0	90.3%	9.3	160.9	97.5%	11.5	141.9	86.0%	10.3	141.9	86.0%	10.3	141.9	86.0%	10.3	141.9	86.0%	10.3
標準病床数外	34																											
合計	199	136.3	68.5%	10.5	146.5	73.6%	11.1	145.5	73.1%	9.5	149.0	74.9%	9.3	160.9	80.9%	11.5	141.9	71.3%	10.3	141.9	71.3%	10.3	141.9	71.3%	10.3	141.9	71.3%	10.3

※患者数については各診療科に含まれる

※ 1 平均在院日数= (在院患者数+退院患者数) ÷ 2

昭和大学病院 診療科別入院状況表 -2

診療科	10月				11月				12月				1月				2月				3月				年間平均							
	病床利用率		平均在院日数(%)		病床利用率		平均在院日数(%)		病床利用率		平均在院日数(%)		病床利用率		平均在院日数(%)		病床利用率		平均在院日数(%)		病床利用率		平均在院日数(%)		病床利用率		平均在院日数(%)					
	患者数	1日平均患者数	患者数	1日平均患者数	患者数	1日平均患者数	患者数	1日平均患者数	患者数	1日平均患者数	患者数	1日平均患者数	患者数	1日平均患者数	患者数	1日平均患者数	患者数	1日平均患者数	患者数	1日平均患者数	患者数	1日平均患者数	患者数	1日平均患者数	患者数	1日平均患者数	患者数	1日平均患者数				
呼吸器アレルギ-内科	46.5	17.0	87.7%	17.8	16.1	48.3	96.8%	16.0	48.9	13.7	39.1	84.3%	14.7	45.9	16.0																	
呼吸器外科	5.6	10.2	91.4%	9.7	12.7	6.9	10.7	10.6	10.6	16.0	100.8%	10.7	10.6	10.6	100.8%	16.0	9.0	17.3	1.0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
リウマチ膠原病内科	2	23.2	0.3	4.0	1.0	0.6	4.3																									
糖尿病内分泌代謝内科				0.2	4.0	0.1																										
腎臓内科	27	20	74.2%	15.9	16.9	20.2	74.8%	16.9	18.1	23.9	88.6%	19.9	32.0	118.7%	18.1	27.4	101.4%	19.2	25.3	93.3%	93.3%	19.5										
消化器内科	144	77.9	96.1%	10.6	76.0	93.4%	11.6	61.9	12.6	51.0	73.6%	8.9	68.6	90.2%	8.4	61.0	79.5%	8.7	70.5	89.2%	89.2%	9.5										
消化器一般外科	60.5	11.3	58.5	11.6	61.9	12.6	51.0	10.6	61.2	11.7	53.5	11.8	57.8	0.0%	11.8	57.8	0.0%	11.8	57.8	0.0%	11.8											
血液内科	48	53.0	110.3%	34.8	49.3	102.6%	36.3	45.8	30.2	38.9	81.1%	33.7	49.6	103.3%	30.2	45.7	95.3%	37.6	47.4	98.6%	98.6%	32.6										
腫瘍内科	50	33.8	67.5%	21.7	35.2	70.3%	19.5	30.6	12.5	40.1	80.1%	16.0	42.3	84.6%	14.6	41.9	83.9%	17.6	35.7	71.5%	71.5%	17.1										
循環器内科	74	51.3	69.3%	8.9	57.1	77.1%	9.3	68.6	9.7	59.7	80.6%	9.9	71.4	96.4%	9.6	68.0	91.9%	10.5	62.0	83.7%	83.7%	9.4										
神経内科	8.8	6.6	5.6	6.6	6.4																											
心臓血管外科	11	9.6	87.7%	15.2	9.1	82.4%	19.3	9.0	81.5%	16.6	6.2	56.6%	20.7	10.1	91.9%	23.8	8.9	81.2%	18.6	9.1	83.1%	19.8										
小児循環器内科																																
小児心臓血管外科																																
乳腺外科	20	15.8	79.0%	8.8	17.5	87.3%	8.9	16.7	8.9	19.9	98.7%	11.6	21.1	105.4%	9.9	21.9	109.5%	8.3	18.2	90.8%	90.8%	8.0										
小児科	50	51.1	102.2%	9.4	51.2	102.4%	10.1	44.7	8.6	38.5	77.0%	8.5	40.4	80.8%	8.9	45.0	90.0%	8.8	45.1	90.1%	90.1%	9.2										
小児外科	4	5.3	131.5%	7.2	5.4	134.2%	5.9	4.6	4.0	3.6	91.1%	3.6	3.6	90.2%	5.4	6.1	152.4%	7.3	5.8	133.8%	133.8%	8.3										
脳神経外科	37	30.2	81.6%	14.0	32.0	86.6%	13.8	33.7	12.0	36.0	97.2%	15.5	35.1	94.9%	13.9	33.9	91.7%	14.2	33.0	89.0%	89.0%	13.9										
整形外科	40	52.3	130.7%	21.0	55.0	137.5%	26.2	54.1	135.3%	21.1	38.6	96.6%	24.4	46.8	117.1%	28.2	55.0	137.6%	26.0	49.2	123.0%	123.0%	22.0									
リハビリ科								0.3		9.0																						
形成外科	22	14.0	63.8%	6.3	19.1	86.8%	7.4	12.2	55.3%	6.4	2.8	12.9%	6.7	1.7	7.6%	3.5	3.2	14.4%	5.9	13.8	72.8%	72.8%	6.6									
産婦人科	63	52.3	82.9%	6.8	53.3	84.7%	6.4	54.2	86.1%	7.0	51.1	81.1%	6.2	55.5	88.0%	6.5	50.3	79.9%	6.0	52.8	83.8%	83.8%	6.7									
耳鼻咽喉科	29	32.2	110.9%	11.7	25.2	86.8%	9.8	23.1	79.8%	9.1	17.5	60.4%	7.2	22.0	75.9%	8.5	25.5	91.4%	10.4	24.9	86.1%	86.1%	9.6									
皮膚科	13	12.4	95.5%	10.9	10.9	84.1%	9.5	13.3	102.2%	10.7	11.1	85.6%	12.3	11.1	85.2%	8.9	10.5	80.6%	9.2	12.0	91.9%	91.9%	10.9									
泌尿器科	24	20.1	83.7%	7.3	23.4	97.4%	9.7	17.0	70.8%	6.6	16.6	69.4%	8.1	23.5	97.9%	8.9	23.1	96.1%	7.9	21.9	91.4%	91.4%	8.6									
救急医学科	8	9.0	112.1%	5.6	9.3	116.7%	4.3	10.2	127.8%	5.6	8.3	103.2%	3.3	10.1	125.9%	4.2	9.9	123.8%	6.0	8.6	106.9%	106.9%	5.0									
総合内科(ER)		7.9		3.4	7.5		3.4	8.4		4.4		4.2		9.8		4.1	8.0		3.4	9.4												
小計	713	669.5	92.9%	11.1	671.1	93.1%	11.1	661.7	91.8%	10.5	593.3	82.3%	10.6	688.4	95.5%	10.8	666.5	92.4%	11.1	663.7	92.1%	92.1%										
標準病床数外	88																															
合計	801	669.5	83.60%	11.1	671.1	83.8%	11.1	661.7	73.3%	10.5	593.3	82.3%	10.6	688.4	85.9%	10.8	666.5	83.2%	11.1	663.7	82.9%	82.9%										

※患者数については各診療科に含まれる

昭和大学病院附属東病院

診療科	10月				11月				12月				1月				2月				3月				年間平均							
	病床利用率		平均在院日数(%)		病床利用率		平均在院日数(%)		病床利用率		平均在院日数(%)		病床利用率		平均在院日数(%)		病床利用率		平均在院日数(%)		病床利用率		平均在院日数(%)		病床利用率		平均在院日数(%)					
	患者数	1日平均患者数	患者数	1日平均患者数	患者数	1日平均患者数	患者数	1日平均患者数	患者数	1日平均患者数	患者数	1日平均患者数	患者数	1日平均患者数	患者数	1日平均患者数	患者数	1日平均患者数	患者数	1日平均患者数	患者数	1日平均患者数	患者数	1日平均患者数	患者数	1日平均患者数	患者数	1日平均患者数				
呼吸器アレルギ-内科																																
リウマチ膠原病内科	46	23.0	82.7%	18.5	22.4	74.9%	23.1	21.3	66.8%	18.0	18.0	68.2%	15.8	24.7	102.7%	17.5	23.7	80.4%	17.9	23.8	86.4%	86.4%	21.7									
糖尿病内分泌代謝内科		15.1	10.1	19.5	31.6	75.3%	22.4	29.2	69.6%	13.6	33.7	80.2%	5.0	34.7	82.7%	18.3	37.4	81.9%	15.6	37.6	89.0%	89.0%	18.6									
神経内科	42	37.9	90.2%	19.5	0.3		20.0	0.7		40.0	0.2	12.0																				
脳神経外科																																
整形外科	40	22.8	56.9%	15.4	20.9	52.3%	14.1	20.2	50.5%	11.7	21.8	54.4%	16.3	28.6	71.6%	15.0	23.2	63.1%	12.4	23.0	48.2%	48.2%	18.6									
眼科	37	36.5	98.5%	4.0	35.5	95.9%	3.6	37.0	100.1%	3.4	24.6	66.6%	4.3	32.2	87.1%	4.0	34.9	96.9%	4.2	34.8	94.3%	94.3%	4.0									
麻酔科		0.7		40.0	0.1		1.0	0.2		5.0	0.1	1.0																				
小計	165	140.7	85.3%	9.5	125.6	76.1%	8.9	122.7	74.4%	7.7	116.3	70.5%	10.6	146.0	88.5%	10.1	135.7	82.3%	9.3	138.9	84.2%	84.2%	9.9									
標準病床数外	34																															
合計	199	140.7	70.7%	9.5	125.6	78.3%	8.9	122.7	61.7%	7.7	116.3	58.5%	10.6	146.0	73.3%	10.1	135.7	68.2%	9.3	138.9	71.1%	71.1%										

※1 平均在院日数= (新入院患者数+退院患者数)÷2

在院患者延数
= (新入院患者数+退院患者数)÷2

昭和大学病院 病棟別入院状況表 - 1

病棟	4月				5月				6月				7月				8月				9月			
	定床	病棟 利用率	平均在院 日数(※1)	一日平均 患者数	病棟 利用率	平均在院 日数(※1)	一日平均 患者数	病棟 利用率	平均在院 日数(※3)	一日平均 患者数	病棟 利用率	平均在院 日数(※4)	一日平均 患者数	病棟 利用率	平均在院 日数(※5)	一日平均 患者数	病棟 利用率	平均在院 日数(※6)	一日平均 患者数	病棟 利用率	平均在院 日数(※7)	一日平均 患者数		
N-16	24	18.4	76.5%	12.7	18.6	77.7%	9.9	18.1	75.6%	10.8	19.1	79.6%	12.6	20.2	84.1%	13.2	84.2%	13.2	20.2	84.1%	13.2	84.2%	13.2	
N-15	53	48.8	92.1%	10.0	46.3	87.4%	10.1	45.9	86.7%	9.4	43.5	82.0%	8.9	48.1	90.7%	8.5	71.1%	6.8	48.1	90.7%	8.5	71.1%	6.8	
N-14	54	50.8	94.0%	14.6	47.8	88.5%	13.2	48.5	89.9%	10.4	50.2	92.0%	16.2	49.9	92.4%	14.3	92.2%	12.3	49.9	92.4%	14.3	92.2%	12.3	
N-13	43	33.7	78.4%	10.9	36.1	84.0%	14.5	34.7	80.6%	13.5	34.0	79.1%	12.3	36.8	85.6%	13.5	84.3%	13.5	36.8	85.6%	13.5	84.3%	13.5	
N-12	53	45.8	86.4%	12.5	44.6	84.2%	13.4	46.3	87.3%	11.4	47.1	88.9%	13.5	46.9	88.6%	10.8	84.9%	11.5	46.9	88.6%	10.8	84.9%	11.5	
N-11	55	51.6	93.8%	18.6	50.7	92.1%	20.6	52.7	95.8%	17.2	52.5	95.4%	18.8	47.5	86.4%	13.0	89.2%	16.4	47.5	86.4%	13.0	89.2%	16.4	
N-10	50	46.0	92.1%	31.8	46.1	92.2%	39.7	45.3	90.7%	35.7	43.5	87.1%	32.3	45.9	91.8%	35.5	91.1%	31.4	45.9	91.8%	35.5	91.1%	31.4	
N-9	54	48.3	89.5%	18.2	48.9	90.6%	21.2	51.5	95.4%	21.6	50.2	92.9%	17.3	52.0	90.4%	23.1	90.7%	19.1	52.0	90.4%	23.1	90.7%	19.1	
N-8	54	49.4	91.4%	11.9	44.1	81.6%	13.4	46.2	85.5%	12.0	45.6	84.5%	14.7	43.7	80.9%	12.5	70.2%	11.8	43.7	80.9%	12.5	70.2%	11.8	
N-7	49	46.0	93.9%	10.6	41.4	84.4%	9.1	46.5	94.9%	11.0	40.8	83.3%	8.2	43.7	89.1%	9.9	93.9%	11.0	43.7	89.1%	9.9	93.9%	11.0	
C9-A	32	25.9	80.8%	7.6	25.3	78.9%	7.5	27.2	84.9%	10.2	25.5	79.6%	8.1	25.3	78.9%	9.3	81.8%	8.8	25.3	78.9%	9.3	81.8%	8.8	
C8-A	34	27.5	80.9%	10.6	29.0	85.3%	14.5	26.0	76.4%	12.9	28.2	82.8%	13.1	28.6	84.1%	12.4	87.4%	13.3	28.6	84.1%	12.4	87.4%	13.3	
C8-B	44	36.8	83.6%	7.2	37.4	85.0%	7.4	39.7	90.3%	7.3	36.6	83.2%	6.8	38.2	86.8%	6.8	86.7%	6.8	38.2	86.8%	6.8	86.7%	6.8	
小計	599	528.9	88.3%	12.4	516.0	86.2%	13.0	528.6	88.2%	12.5	516.8	86.3%	12.6	526.8	87.9%	12.2	85.3%	12.0	526.8	87.9%	12.2	85.3%	12.0	
N-6	38	33.2	87.4%	7.0	24.2	63.7%	6.2	30.9	81.4%	7.4	30.9	81.3%	8.4	27.4	72.2%	6.1	75.2%	7.1	27.4	72.2%	6.1	75.2%	7.1	
N-5(MFICU)	9	5.9	65.9%	16.3	4.7	52.7%	10.0	5.3	59.3%	8.9	6.4	70.6%	12.2	5.3	58.8%	8.7	75.9%	13.6	5.3	58.8%	8.7	75.9%	13.6	
N-41(NICU)	15	10.8	71.8%	25.7	12.5	83.4%	40.8	11.8	78.4%	32.1	12.4	82.4%	26.3	13.0	86.9%	28.6	77.8%	27.9	13.0	86.9%	28.6	77.8%	27.9	
N-41(GCU)	17	10.8	63.3%	21.3	9.4	55.0%	22.3	11.0	59.4%	25.5	11.5	67.6%	30.5	13.3	78.4%	29.8	54.5%	29.0	13.3	78.4%	29.8	54.5%	29.0	
小児ICU	50	43.2	84.7%	6.1	33.9	67.8%	5.6	44.2	88.5%	5.8	41.8	83.6%	5.8	47.4	94.8%	5.4	75.9%	5.3	47.4	94.8%	5.4	75.9%	5.3	
小計	129	103.0	79.8%	8.1	84.7	65.7%	7.8	102.4	79.4%	7.9	102.9	79.8%	8.6	106.5	82.5%	7.4	73.1%	7.8	106.5	82.5%	7.4	73.1%	7.8	
N-2(OCU)	10	7.8	77.7%	14.6	6.6	66.5%	10.1	6.1	61.0%	11.1	6.2	61.6%	11.2	7.5	74.8%	18.3	66.3%	13.3	7.5	74.8%	18.3	66.3%	13.3	
C9-B(HCU)	12	8.5	70.6%	17.2	10.7	66.9%	16.3	10.7	67.1%	16.6	10.8	67.5%	21.2	11.5	71.8%	20.1	68.1%	15.8	11.5	71.8%	20.1	68.1%	15.8	
C9-C(ER)	22	14.7	67.0%	3.1	12.6	70.3%	2.7	13.1	72.6%	3.2	13.2	73.1%	2.7	11.8	65.6%	2.9	62.7%	2.6	11.8	65.6%	2.9	62.7%	2.6	
N-6(ICU)	14	8.2	58.3%	37.7	9.9	70.7%	24.2	7.3	52.4%	48.4	8.9	63.4%	42.0	9.6	68.9%	54.2	66.4%	36.9	9.6	68.9%	54.2	66.4%	36.9	
救急ICU	15	10.0	66.9%	3.8	10.5	70.1%	5.0	9.3	61.8%	5.4	8.3	55.1%	4.2	9.9	65.8%	4.3	67.6%	6.3	9.9	65.8%	4.3	67.6%	6.3	
小計	73	49.2	67.4%	6.0	50.4	69.1%	6.2	46.5	63.7%	6.7	47.3	64.7%	6.2	50.3	68.9%	7.1	66.3%	6.8	50.3	68.9%	7.1	66.3%	6.8	
合計	801	6681.1	85.0%	10.7	651.4	81.3%	11.1	677.5	84.6%	10.9	666.9	83.3%	11.0	683.5	85.3%	10.6	81.6%	10.6	683.5	85.3%	10.6	81.6%	10.6	

(別掲)

N-2(OCU)	10	8.8	88.3%	5.8	8.1	81.3%	3.7	7.4	74.3%	3.8	7.4	73.5%	4.1	9.1	90.6%	4.4	77.3%	5.1	9.1	90.6%	4.4	77.3%	5.1
C-6(ICU)	14	12.4	88.3%	1.9	13.9	99.3%	2.3	11.0	78.8%	1.9	13.0	92.9%	2.1	14.5	103.2%	2.0	93.6%	1.9	14.5	103.2%	2.0	93.6%	1.9
C9-B(HCU)	12	12.6	104.7%	1.9	15.0	93.8%	2.2	14.7	91.9%	2.3	15.0	93.8%	2.4	16.2	101.2%	2.1	96.9%	2.1	16.2	101.2%	2.1	96.9%	2.1
C9-C(ER)	22	18.5	84.1%	2.1	16.8	93.2%	1.8	17.1	94.8%	2.0	17.0	94.4%	1.8	15.3	84.8%	1.9	85.0%	1.8	15.3	84.8%	1.9	85.0%	1.8
新生児	20	20.9	104.7%	5.8	14.8	73.9%	5.5	18.4	91.8%	5.9	17.5	87.6%	5.9	18.3	91.3%	5.6	93.7%	5.9	18.3	91.3%	5.6	93.7%	5.9

昭和大学病院附属東病院

病棟	4月				5月				6月				7月				8月				9月			
	定床	病棟 利用率	平均在院 日数(※1)	一日平均 患者数																				
E-6	24	15.5	64.4%	10.4	17.2	71.5%	10.5	13.4	56.0%	10.1	13.9	57.9%	8.6	18.3	76.2%	13.3	52.2%	9.8	18.3	76.2%	13.3	52.2%	9.8	
E-5	44	32.0	72.8%	4.1	29.0	65.9%	3.7	36.1	82.0%	4.1	30.0	68.3%	3.9	31.5	71.7%	4.1	70.8%	4.0	31.5	71.7%	4.1	70.8%	4.0	
E-4	53	33.2	62.7%	15.7	33.5	74.4%	21.5	39.0	73.6%	13.9	39.5	74.4%	17.0	43.4	81.7%	22.0	76.7%	15.9	43.4	81.7%	22.0	76.7%	15.9	
E-3	45	32.9	73.2%	27.6	34.2	75.9%	24.5	32.5	72.3%	19.1	36.8	81.7%	19.0	37.5	83.2%	16.4	68.8%	16.8	37.5	83.2%	16.4	68.8%	16.8	
E-2	33	22.6	68.5%	19.5	26.8	81.1%	18.5	24.4	73.9%	18.1	28.8	87.4%	27.0	30.2	91.6%	21.2	80.9%	23.3	30.2	91.6%	21.2	80.9%	23.3	
合計	199	136.3	68.5%	10.5	146.5	73.6%	11.1	145.5	73.1%	9.5	149.0	74.9%	10.8	160.9	80.9%	11.5	71.3%	10.3	160.9	80.9%	11.5	71.3%	10.3	

昭和大学病院 病棟別入院状況表 -2

昭和大学病院

病棟	10月			11月			12月			1月			2月			3月			年間平均			
	一日平均患者数	病床利用率	平均在院日数(※1)	一日平均患者数	病床利用率	平均在院日数(※2)	一日平均患者数	病床利用率	平均在院日数(※3)	一日平均患者数	病床利用率	平均在院日数(※4)	一日平均患者数	病床利用率	平均在院日数(※5)	一日平均患者数	病床利用率	平均在院日数(※6)	一日平均患者数	病床利用率	平均在院日数(※7)	
N-16	24	19.3	80.2%	13.3	19.3	80.3%	10.2	19.8	82.7%	10.4	18.6	77.4%	11.1	24.0	99.9%	10.9	22.1	91.9%	12.9	19.8	82.5%	11.8
N-15	53	41.5	78.3%	7.7	43.6	82.2%	8.3	46.0	86.7%	8.7	41.6	78.5%	9.4	49.3	93.0%	9.3	47.2	89.0%	10.8	45.0	84.8%	9.0
N-14	54	50.1	92.7%	13.1	49.8	92.2%	12.0	47.2	87.5%	11.8	40.1	74.3%	10.8	50.9	94.3%	13.3	48.9	90.6%	12.3	48.7	90.2%	12.9
N-13	43	35.7	83.0%	12.3	35.3	82.0%	14.3	35.1	81.7%	14.7	32.7	76.0%	13.3	37.7	87.7%	12.1	34.5	80.3%	12.0	35.2	81.9%	13.1
N-12	53	47.2	89.0%	13.5	43.3	81.8%	10.0	43.2	81.6%	9.8	40.1	75.7%	12.6	47.9	90.4%	12.4	42.0	79.2%	10.1	45.0	84.8%	11.8
N-11	55	51.3	93.2%	19.7	52.2	94.9%	20.6	51.7	94.1%	18.7	45.7	83.1%	19.0	50.5	91.9%	15.2	48.7	88.6%	18.2	50.4	91.5%	18.3
N-10	50	46.7	93.4%	38.7	43.8	87.7%	37.5	42.9	85.7%	30.4	38.0	76.1%	36.1	44.6	89.2%	34.1	43.8	87.5%	32.8	44.4	88.7%	34.7
N-9	54	52.7	97.6%	23.5	52.3	96.8%	29.3	50.5	93.5%	23.9	40.8	75.5%	21.3	48.9	90.6%	19.7	52.4	97.0%	25.1	49.8	92.2%	21.9
N-8	54	38.5	71.3%	11.1	42.5	78.6%	14.3	45.0	83.3%	12.8	41.3	76.5%	15.6	48.3	89.5%	12.6	43.1	79.9%	13.4	43.8	81.1%	13.0
N-7	49	45.6	93.1%	10.6	44.2	90.3%	10.3	40.8	81.1%	8.1	34.1	69.5%	7.4	44.7	91.3%	9.5	44.5	90.8%	9.6	43.2	88.0%	9.6
C9-A	32	27.2	84.9%	9.6	25.6	79.9%	8.6	26.0	87.4%	9.3	22.3	69.8%	8.2	26.7	83.4%	8.1	23.3	72.9%	8.8	25.5	80.3%	8.7
C8-A	34	27.0	79.5%	13.3	28.6	84.2%	14.5	29.7	85.3%	13.0	29.6	87.2%	16.6	29.9	88.0%	12.5	29.7	87.4%	13.8	28.6	84.0%	13.4
C8-B	44	34.6	78.7%	7.0	39.7	90.3%	7.2	37.5	81.1%	7.0	35.4	80.4%	7.9	40.1	91.2%	7.0	38.9	88.3%	6.4	37.8	85.5%	7.1
小計	599	517.3	86.4%	12.9	520.1	86.8%	12.9	515.5	87.4%	12.1	460.3	76.8%	12.6	543.7	90.8%	12.1	519.1	86.7%	12.5	517.0	86.4%	12.5
N-6	38	31.2	82.0%	6.7	28.6	75.3%	7.2	29.7	85.3%	7.5	30.4	80.1%	7.0	32.0	84.1%	7.0	28.7	75.0%	6.7	29.7	76.8%	7.0
N-5(MFICU)	9	5.2	57.3%	9.9	5.3	58.9%	5.8	5.0	86.1%	7.1	3.7	mm	6.4	4.5	50.4%	14.2	4.5	49.5%	11.2	5.2	62.3%	10.4
N-41(NICU)	15	13.2	87.7%	37.0	13.6	90.9%	30.1	12.2	78.1%	31.3	11.9	79.1%	46.0	11.0	73.3%	47.2	11.1	74.2%	32.9	12.1	80.3%	33.8
N-41(GCU)	17	14.4	84.8%	30.2	13.9	81.8%	39.7	10.7	55.6%	25.8	10.2	60.2%	28.3	9.9	58.2%	37.7	10.9	64.1%	35.7	19.5	65.2%	29.7
小児科	50	39.5	79.0%	5.3	39.2	78.4%	5.6	36.9	81.3%	4.8	24.5	49.0%	4.2	30.7	61.4%	5.1	40.4	80.7%	6.1	38.3	77.1%	5.4
小計	129	103.4	80.2%	7.7	100.6	78.0%	8.2	94.5	63.2%	7.4	80.7	62.6%	7.4	88.1	68.3%	8.0	95.6	74.1%	8.2	96.4	73.9%	7.9
N-2(OCCU)	10	7.1	71.3%	16.2	8.5	84.7%	17.2	7.2	73.7%	13.6	6.9	69.0%	10.6	7.9	78.6%	12.1	7.0	70.0%	15.9	7.1	71.3%	13.7
C9-B(HCU)	16	9.7	60.5%	17.1	10.8	67.7%	21.0	11.1	72.3%	19.7	11.1	69.4%	17.6	12.8	80.1%	25.9	11.2	69.8%	17.1	10.8	69.3%	18.8
C9-C(ER)	18	11.4	63.3%	2.8	11.6	64.3%	2.6	12.4	69.6%	3.0	13.6	75.4%	3.3	13.6	75.6%	3.2	11.4	63.3%	2.6	12.6	68.9%	2.9
C-6(ICU)	14	9.5	67.7%	40.3	8.3	59.3%	21.1	9.5	68.6%	20.4	9.5	67.5%	24.0	10.8	76.8%	35.2	11.3	80.4%	38.4	9.3	66.4%	35.2
救急科	15	11.1	74.2%	5.2	11.1	74.2%	4.5	11.5	76.8%	5.2	11.2	74.4%	3.6	11.6	77.4%	4.2	11.1	73.8%	6.0	10.5	69.8%	4.8
小計	73	48.8	66.9%	7.0	50.3	68.9%	6.4	51.7	70.8%	6.9	52.2	71.5%	6.1	56.6	77.6%	7.1	51.9	71.1%	7.3	50.3	68.9%	6.7
合計	801	669.5	83.6%	10.8	671.1	83.8%	11.1	661.7	82.6%	10.5	593.3	71.4%	10.6	688.4	85.9%	10.8	666.5	83.2%	11.1	1163.7	82.6%	10.8

(別掲)

N-2(OCCU)	10	8.1	81.0%	6.0	9.5	95.3%	6.6	8.5	85.2%	5.0	6.9	69.0%	4.0	7.9	78.6%	4.6	7.0	70.0%	4.0	8.0	80.4%	4.8
C-6(ICU)	14	13.4	95.4%	2.3	12.5	89.3%	1.8	13.5	96.3%	2.2	9.5	67.5%	1.4	10.8	76.8%	1.4	11.3	80.4%	1.7	12.4	88.5%	1.9
C9-B(HCU)	16	14.1	88.3%	2.0	15.0	94.0%	2.3	15.6	97.8%	2.3	11.1	69.4%	1.6	12.8	80.1%	1.4	11.2	69.8%	1.3	14.1	90.1%	2.0
C9-C(ER)	18	14.4	79.7%	2.0	15.2	84.4%	1.7	16.0	88.7%	2.0	13.6	75.4%	1.4	13.6	75.6%	1.5	11.4	63.3%	1.1	15.4	83.6%	1.8
新生児	20	20.6	103.2%	5.4	15.8	78.8%	5.5	18.5	92.3%	5.9	15.3	96.3%	4.4	16.5	82.3%	4.5	16.9	84.7%	5.0	17.7	90.1%	5.4

昭和大学病院附属東病院

病棟	一日平均患者数	病床利用率	平均在院日数(※1)	一日平均患者数	病床利用率	平均在院日数(※2)	一日平均患者数	病床利用率	平均在院日数(※3)	一日平均患者数	病床利用率	平均在院日数(※4)	一日平均患者数	病床利用率	平均在院日数(※5)	一日平均患者数	病床利用率	平均在院日数(※6)	一日平均患者数	病床利用率	平均在院日数(※7)	
E-6	24	15.6	65.1%	9.3	13.5	56.4%	8.7	14.6	61.0%	7.2	10.3	43.0%	9.2	19.3	80.2%	11.2	14.4	59.8%	10.2	14.9	62.0%	9.9
E-5	44	32.9	74.8%	4.0	30.9	70.2%	3.6	30.5	69.3%	3.4	22.5	51.0%	4.3	28.0	63.7%	4.2	33.3	75.6%	4.3	30.7	69.7%	4.0
E-4	53	34.5	65.1%	15.5	30.9	58.2%	16.0	26.8	54.0%	14.6	31.0	58.4%	14.9	36.7	69.3%	13.3	32.3	60.9%	17.1	35.8	67.5%	16.5
E-3	45	32.4	72.0%	16.8	27.5	61.2%	14.7	26.8	59.6%	12.2	29.3	65.1%	17.0	35.8	79.5%	15.8	30.5	67.7%	13.7	32.3	71.7%	17.8
E-2	33	25.2	76.4%	18.5	22.8	69.1%	21.5	22.2	67.2%	12.7	23.3	70.6%	18.6	26.2	79.3%	16.7	25.4	76.8%	13.8	25.4	76.9%	19.1
合計	199	140.7	70.7%	9.5	125.6	63.1%	8.9	122.7	61.7%	7.7	116.3	58.5%	10.6	146.0	73.3%	10.1	135.7	68.2%	9.3	138.9	69.8%	10.0

2) 診療科別・疾病分類別（入院）順位表

診療科別・疾病分類別 順位表(TOP5)

診療科	順位	ICD-10 3桁分類	主病名	件数	全体比	平均 在院日数
呼吸器・ アレルギー 内科	1	C34	肺癌	180	16.5%	13.8
	2	J18	肺炎、詳細不明	121	11.1%	18.6
	3	R91	胸部異常影、肺腫瘍	93	8.5%	4.3
	4	J84	間質性肺炎、肺線維症	81	7.4%	22.8
	5	J15	細菌性肺炎(肺炎レンサ球菌性、インフルエンザ菌を除く)	74	6.8%	16.4
	その他			542	49.7%	-
	総 計			1091	100%	15.7

診療科	順位	ICD-10 3桁分類	主病名	件数	全体比	平均 在院日数
呼吸器外科	1	C34	肺癌	71	32.9%	13.0
	2	J93	気胸(外傷性除く)	61	28.2%	11.5
	3	C78	転移性肺腫瘍、癌性胸水、癌性腹膜炎	13	6.0%	10.4
	4	J98	その他の呼吸器障害	7	3.2%	7.9
			J980 気管支狭窄症	2		
			J982 縦隔気腫	2		
			その他	3		
	5	D14	肺良性腫瘍	6	2.8%	7.8
	5	S27	外傷性気胸・血気胸	6	2.8%	17.5
その他			52	24.1%	-	
総 計			216	100%	11.7	

診療科	順位	ICD-10 3桁分類	主病名	件数	全体比	平均 在院日数
消化器内科	1	K63	大腸ポリープ	574	22.2%	2.2
	2	C22	肝細胞癌、肝内胆管癌、胆管細胞癌	230	8.9%	11.4
	3	C25	膵癌	209	8.1%	12.5
	4	K80	総胆管結石、胆石(結石を伴う炎症を含む)	176	6.8%	13.4
	5	C16	胃癌	115	4.4%	10.1
	その他			1285	49.6%	-
	総 計			2589	100%	10.0

※入院診療録サマリーの主病名を基に、「疾病及び関連保険問題の国際統計分類 第10回修正版」(ICD-10)を用いて分類・集計

診療科別・疾病分類別 順位表(TOP5)

診療科	順位	ICD-10 3桁分類	主病名	件数	全体比	平均 在院日数	
消化器・ 一般外科	1	C15	食道癌	531	29.3%	14.6	
	2	C16	胃癌	145	8.0%	13.4	
	3	K63	腸のその他の疾患	141	7.8%	4.4	
			K635 大腸ポリープ				127
			K631 腸穿孔、消化管穿孔				12
			K632 結腸瘻				2
	4	K40	鼠径ヘルニア	130	7.2%	5.1	
	5	K80	胆嚢結石症、胆石胆嚢炎	120	6.6%	6.6	
	その他			746	41.1%	-	
	総計			1813	100%	12.0	

診療科	順位	ICD-10 3桁分類	主病名	件数	全体比	平均 在院日数	
循環器内科	1	I20	狭心症	545	23.9%	3.8	
	2	I50	心不全	325	14.3%	23.1	
	3	I25	慢性虚血性心疾患	274	12.0%	3.8	
			I252 陳旧性心筋梗塞				133
			I256 無症候性心筋虚血				82
			I251 冠動脈硬化症、冠動脈狭窄				29
			I259 虚血性心疾患				25
			その他	5			
4	I48	心房細動、心房粗動	193	8.5%	5.0		
5	I21	急性心筋梗塞	114	5.0%	19.2		
	その他			825	36.2%	-	
	総計			2276	100%	10.0	

診療科	順位	ICD-10 3桁分類	主病名	件数	全体比	平均 在院日数
心臓血管 外科	1	I71	大動脈解離、大動脈瘤(破裂、未破裂)	79	41.6%	13.5
	2	I35	大動脈弁狭窄症、大動脈弁閉鎖不全症	69	36.3%	18.7
	3	I72	腸骨動脈瘤、胃大網動脈瘤	9	4.7%	12.2
	4	I34	僧帽弁閉鎖不全症、僧帽弁逆流症	8	4.2%	24.9
	5	I31	心タンポナーデ	3	1.6%	5.0
	5	I33	感染性心内膜炎	3	1.6%	79.0
	5	I74	下肢動脈閉塞症、上肢動脈閉塞症	3	1.6%	8.3
		その他			16	8.4%
	総計			190	100%	17.0

※入院診療録サマリーの主病名を基に、「疾病及び関連保険問題の国際統計分類 第10回修正版」
(ICD-10)を用いて分類・集計

診療科別・疾病分類別 順位表(TOP5)

診療科	順位	ICD-10 3桁分類	主病名	件数	全体比	平均 在院日数
小児 循環器内科	1	Q21	心室中隔欠損症、心房中隔欠損症、ファロー四徴症	18	38.3%	10.4
	2	Q20	心臓の房室および結合部の先天奇形	7	14.9%	5.9
			Q204 左室型単心室症	3		
			Q201 両大血管右室起始症	2		
			Q205 修正大血管転位	2		
	3	Q25	大動脈弁上狭窄症、肺動脈閉鎖症	5	10.6%	4.6
	3	Q26	総肺静脈還流異常、肺静脈狭窄症	5	10.6%	7.2
	5	Q23	左心低形成症候群、大動脈弁狭窄症	3	6.4%	9.7
	その他			9	19.1%	-
	総計			47	100%	8.9

※2018年1月より新設

診療科	順位	ICD-10 3桁分類	主病名	件数	全体比	平均 在院日数
小児 心臓血管 外科	1	Q20	心臓の房室および結合部の先天奇形	3	37.5%	19.3
			Q201 両大血管右室起始症	1		
			Q204 左室型単心室症	1		
			Q205 修正大血管転位	1		
	2	Q21	心室中隔欠損症	2	25.0%	7.5
2	Q25	動脈管開存症、大動脈弁上狭窄症	2	25.0%	3.5	
4	I44	完全房室ブロック	1	12.5%	10.0	
	総計			8	100%	11.3

※2018年1月より新設

診療科	順位	ICD-10 3桁分類	主病名	件数	全体比	平均 在院日数
産婦人科	1	O80	正常分娩、経膈分娩	713	28.5%	6.9
	2	D25	子宮筋腫	194	7.8%	6.8
	3	O34	既知の母体骨盤臓器の異常	161	6.4%	9.9
			O342 前回帝王切開、既往子宮術後妊娠	130		
			O343 子宮頸管無力症	19		
			O341 子宮筋腫合併妊娠	6		
			その他	6		
	4	C53	子宮頸癌	126	5.0%	7.1
5	O02	稽留流産	108	4.3%	2.1	
	その他			1197	47.9%	-
	総計			2499	100%	7.5

※出生児(ベビー)を除く

※入院診療録サマリーの主病名を基に、「疾病及び関連保険問題の国際統計分類 第10回修正版」
(ICD-10)を用いて分類・集計

診療科別・疾病分類別 順位表(TOP5)

診療科	順位	ICD-10 3桁分類	主病名	件数	全体比	平均 在院日数
小児科	1	T78	食物アレルギー、アナフィラキシーショック	684	40.5%	1.2
	2	P07	低出生体重児、早産児	123	7.3%	43.4
	3	M30	川崎病	99	5.9%	7.4
	4	R56	けいれん(熱性、その他)	55	3.3%	5.0
	5	J45	気管支喘息	53	3.1%	7.2
	その他			676	40.0%	-
	総 計			1690	100%	9.1

診療科	順位	ICD-10 3桁分類	主病名	件数	全体比	平均 在院日数
小児外科	1	K40	鼠径ヘルニア	99	35.7%	3.1
	2	K42	臍ヘルニア	30	10.8%	3.0
	2	Q53	停留精巣	30	10.8%	3.0
	4	K35	急性虫垂炎	24	8.7%	8.4
	5	K91	短腸症候群、術後イレウス	7	2.5%	41.1
	その他			87	31.4%	-
	総 計			277	100%	7.5

診療科	順位	ICD-10 3桁分類	主病名	件数	全体比	平均 在院日数
脳神経内科	1	I63	脳梗塞、脳塞栓症	38	66.7%	9.8
	2	I61	脳内出血	9	15.8%	8.1
	3	G40	症候性てんかん	3	5.3%	2.3
	4	G45	一過性脳虚血発作	2	3.5%	4.0
	その他			5	8.8%	-
	総 計			57	100%	8.3

※2018年1月より新設

※入院診療録サマリーの主病名を基に、「疾病及び関連保険問題の国際統計分類 第10回修正版」
(ICD-10)を用いて分類・集計

診療科別・疾病分類別 順位表(TOP5)

診療科	順位	ICD-10 3桁分類	主病名	件数	全体比	平均 在院日数
脳神経外科	1	I67	その他の脳血管疾患 I671 未破裂性動脈瘤、動静脈瘻 196 I670 動脈解離 12 I675 もやもや病 10 I676 静脈洞血栓症 1	219	25.5%	8.5
	2	I65	動脈狭窄・閉塞(頸動脈、脳底動脈、椎骨動脈)	163	19.0%	13.1
	3	I61	脳出血(非外傷性)	57	6.6%	18.4
	4	S06	外傷性頭蓋内損傷	46	5.4%	10.9
	5	I63	脳梗塞、脳塞栓症	43	5.0%	20.5
		その他		331	38.5%	-
		総計		859	100%	14.2

診療科	順位	ICD-10 3桁分類	主病名	件数	全体比	平均 在院日数
救急医学科	1	I46	心肺停止	202	33.8%	1.7
	2	T36-T50	急性薬物中毒、薬物過量内服	55	9.2%	2.9
	3	A41	敗血症、敗血症性ショック	22	3.7%	9.4
	4	S06	外傷性頭蓋内損傷	21	3.5%	7.3
	5	G93	蘇生後脳症、低酸素性脳症	20	3.4%	16.5
		その他		277	46.4%	-
		総計		597	100%	5.0

診療科	順位	ICD-10 3桁分類	主病名	件数	全体比	平均 在院日数
総合診療科	1	J18	肺炎、詳細不明	118	10.7%	3.3
	2	S72	大腿骨骨折	40	3.6%	2.5
	2	T78	アナフィラキシー、食物アレルギー	40	3.6%	1.7
	4	K56	イレウス、腸閉塞	35	3.2%	1.8
	5	S32	腰椎骨折、骨盤骨折	32	2.9%	4.8
		その他		837	76.0%	-
		総計		1102	100%	3.5

※入院診療録サマリーの主病名を基に、「疾病及び関連保険問題の国際統計分類 第10回修正版」(ICD-10)を用いて分類・集計

診療科別・疾病分類別 順位表(TOP5)

診療科	順位	ICD-10 3桁分類	主病名	件数	全体比	平均 在院日数
リウマチ・ 膠原病内科	1	M06	関節リウマチ、成人発症still病、RS3PE症候群	60	14.3%	20.5
	2	M30	結節性多発性動脈炎関連病態	54	12.8%	18.2
			M300 顕微鏡的多発血管炎	27		
			M301 好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	17		
			M300 結節性多発動脈炎	9		
			M301 チャウグ・シュトラウス症候群	1		
	3	M31	その他の壊死性血管障害	45	10.7%	19.7
			M313 多発血管炎性肉芽腫症	24		
		M316 巨細胞性動脈炎	11			
		その他	10			
4	M32	全身性エリテマトーデス	28	6.7%	29.6	
5	M33	皮膚筋炎、多発性筋炎、抗ARS抗体症候群	23	5.5%	30.9	
	その他		211	50.1%	-	
	総計		421	100%	22.4	

診療科	順位	ICD-10 3桁分類	主病名	件数	全体比	平均 在院日数
糖尿病・ 代謝・内分 泌内科	1	E11	インスリン非依存性糖尿病	314	65.0%	12.8
	2	E10	インスリン依存性糖尿病	31	6.4%	10.2
	3	E26	原発性アルドステロン症	28	5.8%	5.4
	4	E05	バセドウ病、甲状腺中毒症、グレーブス病	11	2.3%	13.6
	5	E13	膵性糖尿病、ステロイド性糖尿病	7	1.4%	11.3
	5	E16	低血糖	7	1.4%	8.0
		その他		85	17.6%	-
		総計		483	100%	12.2

※入院診療録サマリーの主病名を基に、「疾病及び関連保険問題の国際統計分類 第10回修正版」(ICD-10)を用いて分類・集計

診療科別・疾病分類別 順位表(TOP5)

診療科	順位	ICD-10 3桁分類	主病名	件数	全体比	平均 在院日数
腎臓内科	1	N18	慢性腎臓病(G3~5)、慢性腎不全	157	29.7%	23.9
	2	T82	シャント・グラフト閉塞、不全、感染	43	8.1%	19.7
	3	I50	心不全	25	4.7%	17.4
	4	N17	急性腎不全、腎前性腎不全、腎後性腎不全	20	3.8%	21.9
	5	E87	その他の体液、電解質および酸塩基平行障害	19	3.6%	15.1
			E875 高カリウム血症	10		
			E871 低ナトリウム血症	7		
			その他	2		
	5	N04	ネフローゼ症候群	19	3.6%	28.0
5	Z52	腎移植ドナー	19	3.6%	5.9	
		その他	227	42.9%	-	
		総計	529	100%	17.8	

診療科	順位	ICD-10 3桁分類	主病名	件数	全体比	平均 在院日数
血液内科	1	C83	びまん性非ホジキンリンパ腫	175	31.7%	34.9
	2	C92	骨髄性白血病	82	14.9%	40.3
	3	C82	濾胞性非ホジキンリンパ腫	53	9.6%	16.2
	4	C85	非ホジキンリンパ腫その他の型、詳細不明	33	6.0%	12.8
			C851 B細胞リンパ腫	18		
			C851 MALTリンパ腫	7		
			その他	8		
	4	D46	骨髄異形成症候群	33	6.0%	31.5
		その他	176	31.9%	-	
		総計	552	100%	31.1	

診療科	順位	ICD-10 3桁分類	主病名	件数	全体比	平均 在院日数
腫瘍内科	1	C34	肺癌	244	31.0%	15.6
	2	C15	食道癌	144	18.3%	15.4
	3	C18	大腸癌	111	14.1%	16.0
	4	C16	胃癌	71	9.0%	15.4
	5	C50	乳癌	52	6.6%	18.0
			その他	166	21.1%	-
			総計	788	100%	16.4

※入院診療録サマリーの主病名を基に、「疾病及び関連保険問題の国際統計分類 第10回修正版」(ICD-10)を用いて分類・集計

診療科別・疾病分類別 順位表(TOP5)

診療科	順位	ICD-10 3桁分類	主病名	件数	全体比	平均 在院日数
神経内科	1	I63	脳梗塞、脳塞栓症	269	29.2%	15.1
	2	G40	てんかん	95	10.3%	9.7
	3	G20	パーキンソン病	94	10.2%	21.6
	4	G45	一過性脳虚血発作、一過性全健忘	29	3.2%	6.9
	5	G12	筋萎縮性側索硬化症、球脊髄性筋萎縮症	17	1.8%	32.1
	5	G61	炎症性多発ニューロパチー	17	1.8%	15.0
			G610 ギランバレー症候群	7		
			G610 ミラーフィッシャー症候群	7		
			その他	3		
	5	I61	脳出血	17	1.8%	14.7
	その他			382	41.5%	-
	総 計			920	100%	19.6

診療科	順位	ICD-10 3桁分類	主病名	件数	全体比	平均 在院日数	
乳腺外科	1	C50	乳癌	574	84.9%	10.1	
	2	D05	乳房上皮内癌	52	7.7%	9.9	
	3	D24	乳房良性腫瘍	24	3.6%	3.1	
	4	C79	転移性脳腫瘍、癌性髄膜炎、癌性リンパ管症	6	0.9%	13.2	
	5	C77	腋窩リンパ節転移	5	0.7%	8.0	
		その他			15	2.2%	-
		総 計			676	100%	9.8

診療科	順位	ICD-10 3桁分類	主病名	件数	全体比	平均 在院日数	
整形外科	1	S52	前腕骨折	157	11.6%	6.3	
	2	S72	大腿骨骨折	128	9.5%	31.1	
	3	M48	脊柱管狭窄症、靭帯骨化症	101	7.5%	18.6	
	4	S42	上腕骨折、鎖骨骨折、肩関節骨折	82	6.1%	10.5	
	5	S82	下腿骨折	81	6.0%	24.8	
		その他			800	59.3%	-
		総 計			1349	100%	19.2

※入院診療録サマリーの主病名を基に、「疾病及び関連保険問題の国際統計分類 第10回修正版」
(ICD-10)を用いて分類・集計

診療科別・疾病分類別 順位表(TOP5)

診療科	順位	ICD-10 3桁分類	主病名	件数	全体比	平均 在院日数
リハビリ テーション科	1	Q65	股関節脱臼	4	80.0%	10.5
	2	I42	心筋症	1	20.0%	6.0
	総 計			5	100%	9.6

診療科	順位	ICD-10 3桁分類	主病名	件数	全体比	平均 在院日数
形成外科	1	Q37	唇顎口蓋裂、唇顎裂	255	39.2%	8.7
	2	C50	乳癌術後	123	18.9%	7.0
	3	Q35	口蓋裂	35	5.4%	8.4
	4	S02	顔面骨骨折	26	4.0%	7.3
			S0220 鼻骨骨折	8		
			S0240 頬骨骨折	6		
			S0260 下顎骨骨折	5		
	その他	7				
5	Q36	唇裂	21	3.2%	7.7	
その他			190	29.2%	-	
総 計			650	100%	7.9	

診療科	順位	ICD-10 3桁分類	主病名	件数	全体比	平均 在院日数
眼科	1	H25	加齢性白内障、成熟白内障、過熟白内障	1650	63.4%	4.2
	2	H35	その他の網膜障害	262	10.1%	4.5
			H353 加齢性黄斑変性症	170		
			H353 黄斑前膜、黄斑上膜	30		
			H352 増殖性硝子体網膜症	21		
			H352 オイル眼	16		
			H353 黄斑円孔	16		
	その他	9				
	3	H33	網膜剥離	157	6.0%	8.4
	4	H40	緑内障	102	3.9%	8.9
5	S02	眼窩底骨折、眼窩内側壁骨折	82	3.2%	4.0	
その他			348	13.4%	-	
総 計			2601	100%	4.9	

※入院診療録サマリーの主病名を基に、「疾病及び関連保険問題の国際統計分類 第10回修正版」(ICD-10)を用いて分類・集計

診療科別・疾病分類別 順位表(TOP5)

診療科	順位	ICD-10 3桁分類	主病名	件数	全体比	平均 在院日数
耳鼻咽喉科	1	J03	習慣性扁桃炎、急性扁桃炎	83	10.1%	7.2
	2	J32	慢性副鼻腔炎	72	8.8%	6.1
	3	J36	扁桃周囲膿瘍、扁桃周囲炎	54	6.6%	5.2
	4	G47	睡眠時無呼吸症候群	37	4.5%	7.5
	5	H65	滲出性中耳炎	33	4.0%	3.3
	その他			539	65.9%	-
	総計			818	100%	10.3

診療科	順位	ICD-10 3桁分類	主病名	件数	全体比	平均 在院日数
頭頸部腫瘍 センター	1	C03	歯肉癌	5	8.9%	36.4
	2	C10	中咽頭癌	4	7.1%	7.3
	2	C32	喉頭癌	4	7.1%	25.0
	2	C73	甲状腺癌	4	7.1%	8.8
	2	D36	神経鞘腫	4	7.1%	7.0
	その他			35	62.5%	-
	総計			56	100%	16.8

※2018年1月より新設

診療科	順位	ICD-10 3桁分類	主病名	件数	全体比	平均 在院日数
皮膚科	1	B02	帯状疱疹	64	16.8%	8.3
	2	L03	蜂窩織炎	53	13.9%	12.2
	3	L27	薬疹、中毒疹、薬剤性過敏症症候群	21	5.5%	10.2
	4	C44	皮膚癌(悪性黒色腫は除く)	15	3.9%	7.4
	4	L72	粉瘤、表皮嚢胞	15	3.9%	2.7
	その他			213	55.9%	-
	総計			381	100%	10.4

※入院診療録サマリーの主病名を基に、「疾病及び関連保険問題の国際統計分類 第10回修正版」
(ICD-10)を用いて分類・集計

診療科別・疾病分類別 順位表(TOP5)

診療科	順位	ICD-10 3桁分類	主病名	件数	全体比	平均 在院日数
泌尿器科	1	C61	前立腺癌、前立腺癌の疑い	267	30.9%	5.8
	2	C67	膀胱癌	174	20.1%	12.0
	3	N20	尿管結石、腎結石、結石生腎盂腎炎	82	9.5%	7.0
	4	C64	腎癌	65	7.5%	13.5
	5	N10	急性腎盂腎炎	44	5.1%	9.0
	その他			232	26.9%	-
	総計			864	100%	9.4

診療科	順位	ICD-10 3桁分類	主病名	件数	全体比	平均 在院日数
麻酔科	1	M51	腰椎椎間板ヘルニア	4	30.8%	9.8
	2	R61	多汗症	3	23.1%	2.0
	その他			6	46.2%	-
	総計			13	100%	5.5

診療科	順位	ICD-10 3桁分類	主病名	件数	全体比	平均 在院日数
正常新生児科	1	Z38	正常新生児、双胎児(体重2500g以上)	890	73.9%	6.3
	2	P07	低出生体重児、早産児	150	12.5%	4.2
	3	P21	新生児仮死	43	3.6%	2.1
	4	P05	不当軽量児(LFD、SFD)	33	2.7%	5.5
	5	P01	双胎児、品胎児(体重2500g未満)	27	2.2%	4.3
	その他			61	5.1%	-
	総計			1204	100%	5.7

※産婦人科の出生児(ベビーを含む)

※入院診療録サマリーの主病名を基に、「疾病及び関連保険問題の国際統計分類 第10回修正版」
(ICD-10)を用いて分類・集計

3) 診療科別 外来・入院診療実績

科	診療実績	平成27年度	平成28年度	平成29年度
呼吸器・アレルギー内科	外来患者数(初診)	1559	1420	1511
	外来患者数(再診)	25106	25386	26707
	外来患者数(時間外)	75	83	15
	外来患者数(合計)	26740	26889	28218
	入院患者数(延数)	13808	16843	16679

科	診療実績	平成27年度	平成28年度	平成29年度
リウマチ・膠原病内科	外来患者数(初診)	507	487	465
	外来患者数(再診)	15135	15603	17408
	外来患者数(時間外)	12	22	9
	外来患者数(合計)	15654	16112	17873
	入院患者数(延数)	9422	108	358

科	診療実績	平成27年度	平成28年度	平成29年度
糖尿病・代謝・内分泌内科	外来患者数(初診)	860	9	927
	外来患者数(再診)	23950	1856	29651
	外来患者数(時間外)	10	8	6
	外来患者数(合計)	24820	1873	30578
	入院患者数(延数)	6544	66	2644

科	診療実績	平成27年度	平成28年度	平成29年度
腎臓内科	外来患者数(初診)	304	307	329
	外来患者数(再診)	12105	11998	12937
	外来患者数(時間外)	16	20	15
	外来患者数(合計)	12425	12325	13266
	入院患者数(延数)	7991	9360	9170

科	診療実績	平成27年度	平成28年度	平成29年度
消化器内科	外来患者数(初診)	3377	3044	3053
	外来患者数(再診)	41584	39685	42351
	外来患者数(時間外)	168	155	59
	外来患者数(合計)	45129	42884	45404
	入院患者数(延数)	28598	27343	25770

科	診療実績	平成27年度	平成28年度	平成29年度
血液内科	外来患者数(初診)	369	369	371
	外来患者数(再診)	10307	10280	10785
	外来患者数(時間外)	25	38	9
	外来患者数(合計)	10701	10687	11156
	入院患者数(延数)	13870	15913	17275

科	診療実績	平成27年度	平成28年度	平成29年度
腫瘍内科	外来患者数(初診)	47	63	53
	外来患者数(再診)	8981	9623	9675
	外来患者数(時間外)	49	41	13
	外来患者数(合計)	9077	9727	9728
	入院患者数(延数)	16446	15398	13034

科	診療実績	平成27年度	平成28年度	平成29年度
循環器内科	外来患者数(初診)	1487	1402	1530
	外来患者数(再診)	34116	34208	37168
	外来患者数(時間外)	158	245	175
	外来患者数(合計)	35761	35855	38698
	入院患者数(延数)	21948	24212	22591

科	診療実績	平成27年度	平成28年度	平成29年度
神経内科	外来患者数(初診)	2002	1894	1764
	外来患者数(再診)	18103	16067	15244
	外来患者数(時間外)	78	85	59
	外来患者数(合計)	20183	18046	17008
	入院患者数(延数)	12581	15430	3511

科	診療実績	平成27年度	平成28年度	平成29年度
感染症内科	外来患者数(初診)	5	1	2
	外来患者数(再診)	14	6	23
	外来患者数(時間外)	2	0	0
	外来患者数(合計)	21	7	25

科	診療実績	平成27年度	平成28年度	平成29年度
心臓血管外科	外来患者数(初診)	137	157	130
	外来患者数(再診)	1792	1748	1922
	外来患者数(時間外)	6	5	1
	外来患者数(合計)	1935	1910	2052
	入院患者数(延数)	3741	3634	3332

科	診療実績	平成27年度	平成28年度	平成29年度
呼吸器外科	外来患者数(初診)	92	99	109
	外来患者数(再診)	2304	2400	2969
	外来患者数(時間外)	11	9	14
	外来患者数(合計)	2407	2508	3078
	入院患者数(延数)	2762	2560	2509

科	診療実績	平成27年度	平成28年度	平成29年度
消化器・ 一般外科	外来患者数(初診)	742	755	868
	外来患者数(再診)	12567	12561	14437
	外来患者数(時間外)	66	85	68
	外来患者数(合計)	13375	13401	15305
	入院患者数(延数)	19114	20571	21104

科	診療実績	平成27年度	平成28年度	平成29年度
乳腺外科	外来患者数(初診)	1762	1826	1755
	外来患者数(再診)	18123	20410	22896
	外来患者数(時間外)	37	46	32
	外来患者数(合計)	19922	22282	24651
	入院患者数(延数)	6540	6244	6051

科	診療実績	平成27年度	平成28年度	平成29年度
小児外科	外来患者数(初診)	551	552	560
	外来患者数(再診)	4246	4337	4560
	外来患者数(時間外)	27	31	15
	外来患者数(合計)	4824	4920	5120
	入院患者数(延数)	2102	1661	2102

科	診療実績	平成27年度	平成28年度	平成29年度
脳神経外科	外来患者数(初診)	855	845	815
	外来患者数(再診)	5723	5416	5594
	外来患者数(時間外)	110	115	59
	外来患者数(合計)	6688	6376	6409
	入院患者数(延数)	11832	12334	12031

科	診療実績	平成27年度	平成28年度	平成29年度
整形外科	外来患者数(初診)	3472	3024	1262
	外来患者数(再診)	36411	34602	15455
	外来患者数(時間外)	435	410	50
	外来患者数(合計)	40318	38036	16717
	入院患者数(延数)	22694	19884	17959

科	診療実績	平成27年度	平成28年度	平成29年度
形成外科	外来患者数(初診)	1836	1818	1290
	外来患者数(再診)	15661	15488	12588
	外来患者数(時間外)	346	368	17
	外来患者数(合計)	17843	17674	13878
	入院患者数(延数)	8007	7456	5063

科	診療実績	平成27年度	平成28年度	平成29年度
リハビリテーション科	外来患者数(初診)	62	57	19
	外来患者数(再診)	2100	2026	387
	外来患者数(時間外)	0	2	0
	外来患者数(合計)	2162	2085	406

科	診療実績	平成27年度	平成28年度	平成29年度
産婦人科	外来患者数(初診)	3987	3866	3868
	外来患者数(再診)	43542	41575	42093
	外来患者数(時間外)	468	554	399
	外来患者数(合計)	47997	45995	45961
	入院患者数(延数)	19587	20020	19271

科	診療実績	平成27年度	平成28年度	平成29年度
小児科	外来患者数(初診)	2535	2418	2517
	外来患者数(再診)	24146	23262	23382
	外来患者数(時間外)	2751	2604	1893
	外来患者数(合計)	29432	28284	25899
	入院患者数(延数)	16266	16254	16464

科	診療実績	平成27年度	平成28年度	平成29年度
眼科	外来患者数(初診)	3675	3534	3845
	外来患者数(再診)	29359	25785	26898
	外来患者数(時間外)	719	610	497
	外来患者数(合計)	33753	29929	30743
	入院患者数(延数)	14484	12759	7770

科	診療実績	平成27年度	平成28年度	平成29年度
耳鼻咽喉科	外来患者数(初診)	3222	2981	3114
	外来患者数(再診)	25818	25411	25459
	外来患者数(時間外)	817	951	266
	外来患者数(合計)	29857	29343	28573
	入院患者数(延数)	9312	10162	9116

科	診療実績	平成27年度	平成28年度	平成29年度
皮膚科	外来患者数(初診)	3851	3601	2390
	外来患者数(再診)	31420	29877	32287
	外来患者数(時間外)	430	405	12
	外来患者数(合計)	35701	33883	34677
	入院患者数(延数)	4516	4330	4371

科	診療実績	平成27年度	平成28年度	平成29年度
泌尿器科	外来患者数(初診)	1174	1239	1194
	外来患者数(再診)	23306	21496	21255
	外来患者数(時間外)	42	46	27
	外来患者数(合計)	24522	22781	22449
	入院患者数(延数)	8360	7871	7991

科	診療実績	平成27年度	平成28年度	平成29年度
放射線科	外来患者数(初診)	974	866	922
	外来患者数(再診)	6656	7844	10017
	外来患者数(時間外)	2	1	3
	外来患者数(合計)	7632	8711	10939

科	診療実績	平成27年度	平成28年度	平成29年度
麻酔科	外来患者数(初診)	6	31	159
	外来患者数(再診)	1100	1430	2377
	外来患者数(時間外)	2	1	5
	外来患者数(合計)	1108	1462	2536
	入院患者数(延数)	10	6	0

科	診療実績	平成27年度	平成28年度	平成29年度
救急医学科	外来患者数(初診)	87	63	115
	外来患者数(再診)	75	34	58
	外来患者数(時間外)	121	114	176
	外来患者数(合計)	283	211	173
	入院患者数(延数)	3413	2608	3118

科	診療実績	平成27年度	平成28年度	平成29年度
総合内科	外来患者数(初診)	1478	1470	2097
	外来患者数(再診)	1486	1224	3058
	外来患者数(時間外)	4995	4876	4528
	外来患者数(合計)	7959	7570	5155
	入院患者数(延数)	2171	2075	3442

科	診療実績	平成27年度	平成28年度	平成29年度
精神神経科	外来患者数(初診)	716	699	634
	外来患者数(再診)	34270	34759	33879
	外来患者数(時間外)	4	5	1
	外来患者数(合計)	34990	35458	34513

科	診療実績	平成27年度	平成28年度	平成29年度
歯科	外来患者数(初診)	1590	1639	1863
	外来患者数(再診)	4597	4911	4682
	外来患者数(時間外)	0	0	0
	外来患者数(合計)	6187	6550	6545

Ⅲ 各部門活動狀況

1 昭和大学病院

1) 呼吸器・アレルギー内科

1. 診療体制と実績

(1)

診療科長：相良 博典 診療科長補佐：田中 明彦

(2) 医師数

教授	1名	准教授	1名	講師	1名
助教	5名	助教(医科)	1名		

(3) 臨床研修医受入実績

1年次臨床研修医	28名
2年次臨床研修医	16名

(4) 指導医及び専門医・認定医

指導医	日本内科学会内科指導医	9名
	日本呼吸器学会呼吸器指導医	4名
	日本アレルギー学会指導医	1名
	日本呼吸内視鏡学会気管支鏡指導医	1名
	日本感染症学会指導医	1名
	日本リウマチ学会リウマチ指導医	1名
専門医	日本内科学会総合内科専門医	10名
	日本呼吸器学会呼吸器専門医	14名
	日本呼吸器内視鏡学会気管支鏡専門医	5名
	日本アレルギー学会アレルギー専門医	9名
	日本感染症学会感染症専門医	2名
	日本結核病学会結核・抗酸菌症専門医	2名
	日本禁煙学会禁煙専門医	1名
	日本リウマチ学会リウマチ専門医	1名
	日本老年医学老年医学専門医	1名
認定医	日本内科学会内科認定医	25名
	日本がん治療認定医機構がん治療認定医	4名
	日本結核病学会結核・抗酸菌症認定医	2名
	肺がんCT検診認定医機構認定医	3名
	日本化学療法学会抗菌化学療法認定医	1名
その他	日本がん治療認定医機構暫定教育医	1名
	日本医師会認定産業医	1名

(5) 主な診療実績

	手術項目	患者数
1	肺癌	233
2	肺炎	205
3	間質性肺炎	62
4	気管支喘息	58
5	睡眠時無呼吸症候群	56
6	慢性閉塞性肺疾患	50
7	気胸	39
8	胸部異常陰影	38
9	呼吸不全	14
10	胸水貯留	13

	主な検査・処置名	患者数
1	気管支鏡 (EBUS 除く)	190
2	超音波気管支鏡 (EBUS)	87
3	アプノモニター	83
4	CT下肺生検	35
5	気道過敏性検査	47
6	ポリソムノグラフィー	58

2. 高度医療への取り組み

①重症喘息に対する新規分子標的薬剤の導入	従来治療に抵抗性を有する重症喘息患者を対象に、分子標的薬剤を導入し、喘息症状および呼吸機能の改善効果、喘息発作の減少効果が得られている。
②重症喘息に対する気管支熱焼灼療法の導入	従来治療に抵抗性を有する重症喘息患者を対象に、気管支熱焼灼療法 (Bronchial Thermoplasty: BT) を導入している。BT は気管支鏡とカテーテルを用いて気管支に直接的に熱を加え治療を行い、現在のところ良好な治療成績が得られている。

3. 主な社会・地域貢献活動

	開催年月日	内容(学会・セミナー等)	開催地
1	平成 29 年 4 月 18 日	第 1 回城南呼吸器医療連携セミナー	NTT 東日本関東病院
2	平成 29 年 8 月 1 日	第 35 回呼吸器・免疫シンポジウム	海運クラブ
3	平成 29 年 11 月 14 日	第 2 回城南呼吸器医療連携セミナー	昭和大学病院講堂

2) リウマチ・膠原病内科

1. 診療体制と実績

(1)

診療科長：(代)板橋 家頭夫 診療科長補佐：若林 邦伸

(2) 医師数

教授	0名	准教授	1名	講師	2名
助教	5名	助教(医科)	6名		

(3) 臨床研修医受入実績

1年次臨床研修医	15名
2年次臨床研修医	17名

(4) 指導医及び専門医・認定医

指導医	日本リウマチ学会指導医	4名
専門医	日本リウマチ学会専門医	7名
	日本内科学会総合内科専門医	6名
認定医	日本内科学会認定内科医	15名

(5) 主な診療実績

	入院実績	患者数
1	血管炎症候群	47
2	関節リウマチ	45
3	多発性筋炎/皮膚筋炎	20
4	全身性エリテマトーデス	18
5	全身性強皮症	8
6	血清反応陰性脊椎関節炎	8
7	結晶性関節炎	5
8	リウマチ性多発筋痛症	5
9	ベーチェット病	5
10	成人発症 Still 病	4

	検査項目	患者数
1	関節超音波検査	360

2. 高度医療への取り組み

①各種膠原病疾患に対する生物学的製剤治療	当科では以前より、関節リウマチに対し、必要時には積極的に生物学的製剤の導入をしております。また、2017年にはトシリズマブが巨細胞性動脈炎、高安動脈炎に対して、ベリムマブが全身性エリテマトーデスに対して保険適応になりました。既存の治療に抵抗性があれば、各種膠原病疾患に対し、積極的に生物学的製剤を導入しております。
②リウマチ膠原病母性外来	膠原病疾患をもつ妊娠希望女性の気持ちを少しでもサポートできたらと思い、当科ではリウマチ膠原病母性外来を2014年10月より開設しております。産科の先生と連携を図りながら、よりよい妊娠・出産にむけて診療を行っております。

3. 主な社会・地域貢献活動

	開催年月日	内容(学会・セミナー等)	開催地
1	平成 29 年 11 月 10 日	Bone Health meeting	昭和大学病院

3) 腎臓内科

1. 診療体制と実績

(1)

診療科長：柴田 孝則 診療科長補佐：真田 大介

(2) 医師数

教授	1名	准教授	1名	講師	2名
助教	6名	助教(医科)	0名		

(3) 臨床研修医受入実績

1年次臨床研修医	36名
2年次臨床研修医	11名

(4) 指導医及び専門医・認定医

指導医	日本内科学会研修指導医	6名
	日本腎臓学会指導医	5名
	日本透析医学会指導医	4名
専門医	日本内科学会総合内科専門医	7名
	日本腎臓学会専門医	9名
	日本透析医学会専門医	9名
	日本アフェシス学会専門医	2名
	日本リウマチ学会専門医	1名
認定医	日本内科学会認定内科医	13名

(5) 主な診療実績

	主な入院診療実績	患者数
1	慢性腎臓病(CKD)保存期合併症	110
2	維持透析期合併症(バスキュラーアクセス不全を除く)	110
3	腎炎・ネフローゼ症候群(腎生検含む)	79
4	血液透析導入	77
5	バスキュラーアクセス不全	48
6	急性腎障害(AKI)	38
7	腎移植後合併症	23
8	腎移植	10
9	電解質異常	10
10	腹膜透析導入	4

	主な検査・処置(外来・入院問わず)	患者数
1	シャント PTA(経皮的血管形成術)	122
2	持続的血液濾過透析	95
3	腎生検	65
4	血液吸着療法(エンドトキシン吸着療法)	28
5	単純血漿交換療法	14
6	吸着式血球成分除去療法	10
7	二重濾過血漿交換療法	6
8	血漿吸着療法(免疫吸着療法)	6
9	腹水濾過濃縮再静注療法	4
10	血漿吸着療法(LDL アフェレシス)	2

2. 高度医療への取り組み

①アフェレシス療法	薬物治療で治療困難な難治性ネフローゼ症候群、膠原病、神経免疫疾患、血液疾患、閉塞性動脈硬化症、皮膚疾患、炎症性腸疾患などに対し、単純血漿交換や二重膜濾過血漿交換法、各種の吸着療法などを施行し、一定の治療成果が得られている。
-----------	---

3. 主な社会・地域貢献活動

	開催年月日	内容(学会・セミナー等)	開催地
1	平成 29 年 9 月 19 日	第 8 回フレッシュマンセミナー	臨床講堂

4) 消化器内科

1. 診療体制と実績

(1)

診療科長：吉田 仁

診療科長補佐：魚住 祥二郎

(2) 医師数

教授	1名	准教授	1名	講師	3名
助教	9名	助教(医科)	4名		

(3) 臨床研修医受入実績

1年次臨床研修医	24名
2年次臨床研修医	11名

(4) 指導医及び専門医・認定医

指導医	日本内科学会指導医	9名
	日本消化器病学会指導医	4名
	日本消化器内視鏡学会指導医	6名
	日本肝臓学会指導医	2名
	日本胆道学会認定指導医	2名
専門医	日本内科学会総合内科専門医	8名
	日本消化器病学会専門医	15名
	日本消化器内視鏡学会専門医	14名
	日本肝臓学会専門医	6名
認定医	日本内科学会認定内科医	22名
	日本がん治療認定医	3名
	日本門脈圧亢進症学会技術認定取得医	1名

(5) 主な診療実績

	疾患名(入院)	患者数		主な処置名	患者数
1	胆管炎	103	1	ERCP 及び ERCP 関連治療	415
2	胆嚢炎	81	2	経皮的胆道ドレナージ術 (PTCD/PTGBD)	143
3	胆管癌	25	3	内視鏡的粘膜下層剥離術 (ESD)	165

4	重症急性膵炎	32	4	内視鏡的大腸腫瘍粘膜切除術 (EMR)	563
5	膵癌	138	5	内視鏡的止血術	196
6	食道癌	45	6	肝癌ラジオ波焼灼療法 (RFA)	111
7	胃癌	77	7	血管造影下肝癌治療 (TACE)	94
8	大腸癌	48	8	内視鏡的静脈瘤硬化療法 (EIS)	69
9	肝細胞癌	185	9	超音波内視鏡下穿刺吸引細胞診 (EUS-FNA)	126
10	食道静脈瘤	30	10	内視鏡的ネクロセクトミー (ETN)	14

2. 高度医療への取り組み

①内視鏡的粘膜下層剥離術	食道・胃・大腸についてESDによる内視鏡的治療を積極的に導入している。早期胃癌の内視鏡治療はJapan Clinical Oncology Group(JCOG)に参加し、治療適応拡大に関する多施設共同研究を進めた。
②IgG4関連疾患	2014年に新たに難病指定された「IgG4関連疾患」の消化器官の代表的 entityとして、かつ、膵癌との鑑別が問題となる『自己免疫性膵炎』や、肝内外胆道癌や原発性硬化性胆管炎などとの鑑別が困難な『IgG4関連硬化性胆管炎』については、それぞれ、臨床診断基準の改訂や診療ガイドラインの作成、内外での診療診断基準の上梓に寄与し、さらに病因と病態推移、膵内外分泌障害の相関、多臓器疾患との関連性の解明に努めた。

3. 主な社会・地域貢献活動

	開催年月日	内容(学会・セミナー等)	開催地
1	平成 30 年 1 月 26 日	昭和臓器不全カンファレンス	東京
2	平成 30 年 2 月 14 日	消化器病フォーラム	東京
3	平成 30 年 2 月 27 日	旗の台消化器センター地域連携フォーラム	東京

5) 血液内科

1. 診療体制と実績

(1)

診療科長：中牧 剛

診療科長補佐：服部 憲路

(2) 医師数

教授	1名	准教授	0名	講師	2名
助教	3名	助教(医科)	6名		

(3) 臨床研修医受入実績

1年次臨床研修医	10名
2年次臨床研修医	11名

(4) 指導医及び専門医・認定医

指導医	日本内科学会内科指導医	4名
	日本血液学会血液指導医	3名
	日本臨床腫瘍学会暫定指導医	1名
専門医	日本血液学会認定血液専門医	7名
	日本内科学会総合内科専門医	4名
認定医	日本内科学会認定内科医	11名
	日本がん治療認定医機構がん治療認定医	1名
	造血細胞移植認定医	2名

(5) 主な診療実績

	疾患名(入院)	患者数
1	悪性リンパ腫	268
2	白血病	63
3	骨髄異形成症候群	31
4	多発性骨髄腫	24
5	再生不良性貧血	12

	手術項目(入院)	患者数
1	非血縁者骨髄移植	4
2	臍帯血移植	10
3	血縁者末梢血幹細胞移植	1
4	自己末梢血幹細胞移植	6

2. 高度医療への取り組み

①造血幹細胞移植	未だ完全には確立されていない治療法であり、安全に行えるよう新たな前処置などを取り入れている。
----------	--

3. 主な社会・地域貢献活動

	開催年月日	内容(学会・セミナー等)	開催地
1	平成 29 年 5 月 16 日	血液エリアフォーラム in 城南	八芳園
2	平成 29 年 6 月 21 日	HATANODAI Myeloma Forum	昭和大学病院
3	平成 29 年 7 月 18 日	The6th Hematology Seminar	昭和大学病院

6) 循環器内科

1. 診療体制と実績

(1)

診療科長：新家 俊郎 診療科長補佐：河村 光晴

(2) 医師数

教授	1名	准教授	2名	講師	9名
助教	7名	助教(医科)	9名		

(3) 臨床研修医受入実績

1年次臨床研修医	32名
2年次臨床研修医	24名

(4) 指導医及び専門医・認定医

指導医	日本内科学会指導医	10名
専門医	日本内科学会専門医	13名
	日本循環器学会専門医	19名
	日本不整脈心電学会専門医	7名
	日本心血管インターベンション治療学会専門医	2名
	日本老年医学会指導医、専門医	1名
認定医	日本内科学会認定医	32名

(5) 主な診療実績

	手術項目	患者数
1	冠動脈カテーテル治療	576
2	末梢血管カテーテル治療	58
3	カテーテル心筋焼灼術	262
4	ペースメーカー植え込み術	108
5	植え込み型除細動器植え込み術	46
6	CRT-D 植え込み術	11
7	Loop Recorder 植え込み	12

	主な検査・処置名	患者数
1	冠動脈造影	789
2	末梢血管造影	92
3	心臓電気生理検査	48
4	経胸壁心エコー	7674
5	経食道心エコー	302
6	心臓核医学検査	924
7	心臓 CT	478
8	心臓 MRI	92

2. 高度医療への取り組み

①難治性心不全患者に対する非薬物治療	難治性心不全の患者さんに対して両心室ペーシング治療により心機能を改善させる治療を行っており良好な成績をおさめている。今後も新しい心不全治療向上を図っている。
②経カテーテル大動脈弁留置術(TAVI)	心臓血管外科、麻酔科、及び放射線科とともにハートチームを形成し、開胸手術が困難であった患者に対して侵襲の少ない経カテーテル大動脈弁留置術を実施しており、症例も増加している。
③リードレスペースメーカー植え込み術	高難度最新医療であり、リードのない小型化ペースメーカー植え込み術を開始した。

3. 主な社会・地域貢献活動

	開催年月日	内容(学会・セミナー等)	開催地
1	平成 29 年 7 月 1 日	第 7 回 失神研究会	上條講堂
2	平成 29 年 10 月 21 日	クリニカルセミナー	品川プリンスホテル
3	平成 30 年 2 月 23 日	東京湾岸画像不整脈研究会	品川プリンスホテル

7) 腫瘍内科

1. 診療体制と実績

(1)

診療科長：佐々木 康綱 診療科長補佐：濱田 和幸

(2) 医師数

教授	1名	准教授	0名	講師	4名
助教	1名	助教(医科)	0名	内科研修医	1名

(3) 臨床研修医受入実績

1年次臨床研修医	3名
2年次臨床研修医	3名

(4) 指導医及び専門医・認定医

指導医	日本臨床腫瘍学会指導医	2名
	日本臨床腫瘍学会暫定指導医	1名
	日本内科学会指導医	2名
専門医	日本臨床腫瘍学会がん薬物療法専門医	3名
	日本呼吸器学会専門医	3名
	日本アレルギー学会専門医	1名
	日本消化器病学会専門医	1名
	日本消化器内視鏡学会専門医	1名
	日本内科学会総合専門医	4名
認定医	日本がん治療認定機構がん治療認定医	4名
	日本内科学会認定医	5名

(5) 主な診療実績

	癌腫別患者数 外来 (実数)	患者数
1	肺がん	372
2	大腸がん(直腸がん含む)	247
3	胃がん	102
4	食道がん	102
5	乳がん	96
6	軟部肉腫	29

	癌腫別患者数 入院 (実数)	患者数
1	肺がん	178
2	大腸がん(直腸がん含む)	88
3	食道がん	69
4	乳がん	39
5	胃がん	35
6	軟部肉腫	16

7	原発不明がん	28
8	卵巣がん	16
9	頭頸部がん	15
10	前立腺がん	11

7	原発不明がん	6
8	卵巣がん	6
9	悪性胸膜中皮腫	6
10	膵がん	5

2. 高度医療への取り組み

①臨床試験(治験を含む)	肺がん、食道がん、胃がん、結腸・直腸がんに対する医師主導型臨床試験および治験を実施した。また、臨床薬理研究所および腫瘍分子生物学研究所と共同しトランスレーショナル・リサーチを実施した。
--------------	--

3. 主な社会・地域貢献活動

	開催年月日	内容(学会・セミナー等)	開催地
1	平成 29 年 11 月 20 日	第 12 回がん医療研究会	昭和大学病院 臨床講堂

8) 総合診療科 (ER)

1. 診療体制と実績

(1)

診療科長：齋藤 司

診療科長補佐：原田 拓

(2) 医師数

教授	1名	准教授	0名	講師	0名
助教	3名	助教(医科)	3名		

(3) 臨床研修医受入実績

1年次臨床研修医	37名
2年次臨床研修医	18名

(4) 指導医及び専門医・認定医

指導医	日本プライマリ・ケア連合学会プライマリ・ケア指導医	2名
専門医	日本内科学会総合内科専門医	1名
	日本救急医学会救急科専門医	1名
	日本循環器学会専門医	1名
	家庭医療専門医	1名
認定医	日本内科学会認定医	5名
	日本プライマリ・ケア連合学会プライマリ・ケア認定医	3名

(5) 主な診療実績

	対応疾患	患者数
1	胃腸炎	369
2	末梢性めまい	201
3	身体表現性障害など	190
4	急性上気道炎	172
5	失神・前失神	163
6	肺炎	138
7	尿路結石	120
8	挫傷	118
9	尿路感染症	117
10	片頭痛・緊張型頭痛	115

3. 主な社会・地域貢献活動

	開催年月日	内容(学会・セミナー等)	開催地
1	平成 29 年 5 月 13 日	平成 29 年度昭和大学公開講座	昭和大学
2	平成 29 年 10 月 21 日	第 32 回昭和大学クリニカルセミナー	シェラトン都ホテル

9) 感染症内科

1. 診療体制と実績

(1)

診療科長：二木 芳人 診療科長補佐：詫間 隆博

(2) 医師数

教授	1名	准教授	0名	講師	1名
助教	1名	助教(医科)	0名		

(3) 臨床研修医受入実績

1年次臨床研修医	0名
2年次臨床研修医	8名

(4) 指導医及び専門医・認定医

指導医	日本内科学会認定指導医	2名
	日本感染症学会指導医	2名
	日本化学療法学会抗菌化学療法指導医	1名
	日本呼吸器学会指導医	1名
専門医	日本内科学会認定総合内科専門医	3名
	日本感染症学会専門医	3名
	日本呼吸器学会専門医	2名
	日本呼吸器内視鏡学会専門医	1名
	日本医真菌学会専門医	1名
	日本リウマチ学会専門医	1名
認定医	日本内科学会認定医	3名
	日本プライマリ・ケア連合学会認定医	1名
その他	インフェクションコントロールドクター(ICD)	2名
	日本化学療法学会臨床試験指導者	1名

(5) 主な診療実績

	併診症例	患者数
1	院内コンサルト	122
2	血液培養陽性	937
3	耐性菌・抗菌薬長期など	237

2. 高度医療への取り組み

①Antimicrobial Stewardship Team (AST;抗菌薬適正使用支援チーム) の推進	日本では初めての抗菌薬適正使用支援チーム(AST)として、当科の医師が中心となって、薬剤師、検査技師と共に抗菌薬適正使用の推進に取り組む体制を構築し、その実践と評価、普及に取り組んでいる。
②多診療科にわたる治験の取り組み	新薬の治験は従来は単診療科での患者を対象に行われることがほとんどであったが、感染症の治験対象患者はどの診療科で発生するか予測が難しく、全病院単位で特定の診療科に関わらず、当科で併診して治験を行う体制を構築してきている。

3. 主な社会・地域貢献活動

	開催年月日	内容(学会・セミナー等)	開催地
1	平成 29 年 5 月 11 日	第 9 回昭和感染症フォーラム	ホテル雅叙園東京
2	平成 29 年 6 月 22 日	抗菌薬スキルアップセミナー アドバンスト 1	昭和大学病院
3	平成 29 年 6 月 30 日	抗菌薬スキルアップセミナー アドバンスト 2	昭和大学病院
4	平成 29 年 12 月 7 日	第 10 回昭和感染症フォーラム	ホテル雅叙園東京

10) 心臓血管外科

1. 診療体制と実績

(1)

診療科長：青木 淳

診療科長補佐：丸田 一人

(2) 医師数

教授	1名	准教授	1名	講師	1名
助教	0名	助教(医科)	1名		

(3) 臨床研修医受入実績

1年次臨床研修医	10名
2年次臨床研修医	0名

(4) 指導医及び専門医・認定医

指導医	日本外科学会指導医	3名
	心臓血管外科修練指導医	3名
専門医	心臓血管外科専門医	3名
	日本外科学会専門医	4名
	脈管専門医	3名

(5) 主な診療実績

	手術項目	患者数
1	弁形成術	9
2	弁置換術	33
3	MAZE 手術(不整脈手術)	4
4	冠動脈バイパス術	8
5	経カテーテル人工弁移植術	39
6	人工血管置換術	13
7	ステントグラフト内挿術	50

2. 高度医療への取り組み

①経カテーテル大動脈弁移植術	2015年12月よりハイブリッド手術室で経カテーテル大動脈弁移植術を開始し、高齢者や開胸手術困難な重度大動脈弁狭窄症を対象に積極的に治療を行っている。
----------------	---

②腰動脈塞栓術を併施した腹部ステントグラフト内挿術	腹部ステントグラフト内挿術を行う時に、腹部大動脈から分枝している下腸間膜動脈や腰動脈にコイル塞栓を併施することによりType II エンドリークによる瘤拡大を積極的に予防している。
---------------------------	--

3. 主な社会・地域貢献活動

	開催年月日	内容(学会・セミナー等)	開催地
1	平成 29 年 7 月 1 日	城南周術期循環管理フォーラム 2017	昭和大学病院
2	平成 29 年 10 月 21 日	昭和大学クリニカルセミナー	シェラトン都ホテル
3	平成 30 年 3 月 10 日	176 日本胸部外科学会関東甲信越地方会	ステーションコンファレンス東京

11) 呼吸器外科

1. 診療体制と実績

(1)

診療科長：鈴木 隆

診療科長補佐：片岡 大輔

(2) 医師数

教授	1名	准教授	1名	講師	1名
助教	4名	助教(医科)	0名		

(3) 臨床研修医受入実績

1年次臨床研修医	21名
2年次臨床研修医	1名

(4) 指導医及び専門医・認定医

指導医	日本外科学会指導医	3名
	日本呼吸器内視鏡学会指導医	2名
専門医	呼吸器外科専門医	4名
	日本外科学会専門医	4名
	日本気管食道科学会専門医	1名

(5) 主な診療実績

	手術項目 力を入れている症例	患者数
1	原発性肺癌	67
2	転移性肺腫瘍	16
3	腹部大動脈瘤	40
4	気胸・嚢胞性肺疾患	33
5	良性肺腫瘍	4
6	縦隔腫瘍	6
7	膿胸	3
8	その他呼吸器外科手術	14
9	気道ステント	2

2. 高度医療への取り組み

①手術室の CT を用いた肺微小肺癌の特定法	近年、肺の微小肺癌の症例が増加しているがこれらの症例は術前に気管支鏡検査やCTガイド下針生検で診断がつかないことが多い。確定診断には小開胸下に病巣の切除が必要になる。ただこの手術において切除すべき病巣部位の特定が問題となる。われわれは手術室の CT(Artis zeego)を用いて手術中に病巣の部位を確認する方法を確立した。この手技をいくつかの学会で報告した。
------------------------	---

3. 主な社会・地域貢献活動

	開催年月日	内容(学会・セミナー等)	開催地
1	平成 29 年 10 月 7 日	第 23 回日本胸腔鏡下交感神経遮断研究会	昭和大学横浜市北部病院講堂
2	平成 30 年 3 月 10 日	第 176 回日本胸部外科学会関東甲信越地方会	ステーションコンファレンス 東京

12) 消化器・一般外科

1. 診療体制と実績

(1)

診療科長：村上 雅彦

診療科長補佐：大塚 耕司

(2) 医師数

教授	1名	准教授	1名	講師	8名
助教	11名	助教(医科)	7名		

(3) 臨床研修医受入実績

1年次臨床研修医	14名
2年次臨床研修医	2名

(4) 指導医及び専門医・認定医

指導医	日本外科学会指導医	7名
	日本消化器外科学会指導医	5名
	日本消化器病学会指導医	3名
	日本肝臓学会指導医	1名
	日本大腸肛門病学会指導医	2名
	日本消化器内視鏡学会指導医	7名
	日本肝胆膵外科学会高度技能指導医	2名
	日本透析学会指導医	1名
	日本消化器外科学会がん外科治療指導医	1名
	日本消化管学会胃腸科指導医	1名
臨床研修指導医	10名	
専門医	日本外科学会専門医	30名
	日本消化器外科学会専門医	14名
	日本消化器病学会専門医	6名
	日本肝臓学会専門医	3名
	日本大腸肛門病学会専門医	2名
	日本消化器内視鏡学会専門医	9名
	日本食道学会食道外科専門医	2名
	日本透析学会専門医	1名
認定医	日本食道学会食道科認定医	5名
	日本臨床腎移植学会専門医・腎移植認定医	1名
	日本移植学会移植認定医	1名
	日本内視鏡外科学会技術認定医	3名
	日本がん治療認定医	3名

	日本癌治療学会認定医	1名
	日本消化器外科学会がん外科治療認定医	11名
	日本再生医療学会再生医療認定医	1名
	日本腹部救急医学会暫定教育医・認定医	2名
その他	日本がん治療暫定教育医	2名
	日本外科感染症学会 ICD 医	1名
	日本集中治療学会 ICD 医	2名

(5) 主な手術実績

	内視鏡外科手術	患者数
1	食道癌手術	139(139)
2	胆嚢摘出術	132(132)
3	鼠径ヘルニア手術	131(90)
4	シャント造設術	112
5	結腸癌切除	108(77)
6	虫垂切除術	72(67)
7	直腸癌切除術	52(44)

	内視鏡外科手術	患者数
8	肝切除術	49(10)
9	幽門側胃切除術	40(36)
10	臍頭十二指腸切除術	27
11	胃全摘術	23(20)
12	臍体尾部切除術	17(8)
13	腎移植	9

2. 高度医療への取り組み

①胸腔鏡下食道癌根治術	食道癌の標準根治術式として、胸腔鏡・腹腔鏡併用食道癌根治術を 139 例(100%)に施行。手術死亡率 0%。縫合不全 1.4%。
②腹腔鏡下肝・膵切除術	術前・中 3D シミュレーション、近赤外線蛍光内視鏡を導入し、安全な腹腔鏡下肝・膵切除を肝 26 例・膵 5 例の計 31 例(30%)に施行。手術死亡率 0%。

3. 主な社会・地域貢献活動

	開催年月日	内容(学会・セミナー等)	開催地
1	平成 29 年 4 月 15 日	第 24 回 SMS 臨床消化器病研究会	東京
2	平成 29 年 5 月 13 日	平成 29 年度・春期(第 55 回)昭和大学公開講座 暮らしと健康 『患者さんに負担の少ない、安全な消化管手術を目指して一腹腔鏡手術とは』	昭和大学
3	平成 29 年 5 月 29 日	第 3 回 VATS-E Preceptorship Program	昭和大学
4	平成 29 年 7 月 29 日	昭和大学ブラックジャックセミナー	昭和大学
5	平成 29 年 9 月 9 日	第 14 回腹腔鏡手術の理論と基礎	神田
6	平成 29 年 9 月 27 日	第 6 回城南手術合併症撲滅フォーラム	雅叙園
7	平成 29 年 9 月 29 日	第 5 回チーム医療からみた周術期管理実践セミナー	神田
8	平成 30 年 1 月 22 日	第 4 回 VATS-E Preceptorship Program	昭和大学
9	平成 30 年 1 月 26 日	第 5 回昭和臓器不全フォーラム	東京
10	平成 30 年 2 月 9 日	昭和大学 4 病院肝胆膵サージカルフォーラム	品川
11	平成 30 年 2 月 23 日	第 8 回城南消化器内視鏡外科学会	東京
12	平成 30 年 2 月 27 日	第 8 回旗の台消化器センター地域連携フォーラム	東京

13) 乳腺外科

1. 診療体制と実績

(1)

診療科長： 中村 清吾

診療科長補佐： 桑山 隆志

(2) 医師数

教授	1名	准教授	2名	講師	0名
助教	5名	助教(医科)	6名		

(3) 臨床研修医受入実績

1年次臨床研修医	0名
2年次臨床研修医	8名

(4) 指導医及び専門医・認定医

専門医	日本外科学会専門医(指導医)	9名
	日本乳癌学会乳腺専門医	8名
認定医	マンモグラフィ読影認定医	13名

(5) 主な診療実績

	手術項目 力を入れている症例	患者数		主な検査・処置名	患者数
1	乳房切除術	311	1	マンモグラフィ	4210
	内 一期的乳房再建術	145	2	DEXA	348
2	乳房温存術	186	3	マンモトーム生検	148
	内 SAVI	1	4	乳房超音波	6488
3	マンモトーム生検	148	5	針生検	637

2. 高度医療への取り組み

①家族性乳癌に対する診療体制	乳癌、卵巣癌に係る BRCA 遺伝子のカウンセリングや遺伝子検査を行い、乳癌治療に役立てている。
②乳房再建手術	乳房全摘手術後の乳房再建を形成外科と共同しながら患者の希望にこたえるよう治療している。
③SAVI を用いた新しい乳房温存療法	放射線科と共同して新しい放射線治療デバイス SAVI を用いた部分加速照射を温存療法後の乳房に行うことで、従来の治療と比較して短期に手術および放射線照射の期間が短縮可能となり、患者の負担も軽減できるような治療を行っている。

3. 主な社会・地域貢献活動

	開催年月日	内容(学会・セミナー等)	開催地
1	平成 29 年 7 月 28 日 -29 日	第 6 回乳腺腫瘍学セミナー	昭和大学病院

14) 小児外科

1. 診療体制と実績

(1)

診療科長：土岐 彰

診療科長補佐：中山 智理

(2) 医師数

教授	1名	准教授	2名	講師	1名
助教	2名	助教(医科)	0名		

(3) 臨床研修医受入実績

1年次臨床研修医	0名
2年次臨床研修医	4名

(4) 指導医及び専門医・認定医

指導医	日本小児外科学会指導医	3名
	日本外科学会指導医	3名
専門医	日本小児外科学会専門医	3名
	日本外科学会専門医	5名
認定医	日本胸部外科学会認定医	1名
	日本消化器外科学会認定医	1名
	日本外科学会認定医	4名
その他	日本がん治療認定医機構暫定教育医	1名

(5) 主な診療実績

	手術項目、力を入れている症例	患者数
1	鼠径ヘルニア	100
2	停留精巣	30
3	臍ヘルニア	20
4	腹腔鏡下虫垂切除術	15
5	腹腔鏡下噴門形成術	2
6	腸重積症非観血的整復術	2
7	消化管ろう増設術	4
8	頸部ろう手術	2
9	消化管穿孔手術	2
10	消化管内視鏡	4

2. 高度医療への取り組み

①低侵襲手術	開腹手術は可能な限り臍輪を利用した切開創(臍弧状切開)で行い、術後創を目立ちにくくしている。鼠径ヘルニア、虫垂炎、噴門形成、胃ろうに対しては積極的に鏡視下手術を行っている。また、漏斗胸に対して、胸壁に金属バーを挿入して、陥没した胸壁を強制する Nuss 法を行っている。
②基礎的研究	小児外科疾患の出生前診断の普及に伴い、重症例が増加している。これらの胎児に対して胎児治療が積極的に行われるようになってきている。当科では先天性嚢胞状腺様形成異常(CCAM)、肺分画症、巨大宣仙尾部奇形腫などの実験モデルに高密度焦点式超音波(HIFU:High-Intensity Focused Ultrasound)を照射し、流入(栄養)血管の焼灼塞栓を行う実験や脊髄髄膜瘤に対する細胞シート移植を応用した胎児治療に関する実験を他施設と共同で行っている。

3. 主な社会・地域貢献活動

	開催年月日	内容(学会・セミナー等)	開催地
1	平成 29 年 9 月 30 日	第 68 回小児外科モーニングカンファレンス	昭和大学病院

15) 脳神経外科

1. 診療体制と実績

(1)

診療科長：水谷 徹

診療科長補佐：清水 克悦

(2) 医師数

教授	1名	准教授	1名	講師	0名
助教	10名	助教(医科)	1名		

(3) 臨床研修医受入実績

1年次臨床研修医	0名
2年次臨床研修医	0名

(4) 指導医及び専門医・認定医

指導医	日本脳神経外科学会指導医	8名
	日本脳卒中の外科学会指導医	2名
	日本脳神経血管内治療指導医	1名
専門医、認定医	日本脳神経外科学会専門医	3名
	日本脳卒中の外科技術認定医	3名
	日本脳神経血管内治療学会専門医	2名
	日本てんかん学会専門医	1名
	日本神経内視鏡学会認定医	3名
	日本脳卒中学会認定医	5名

(5) 主な診療実績

	手術項目	患者数
	【手術】	
1	脳総脈瘤回答クリッピング) (以下内訳)	74
	破裂脳動脈瘤	20
	未破裂脳動脈瘤	54
2	頸動脈内膜剥離術(CEA)	38
3	脳動脈瘤バイパス術	17
4	脳腫瘍摘出術	60
5	微小血管減圧術 (顔面けいれん、三叉神経痛)	42

	主な検査・処置名	患者数
1	脳血管撮影	443
2	脳血流シンチ	283
3	頸動脈エコー	596

【血管内治療】		
6	脳動脈瘤血管内治療 (以下内訳)	38
	破裂脳動脈瘤	7
	未破裂脳動脈瘤	17
7	頸動脈ステンド(CAS)	17
8	急性期再開通	40

2. 高度医療への取り組み

①高度医療への取り組み	ワークステーションとIT ネットワークによる手術シミュレーションと術者教育 ハイビジョン手術動画ファイル、画像のライブラリ化、さらにワークステーションを手術室、医局などから操作することで、すべての手術情報を融合し、ネットワーク化する試みを行っている。これらはすべて一般IT機器を用いて手作りで構築した。手術教育と、より精度の高い、安全、確実な手術を目指すことができる、他に先駆けた先鋭的な試みである。
②大型、巨大脳動脈瘤の総合治療戦略	大型、巨大脳動脈瘤は治療難易度が高く、詳細な画像によるシミュレーションや血管閉塞テストを含む血管内手技の導入、バイパス術、高度の剥離技術、など総合戦略が必要である。昭和大学病院脳神経外科では、3D DSA workstation(WS)をカンファ室、手術室でネットワーク操作可能にし、穿通枝の詳細な位置、癒着動脈の状態を常に術者目線で描出している。手術は最新の Hybrid OR で行い、WS や術中 3D DSA を用いてリアルタイムに術中戦略を立てている。

3. 主な社会・地域貢献活動

	開催年月日	内容(学会・セミナー等)	開催地
1	毎月(8月除く)	脳神経外科スキルアップ研究会	昭和大学病院
2	平成 29 年 4 月 1 日	第 5 回 Hybrid Neurosurgery 研究会	ベルサール御成門駅前
3	平成 29 年 9 月 2 日	第 6 回 Hybrid Neurosurgery 研究会	日石横浜ホール

16) 整形外科

1. 診療体制と実績

(1)

診療科長：稲垣 克記

診療科長補佐：藤巻 良昌

(2) 医師数

教授	2名	准教授	0名	講師	3名
助教	11名	助教(医科)	12名		

(3) 臨床研修医受入実績

1年次臨床研修医	0名
2年次臨床研修医	11名

(4) 指導医及び専門医・認定医

指導医	日本リウマチ学会指導医	2名
	日本脊椎脊髄病学会指導医	3名
専門医	日本整形外科学会整形外科専門医	36名
	日本リハビリテーション医学会認定専門医	5名
	日本リウマチ学会リウマチ専門医	7名
	日本手の外科学会専門医	3名
その他	日本整形外科学会認定スポーツ医	14名
	日本整形外科学会認定リウマチ医	12名
	日本整形外科学会認定脊椎脊髄病医	14名
	日本整形外科学会認定リハビリテーション医	10名
	日本リハビリテーション医学会認定臨床医	8名
	日本体育協会公認スポーツドクター	17名
	義肢装具等適合判定医	11名

(5) 主な診療実績

	手術項目	患者数
1	手外科関連手術	206
2	脊椎手術	181
3	上肢骨折手術	170
4	下肢骨折手術	160
5	人工股関節置換術	106
6	人工膝関節置換術	80

7	膝関節鏡	67
8	骨軟部腫瘍摘出術	23

2. 高度医療への取り組み

①人工関節置換術	長期耐用に優れた摩耗しない加工のポリエチレンや骨温存型の大腿骨ステムを使用した人工股関節置換やオキシニウム素材を使用している人工膝関節を使用して治療成績が向上している。人工肘関節の有限要素解析を行い、個別別にインプラントの安定性の評価に臨床応用を検討している。
②関節リウマチ	関節リウマチにおける骨粗鬆症を検討し、抗RANKL抗体製剤の投与による変化を検討している。関節リウマチにおける骨粗鬆症の特徴を臨床調査している。
③骨粗鬆症	遺伝子組み換えPTH製剤、SERM、ビスフォスフォネート剤、カルシトニン製剤等を個々の症例にあった治療を行っている。サルコペニアを中心として、骨粗鬆症とロコモティブシンドロームの関係性について臨調調査を行っている。
④スポーツ障害	CTによるACL骨孔の位置評価を行い再建人体の適正位置を確認している。新しいKT2000や超音波機器を用いて関節靭帯のエラスティを測定して障害の診断・治療を行っている。新しいタイプの人工関節であるReverse型人工肩関節手術の施設認定を受けたうえで試行している。
⑤脊椎外科	ハイブリッド手術室を利用し、経皮的な椎弓根スクリューの挿入を行っている。腰椎後弯症に対するPSO(oedicle subtraction osteotomy)による脊椎矯正術を行っている。
⑥上肢の外科	近年進歩の著しい上肢の人工関節、人工関節を使わない関節形成術、TFCC（線湿性三角軟骨複合体）への内視鏡の応用、皮弁形成や血管柄付き骨移植などのマイクロサージャリーを行っている。骨接合インプラントのバイオメカニクス研究の臨床応用を行い、優れた治療成績が得られている。

3. 主な社会・地域貢献活動

	開催年月日	内容(学会・セミナー等)	開催地
1	平成29年7月13日	第38回東京品川運動器カンファレンス	昭和大学病院
2	平成29年9月2日	第10回日本手の外科学会ワークショップ	東京ガーデンパレス
3	平成29年11月22日	第39回東京品川運動器カンファレンス	シェラトン都ホテル東京
4	平成29年12月7日	第40回東京品川運動器カンファレンス	昭和大学病院
5	平成30年3月10日	第8回日本成人脊柱変形学会	東京ガーデンテラス紀尾井町

17) リハビリテーション科

1. 診療体制と実績

(1)

診療科長：(代)板橋 家頭夫 診療科長補佐：依田 光正

(2) 医師数

教授	0名	准教授	1名	講師	1名
助教	0名	助教(医科)	0名		

(3) 臨床研修医受入実績

1年次臨床研修医	0名
2年次臨床研修医	3名

(4) 指導医及び専門医・認定医

指導医	日本リハビリテーション医学会指導医	2名
専門医	日本リハビリテーション医学会専門医	2名
認定医	日本リハビリテーション医学会認定医	2名

(5) 主な診療実績

	診療項目	患者数
1	理学療法処方	2175
2	作業療法処方	1773
3	言語療法処方	338
4	嚥下回診患者数	443

2. 高度医療への取り組み

① 摂食嚥下回診	平成 21 年度より医師、歯科医師、看護師、歯科衛生士、栄養師による摂食嚥下チームが発足し、主治医からの依頼により週一回の定期回診、およびカンファレンスを行なっている。それ以外にも適宜、口腔ケアや病棟指導、嚥下内視鏡や嚥下造影を行なうことにより、入院中摂食・嚥下障害患者に対する積極的なケアを行っている。
② 痙縮に対するボツリヌス療法	平成 22 年 10 月から、上肢、下肢痙縮に対してもボツリヌス療法が保険適用となったのを受け、同年 12 月から外来にて主に脳卒中後遺症による痙縮患者に対しボツリヌス療法を行なっている。

③早期リハビリテーション	ICU・CCU・ER などクリティカルな状況から、多職種参加のカンファレンスを行いながら早期離床を進めるなど早期リハビリテーションに力を入れた。
--------------	--

3. 主な社会・地域貢献活動

	開催年月日	内容(学会・セミナー等)	開催地
1	平成 29 年 10 月 21 日	クリニカルセミナー	品川プリンスホテル

18) 形成外科

1. 診療体制と実績

(1)

診療科長：(代)板橋 家頭夫 診療科長補佐：土佐 泰祥

(2) 医師数

教授	0名	准教授	1名	講師	0名
助教	6名	助教(医科)	2名		

(3) 臨床研修医受入実績

1年次臨床研修医	0名
2年次臨床研修医	12名

(4) 指導医及び専門医・認定医

指導医	臨床修練指導医	1名
専門医	日本形成外科学会専門医	7名
	日本美容外科学会専門医	1名
	皮膚腫瘍外科指導専門医	4名
	日本創傷外科学会専門医	3名
	頭蓋顎顔面外科学会専門医	1名
	手外科専門医	1名
	熱傷専門医	1名
その他	乳房再建エキスパンダー・インプラント責任医師	4名
	乳房増大エキスパンダー・インプラント実施医師	3名

(5) 主な診療実績

1) 平成29年・形成外科手術件数

入院手術	全身麻酔	771件	(合計件) 806
	局所麻酔-その他	35件	
外来手術	全身麻酔	14件	(合計件) 267
	局所麻酔-その他	253件	

2)平成29年度主な疾患における入院診療の実績内訳

手術項目(入院)			主な検査・処置名(外来・入院問わず)		
	手術項目(入院)	患者数		主な検査・処置名(外来・入院問わず)	患者数
1	唇裂・口蓋裂	325	1	鼻咽腔ファイバー検査	42
2	腫瘍切除の組織欠損(一次再建)	166			
3	悪性腫瘍	18			
4	良性腫瘍	205			
5	頭蓋・顎・顔面・先天異常	35			
6	顔面骨骨折	23			
7	瘢痕・瘢痕拘縮・ケロイド	24			
8	難治性潰瘍	11			
9	美容外科	19			
10	四肢先天異常	8			

2. 高度医療への取り組み

① 特殊な装置および技術 特殊な装置および技術を用いた術前鼻歯槽矯正法治療	当院では症例により最新治療である術前矯正を初回口唇鼻形成術前に行なっている。術前に鼻軟骨形態を改善させることで、手術でより正常に近い形態が作りやすくなり、顎裂部に骨架橋が作られれば学童期の移植不要になることが期待される。
② 3次元カメラによる形態評価の臨床応用	当院では、口唇や乳房に対して客観性のある形態評価を行うため3次元カメラを用いた形態の数値化を行い解析している。これら研究で得た知見は口唇口蓋裂や乳房再建の術後成績向上に役立ち、口蓋裂や乳房再建の術後成績向上に役立っている。
③ 微小血管吻合技術	微小血管吻合技術により、頭頸部(蓋・顎顔面)体幹、四肢(軟部組織欠損、指)などの様々移植・修復を行っている。

3. 主な社会・地域貢献活動

	開催年月日	内容(学会・セミナー等)	開催地
1	平成 29 年 9 月 9 日～23 日	マダガスカル共和国口唇口蓋裂医療協力	アンチラベ市・クリニック アベマリア病院

19) 産婦人科

1. 診療体制と実績

(1)

診療科長：関沢 明彦

診療科長補佐：石川 哲也

(2) 医師数

教授	3名	准教授	1名	講師	7名
助教	24名	助教(医科)	0名		

(3) 臨床研修医受入実績

1年次臨床研修医	22名
2年次臨床研修医	11名

(4) 指導医及び専門医・認定医

指導医	日本産婦人科学会指導医	17名
	日本周産期新生児医学会周産期指導医	2名
	日本婦人科腫瘍学婦人科腫瘍指導医	3名
	日本超音波医学会指導医	3名
	日本人類遺伝学会指導医	1名
	日本内分泌学会指導医	1名
	日本女性医学会認定女性ヘルスケア指導医	2名
専門医	日本産婦人科学会専門医	26名
	日本周産期新生児医学会周産期専門医	9名
	日本婦人科腫瘍学婦人科腫瘍専門医	4名
	日本臨床細胞学会細胞診専門医	3名
	日本超音波医学会専門医	5名
	日本生殖医学会専門医	2名
	日本人類遺伝学会専門医	7名
	日本内分泌学会専門医	2名
	日本女性医学会認定女性ヘルスケア専門医	1名
認定医	日本女性心身医学認定医	1名
	日本産婦人科内視鏡学会技術認定医	4名
	日本内視鏡外科学会技術認定医	4名
	日本がん治療認定機構がん治療認定医	7名
その他	がん治療認定医指導責任者	1名
	Da Vinci System Certificate (Console Surgeon)	3名

(5) 主な診療実績

	手術項目 力を入れている症例	患者数
1	分娩数	1181
2	腹式帝王切開	336
3	吸引分娩	38
4	鉗子分娩	27
5	頸管縫縮術	13
6	早産数	152
7	流産数(含人工妊娠中絶)	122
8	体外受精(IVFのみ)	25
9	顕微授精(ICSIのみ)	115
10	IVF+ICSI	42

	主な検査・処置名	患者数
1	悪性腫瘍手術	217
2	腹腔鏡下手術	403
3	良性開腹手術(帝王切開除く)	42
4	子宮鏡手術	91
5	広汎子宮全摘	8
6	ロボット支援下広汎子宮全摘	8
7	腹腔鏡下子宮全摘術	82
8	腹腔鏡下筋腫核出術	73
9	腹腔鏡下卵巣嚢腫手術	163
10	腹腔鏡下仙骨腔固定術	37

2. 高度医療への取り組み

①ロボット支援下子宮悪性腫瘍手術	腹腔鏡手術に比べてロボット手術では視野を十分に拡大して微細な操作が行えます。また、腹腔鏡手術と同様に低侵襲性にも特色があります。子宮頸癌に対する広汎子宮全摘術など先進的な医療として取り組んでいます。
②子宮脱に対する腹腔鏡下仙骨腔固定術	子宮脱の新しい手術方法である腹腔鏡下仙骨腔固定術を行っています。
③母体救命対応総合周産期センター	生命のリスクを伴う妊産婦を無条件で受け入れる周産期センターとして東京都から指定を受けています。産婦人科と救急医学科、麻酔科、小児科との連携で最大限の集中治療を行っています。
④遺伝性腫瘍外来	遺伝性乳がん・卵巣がん症候群に対応するための専門外来を設置しています。乳腺外科との連携下で十分な遺伝カウンセリングと遺伝検査を実施するとともに、予防的卵巣卵管切除術を腹腔鏡手術として提供しています。
⑤胎児精密超音波検査	高度な周産期管理が必要な胎児をスクリーニングする目的で、妊娠初期・中期胎児精密超音波検査を行っています。胎児診断に関する精度と実績には定評があります。一般の産科外来は近隣の連携施設と協力して取り組んでいます。
⑥母体血胎児染色体検査	いわゆる新型出生全検査を行っています。専門的な遺伝カウンセリングと支援体制も充実しています。
⑦腹腔鏡下子宮体癌手術	腹腔鏡下子宮体がん手術を行っています。

3. 主な社会・地域貢献活動

	開催年月日	内容(学会・セミナー等)	開催地
1	平成 29 年 5 月 11 日	第 44 回品川地区産婦人科臨床研究会	昭和大学 臨床講堂
2	平成 29 年 9 月 28 日	婦人科研究会	昭和大学 臨床講堂

20) 小児科

1. 診療体制と実績

(1)

診療科長： 田角 勝

診療科長補佐： 神谷 太郎

(2) 医師数

教授	2名	准教授	2名	講師	4名
助教	19名	助教(医科)	2名		

(3) 臨床研修医受入実績

1年次臨床研修医	19名
2年次臨床研修医	12名

(4) 指導医及び専門医・認定医

指導医	日本アレルギー学会指導医	1名
	日本内分泌学会内分泌代謝科指導医	1名
	日本肥満学会肥満症指導医	1名
	日本てんかん学会てんかん専門医指導医	1名
専門医	日本小児科学会専門医	19名
	日本アレルギー学会専門医	3名
	日本周産期新生児学会専門医	5名
	日本小児神経学会専門医	2名
	日本人類遺伝学会臨床遺伝専門医	2名
	日本内分泌学会内分泌代謝科専門医	1名
	日本動脈硬化学会認定動脈硬化専門医	1名
	日本肥満学会肥満症専門医	1名
日本てんかん学会てんかん専門医	1名	
認定医	日本摂食嚥下リハビリテーション学会認定医	1名
	小児栄養消化器肝臓認定医	1名
	小児精神神経学会認定医	1名
その他	国際認定ラクテーションコンサルタント	1名
	ICD (Infection control doctor)	1名
	NCPR インストラクター	2名

(5) 主な診療実績

	診療項目	患者数
1	食物アレルギー	675
2	呼吸器感染症	94
3	川崎病	91
4	熱性けいれん	40
6	尿路感染症	18
7	ネフローゼ症候群	18
8	胃腸炎	17
9	アトピー性皮膚炎	11
10	IgA 血管炎・紫斑病性腎炎	10

	主な検査・処置名	患者数
1	食物負荷試験	約 1400
2	心臓超音波	約 1000
3	腎臓超音波	約 200
4	腎生検	13

2. 高度医療への取り組み

①食物アレルギーに対する経口免疫療法	食物アレルギー診療において、耐性獲得を目指し主に学童児を対象とした経口免疫療法、乳酸菌製剤介入した経口免疫療法を実施。また早期耐性獲得を目指して幼児を対象とした、食事療法等に取り組んでいる。
②気管支喘息治療	気管支喘息発作時治療として、HFNC(高流量経鼻管)療法に取り組んでいる。
③脳形成障害の包括的診療	滑脳症や小頭症、Aicardi症候群、裂脳症などの脳形成障害合併者に対し、包括的診療(画像診断から遺伝子解析、治療まで)を行っている。
④てんかん症候群の原因診断と遺伝相談	主に乳幼児期に発症する難治性のてんかん症候群に対し、原因遺伝子解析に基づいた遺伝相談を行ない、将来的には原因毎の薬剤選択による効果的で副作用の少ない治療法開発を行っている。

3. 主な社会・地域貢献活動

	開催年月日	内容(学会・セミナー等)	開催地
1	平成 29 年 7 月 10 日	第 53 回日本周産期・新生児医学会学術集会	横浜
2	平成 29 年 9 月 10 日	NICU 卒業生の会	昭和大学
3	平成 30 年 3 月 3 日	天使のあしあとの会(グリーフの会)	昭和大学

21) 泌尿器科

1. 診療体制と実績

(1)

診療科長：小川 良雄

診療科長補佐：森田 順

(2)

教授	1名	准教授	2名	講師	3名
助教	1名	助教(医科)	0名		

(3) 臨床研修医受入実績

1年次臨床研修医	0名
2年次臨床研修医	4名

(4) 指導医及び専門医・認定医

指導医	日本泌尿器科学会指導医	7名
	日本腎臓学会指導医	1名
	日本透析学会指導医	1名
専門医	日本泌尿器科学会専門医	7名
	日本透析学会専門医	2名
	日本腎臓学会専門医	1名
認定医	日本がん治療認定医機構がん治療認定医	4名
	日本泌尿器内視鏡学会技術認定医	3名
	日本内視鏡外科学会技術認定医(泌尿器腹腔鏡)	3名

(5) 主な診療実績

	疾患名(入院)	患者数
1	手術目的入院	434
2	前立腺生検	274
3	尿路感染症	85
4	癌化学療法	61
5	進行癌全身管理	48
6	分子標的薬治	29
7	出血性疾患(膀胱タンポナーデ、腎出血)	21
8	腎不全	8
9	放射線療法	4
10	外傷性疾患	2

	手術項目(入院)	患者数
1	経尿道的膀胱腫瘍切除術(TUR-Bt)	134
2	ロボット支援下根治的前立腺全摘除術(ダ・ヴィンチ)	65

3	経尿道的尿路結石破碎術(TUL, f-TUL)	55
4	腹腔鏡下腎摘除術経尿道的前立腺切除術(TUR-P)	26
5	腎部分切除術	25
6	経尿道的前立腺切除術(TUR-P)	21
7	腹腔鏡下副腎摘除術	13
8	陰嚢水腫手術	13
9	腹腔鏡下腎尿管全摘除術	11
10	膀胱全摘除術	7

	主な検査・処置名(外来・入院問わず)	患者数
1	前立腺生検	274
2	経尿道的尿管ステント留置、交換	187
3	体外衝撃波結石破碎術(ESWL)	38
4	腎ろう造設	27

	診療項目	患者数
1	PTAステント	90
2	下肢静脈瘤	75
3	腹部大動脈瘤	40

2. 高度医療への取り組み

①ロボット支援下根治的前立腺全摘除術(ダ・ヴィンチ)	2013年9月の導入以来、現在前立腺全摘除術のほぼ全例に適用し、現在は毎月曜日に2例の枠を設け、症例数を蓄積させている。また、腎部分切除術に対してもダ・ヴィンチ手術導入の体制を整えた。
②体腔鏡下手術	副腎・腎疾患に対しては、現在ほぼ体腔鏡下手術で積極的に切除を施行している。従来の開腹手術と比較し低侵襲性で入院期間の短縮を図っている。また、腎温存手術(腎部分切除術)にも積極的に取り組み、ミニマム創手術などを併用している。
③転移性腎癌に対する分子標的薬治療、新規免疫療法	切除不能腎細胞癌や腎癌腎摘出後の転移巣に対し、日本導入当初から積極的に施行している。また、平成28年度からは、新たな免疫チェックポイント分子阻害薬も導入され、さらに選択肢の幅を広げている。
④軟性鏡による尿路結石症手術	硬性尿管鏡では破碎困難な尿管結石や腎結石に対し、積極的に軟性尿管鏡とレーザーの使用による手術を施行し、単回手術での結石消失率向上を実現している。

3. 主な社会・地域貢献活動

	開催年月日	内容(学会・セミナー等)	開催地
1	平成29年7月9日	第7回 Showa Urology Conference	昭和大学病院
2	平成30年1月18日	第3階旗の台泌尿器医療連携フォーラム	シェラトン都ホテル東京
3	平成30年2月1日	第9回城南地区腎癌セミナー	目黒雅叙園

22) 耳鼻咽喉科

1. 診療体制と実績

(1)

診療科長： 小林 一女

診療科長補佐： 池田 賢一郎

(2) 医師数

教授	1名	准教授	0名	講師	3名
助教	4名	助教(医科)	0名		

(3) 臨床研修医受入実績

1年次臨床研修医	0名
2年次臨床研修医	10名

(4) 指導医及び専門医・認定医

専門医	日本耳鼻咽喉科学会専門医	13名
	日本気管食道学会専門医	3名
	頭頸部がん専門医	1名
認定医	日本癌認定機構認定医	4名
その他	補聴器適合判定医	4名

(5) 主な診療実績

	手術項目、 力を入れている症例	患者数
1	口蓋扁桃摘出術	233
2	粘膜下鼻甲介骨切除術	175
3	内視鏡下鼻副鼻腔手術	135
4	鼻中隔矯正術	94
5	頸部郭清術	61
6	鼓膜換気チューブ留置術	48
7	鼓室形成術	43
8	乳突洞削開術	40
9	耳下腺良性腫瘍手術	26
10	気管切開術	25

	主な検査・処置名	患者数
1	標準純音聴力検査	5083
2	喉頭ファイバースコープ	3670
3	嗅裂部・鼻咽・副鼻腔ファイバー	1611
4	甲状腺・頸部超音波検査	1541
5	平衡機能標準検査	651
6	鼓室処置	643
7	基準嗅覚検査	612
8	エコー下穿刺吸引細胞診	601
9	静脈性嗅覚検査	363
10	内視鏡下嚥下機能検査	119

2. 高度医療への取り組み

①新生児聴覚スクリーニング	産婦人科、小児科と連携し、当院での新生児全例に聴覚スクリーニングを推奨し、要再検査となった児は出生後初回退院までにより精密な ABR(聴性脳幹反応検査)の検査日程を予定している。このことにより、先天性難聴児への早期の聴覚・言語獲得アプローチを開始するよう努めている。
②神経鞘腫手術	頭頸部腫瘍センターでは、全国から御紹介いただいた手術の難しい神経鞘腫症例を多く取り扱っており、NBI 画像を手術時に併用したり、被膜間摘出術を主に施行することで、術後神経麻痺症状をできるだけ少なくする試みを行っている。

3. 主な社会・地域貢献活動

	開催年月日	内容(学会・セミナー等)	開催地
1	平成 29 年 7 月 1 日	昭和耳鼻咽喉科医会	AP 品川コンベンションルーム
2	平成 29 年 8 月 6 日	「鼻の日」講演会・相談会	昭和大学臨床講堂
3	平成 29 年 9 月 11 日	「SHARE」昭和アレルギーカンファレンス	昭和大学臨床中央棟 7 階会議室
4	平成 30 年 1 月 27 日	昭和耳鼻咽喉科医会	昭和大学臨床講堂
5	平成 30 年 2 月 24 日	SCPT ご家族向け講演会	昭和大学臨床講堂
6	平成 30 年 3 月 12 日	「SHARE」昭和アレルギーカンファレンス	昭和大学臨床中央棟 7 階会議室

23) 放射線科

1. 診療体制と実績

(1)

診療科長：後閑 武彦

診療科長補佐：扇谷 芳光

(2) 医師数

教授	2名	准教授	0名	講師	1名
助教	15名	助教(医科)	0名		

(3) 臨床研修医受入実績

1年次臨床研修医	0名
2年次臨床研修医	23名

(4) 指導医及び専門医・認定医

専門医	日本医学放射線学会放射線診断専門医	5名
	日本核医学会専門医	3名
	日本医学放射線学会放射線治療専門医	2名
	日本インターベンショナルラジオロジー学会専門医	1名
	日本超音波学会専門医	1名
	脳神経外科専門医	1名
認定医	日本核医学会 PET 核医学認定医	4名
	日本乳癌学会認定医	2名
	検診マンモグラフィ読影認定医師	4名
	日本がん治療認定医機構がん治療認定医	2名
	日本がん治療認定医機構暫定教育医	3名
	食道科認定医	1名
その他	日本医学放射線学会研修指導者	7名

(5) 主な診療実績

	検査項目	患者数
1	CT検査	39,441
2	MRI検査	22,655
3	マンモグラフィ	4,747
4	核医学検査	3,506
5	IVR	582

6	上部消化管造影	380
7	排泄性尿路造影・逆行性尿路造影	196

2. 高度医療への取り組み

①診断部門	3TMRI、Dual Energy 192 列 MDCT をはじめとする最新の画像診断装置を使用して、それぞれの疾患の診断に最適と思われる、スライス厚、撮影時間、造影剤注入時間及び最新のMRI撮像シーケンスを選択し、各種画像検査を施行し報告書を作成している。また必要に応じてワークステーションを用い三次元画像、フュージョン画像の作成も行っている。
②血管造影部門	フラットパネルを搭載した血管造影装置による C-Arm CBCT を利用して、血管造影、vascular IVR(血管拡張術や腫瘍や出血病変への経皮的塞栓術、腫瘍への動注化学療法、CVC ポート留置、ステント留置、CVC ポート留置、その他)、non vascular IVR(画像誘導下の膿瘍ドレナージ、腫瘍生検、その他)を行っている。また、先進医療として、TIPS を行っている。
③核医学部門	ガンマカメラとマルチスライス CT が一体となった最新の SPECT-CT 装置を導入している。現在、負荷心筋シンチの吸収補正に使用している。また、高画質、高速撮像が可能な 3 検出器型の SPECT 装置を導入している。また、ドパミントランスポーターシンチを導入している。この検査は、パーキンソン症候群との鑑別が必要となる本態性振戦やレビー小体型認知症との鑑別が必要となるアルツハイマー型認知症の診断に役立つ。

3. 主な社会・地域貢献活動

	開催年月日	内容(学会・セミナー等)	開催地
1	平成 29 年 6 月 20 日	第 11 回旗の台画像診断医療連携の会	シェラトン都ホテル東京

24) 放射線治療科

1. 診療体制と実績

診療科長：加賀美 芳和

診療科長補佐：伊藤 芳紀

(1) 医師数

教授	1名	准教授	1名	講師	1名
助教	4名	助教(医科)	0名		

(3) 臨床研修医受入実績

1年次臨床研修医	0名
2年次臨床研修医	23名

(4) 指導医及び専門医・認定医

専門医	放射線治療専門医	5名
	日本医学放射線学会専門医	2名
認定医	日本がん治療認定医機構がん治療認定医	2名
	医学物理士認定	1名
その他	日本医学放射線学会研修指導者	4名
	日本がん治療認定医機構暫定教育医	2名

(5) 主な診療実績

	外部照射	患者数
1	乳腺	312
2	肺、縦隔	127
3	泌尿器科腫瘍	77
4	頭頸部	54
5	食道	59
6	婦人科腫瘍	61
7	胃、小腸、大腸	34
8	造血、リンパ系腫瘍	28
9	肝胆膵	6
10	脳、脊髄	7

	特殊な外部照射	患者数
1	強度変更放射線治療(IMRT)	93
2	定位放射線治療	33
3	全身照射	6

	小線源治療	患者数
1	子宮頸部	25
2	子宮体部	3
3	乳腺	14
4	前立腺	4

	小線源治療の方法	患者数
1	腔内照射	28
2	組織内照射	18
3	SAVI (組織内照射に含まれる)	14

	その他	患者数
1	ストロンチウム内用療法	0
2	甲状腺ヨード治療 (甲状腺機能亢進症)	0
3	塩化ラジウム内用療法	9

2. 高度医療への取り組み

①多施設共同臨床試験 JCOGへの参加	JCOG放射線治療グループの一員として多施設共同臨床試験に参加し新たな標準治療の開発に寄与している。
②乳房部分照射	SAVI applicator使用による乳房温存手術後の乳房部分照射を乳腺外科と共同研究として開始した。平成26年より始まったSAVI applicator使用による乳房部分照射は、わが国初めての試みである。その先駆者として症例を重ねており、現在54症例施行している。
③画像誘導小線源治療 (IGRT)	小線源治療専用のCT装置を導入しており、子宮頸癌やSAVIなどの腔内照射、組織内照射をより安全かつ正確に施行している。

3. 主な社会・地域貢献活動

	開催年月日	内容(学会・セミナー等)	開催地
1	平成29年5月27日	昭和大学公開講座	昭和大学
2	平成29年6月9日	TJCRO(Tokyo Joint Centers of Radiation Oncology)	ホテル東京ガーデンパレス
3	平成29年8月25日	昭和大学学士後援セミナー	昭和大学
4	平成29年11月24日	TJCRO(Tokyo Joint Centers of Radiation Oncology)	TKP ガーデンシティ お茶の水
5	平成29年12月14日	昭和大学学士会後援セミナー	昭和大学

25) 麻酔科

1. 診療体制と実績

(1)

診療科長：大嶽 浩司

診療科長補佐：上嶋 浩順

(2) 医師数

教授	1名	准教授	3名	講師	4名
助教	20名	助教(医科)	1名		

(3) 臨床研修医受入実績

1年次臨床研修医	72名
2年次臨床研修医	7名

(4) 指導医及び専門医・認定医

指導医	日本麻酔科学会指導医	9名
専門医	日本麻酔科学会専門医	7名
	日本ペインクリニック学会専門医	2名
	日本集中治療医学会専門医	5名
	日本心臓血管麻酔学会専門医	3名
	呼吸療法専門医	2名
認定医	日本麻酔科学会認定医	2名
	日本小児麻酔学会認定医	2名
	日本老年麻酔学会認定医	1名
	日本区域麻酔学会認定医	1名

(5) 主な診療実績

	手術項目、力を入れている症例	患者数
1	全身麻酔	248
2	局所麻酔	3,730

2. 高度医療への取り組み

①高機能麻酔器・生体情報モニタの導入	全身麻酔症例の増加に際し、高機能麻酔器と生体情報モニタを導入し、安全かつ緻密な麻酔管理に努めている。従来の麻酔器搭載生体情報モニタの拡充にも取り組んでいく。
--------------------	--

<p>②超音波ガイド下末梢神経ブロック</p>	<p>高解像度の超音波装置と神経刺激装置を導入し、整形外科の全身麻酔管理の多くの症例に超音波ガイド下末梢神経ブロックを併用している。昭和大学独自のラダー教育システムで認定を受けた医師が施行することでブロックの質を担保し、ブロックによる合併症の減少や麻薬使用量の低減による PONV 発生防止などが期待できる。</p>
-------------------------	--

26) 救急医学科

診療科長：土肥 謙二

診療科長補佐：福田 賢一郎

(2) 医師数

教授	1名	准教授	0名	講師	0名
助教	4名	助教(医科)	0名		

(4) 指導医及び専門医・認定医

指導医	日本救急医学会指導医	1名
専門医	日本救急医学会救急科専門医	3名
	日本脳神経外科学会専門医	1名
認定医	日本麻酔科学会認定医	1名
その他	麻酔標榜医	1名

(5) 主な診療実績

	処置・治療項目	患者数
1	救命のための気管挿管	262
2	気管切開	9
3	カウンターショック	16
4	心膜穿刺	3
5	緊急開胸	9
6	胸腔ドレナージ	16
7	中心静脈カテーテル	80
8	経皮的心肺補助装置	13

	傷病	患者数
1	心肺停止	293
2	外傷	461
3	精神・神経(脳血管障害含む)	216
4	心血管系	149
5	呼吸器	41
6	消化器	99

7	腎・泌尿器	34
8	内分泌・代謝	51
9	感染症	161
10	中毒	92
11	アナフィラキシー	16
12	他	223
	合計	1836

27) 臨床病理診断科

1. 診療体制と実績

(1)

診療科長： 瀧本 雅文

診療科長補佐： 三浦 咲子

(2) 医師数

教授	3名	准教授	3名	講師	2名
助教	2名	助教(医科)	3名		

(3) 臨床研修医受入実績

1年次臨床研修医	0名
2年次臨床研修医	3名

(4) 指導医及び専門医・認定医

指導医	日本病理学会専門医指導医	4名
専門医	日本病理学会専門医	5名
	日本臨床細胞診学会細胞診専門医	5名
	臨床検査専門医	3名
その他	臨床検査管理医	5名
	インфекションコントロールドクター(ICD)	1名

(5) 主な診療実績

	主な検査	件数
1	組織診診断件数 ([迅速組織診診断件数])	16690[861]
2	細胞診診断件数 ([迅速細胞診診断件数])	11868[69]
3	免疫染色件数	2603
4	Her2 テスト、ER、PgR 検査、EGFR 検査数	1593
5	病理解剖数	91
6	末梢血および骨髓血の血液像判読	68418
7	免疫電気泳動判読	429
8	麻疹・風疹ゲノムの検出(倫理委員会承認 1281 号)	3
9	分子疫学手法(パルスフィールド電気泳動、Multi Locus Sequence Typing)による医療行為関連感染原因菌の追跡	50
10	抗菌薬耐性遺伝子、毒素遺伝子、rRNA 領域 DNA の解析による臨床分離菌の解析	400

2. 高度医療への取り組み

①抗体療法への関与	悪性リンパ腫、乳癌、胃癌、大腸癌、悪性中皮腫、神経内分泌腫瘍等において、抗体療法施行の是非に関し、免疫染色を活用することにより、抗体療法使用の可否を検索している。
②院内感染の検査技術	薬剤耐性遺伝子や毒素遺伝子解析とパルスフィールド電気泳動によるゲノム型解析および MLST 解析により、感染経路や拡大状況の解析を行う。

3. 主な社会・地域貢献活動

	開催年月日	内容（学会・セミナー等）	開催地
1	平成 29 年 8 月 20 日	日本病理学会 関東支部 病理夏の学校 病理学サマーセミナー 2017	昭和大学 1 号館 7 階 講堂
2	平成 29 年 11 月 29 日	第 4 回皮膚リンパ腫 臨床・病理セミナー	協和発酵キリン（株） 新宿営業所会議室

28) 歯科・口腔外科

1. 診療体制と実績

(1)

診療科長：岡松 良昌

(2) 歯科医師数

助教	2名
----	----

(3) 臨床研修医受入実績

1年次臨床研修医	10名
2年次臨床研修医	0名

(4) 指導医及び専門医・認定医

認定医	有病者歯科医療学会専門医	1名
-----	--------------	----

(5) 主な診療実績

	手術項目 力を入れている症例	患者数
1	延べ患者数	6545
2	周術期口腔機能管理依頼	552
3	周術期口腔衛生処置	863
4	口腔ケア回診	186
5	嚥下回診口腔評価	1463
6	RST 回診口腔評価	211
7	麻酔科術前外来(1月～)	347

2. 高度医療への取り組み

①なし	対応が必要な場合は歯科病院へ依頼
-----	------------------

3. 主な社会・地域貢献活動

	開催年月日	内容(学会・セミナー等)	開催地
1	平成 29 年 10 月 18 日	第 11 回口腔ケアセンター周術期講習会	昭和大学
2	平成 30 年 2 月 7 日	第 12 回口腔ケアセンター周術期講習会	昭和大学

昭和大学病院 中央診療部門

1) 総合周産期母子医療センター

1-1) 産科部門

1. 人員構成

センター長	関沢明彦
教授	3名
准教授	1名
講師	7名

2. 資格者一覧

日本産婦人科学会指導医	17名
日本周産期新生児医学会周産期指導医	2名
日本超音波医学会指導医	3名
日本人類遺伝学会指導医	1名
日本産婦人科学会専門医	26名
日本周産期新生児医学会周産期専門医	9名
日本超音波医学会専門医	5名
日本生殖医学会専門医	2名
日本人類遺伝学会専門医	7名
日本内分泌学会専門医	2名

3. 業務実績

	項目	患者数
1	分娩数	1181
2	腹式帝王切開	336
3	吸引分娩	38
4	鉗子分娩	27
5	頸管縫縮術	13

4. 主な社会・地域貢献活動、研究業績

	開催年月日	内容(学会・セミナー等)	開催地
1	平成29年5月11日	第44回品川地区産婦人科臨床研究会	昭和大学 臨床講堂
2	平成29年9月28日	婦人科研究会	昭和大学 臨床講堂
3	平成30年3月22日	第7回都区南部周産期ネットワーク研修会	昭和大学 臨床講堂

1) 総合周産期母子医療センター

1-2) 新生児部門

1. 人員構成

センター長	田角 勝
病棟医長	宮沢 篤生
担当医師	7名
看護師長	佐々木 美代子
看護師	50名
発達心理士	1名

2. 資格者一覧(平成 29 年 4 月 1 日)

日本小児科学会専門医	4名
うち指導医	2名
日本周産期新生児医学会新生児専門医	3名
新生児蘇生法(NCPR)インストラクター	3名
国際認定ラクテーションコンサルタント	1名
新生児集中ケア認定看護師	1名
小児看護認定看護師	1名

3. 業務実績

	入院内訳	患者数
1	総入院数	268
	うち 院内出生	248
	院外出生(新生児搬送)	20
2	死亡退院	1
3	専門施設への転院	5
4	戻り搬送	5

	出生体重区分	患者数
1	1,000g 未満	11
2	1,000g 以上 1,500g 未満	22
3	1,500g 以上 2,500g 未満	108
4	2,500g 以上	127

	診療手技	件数
1	動脈管結紮術(心臓血管外科)	2
2	消化管手術(小児外科)	4
3	未熟児網膜症治療(眼科)	2
4	新生児低体温療法	1
5	一酸化窒素吸入療法	5
6	人工呼吸管理	70
7	中心静脈栄養	40

4. 主な社会・地域貢献活動、研究業績

	開催年月日	内容(学会・セミナー等)	開催地
1	平成 29 年 9 月 15 日 平成 29 年 10 月 19 日 平成 29 年 11 月 24 日 平成 29 年 12 月 15 日 平成 30 年 1 月 15 日	新生児蘇生法(NCPR)講習会(Aコース)	昭和大学
2	平成 30 年 3 月 3 日	天使のあしあとの会(グリーフの会)	昭和大学

2) 血液浄化センター

1. 人員構成

センター長	柴田 孝則
看護師長	長谷川 絵里子
医師	10 名
看護師	7 名
臨床工学技士	4 名

2. 資格者一覧

日本透析医学会専門医	9 名
日本透析医学会指導医	4 名
日本アフェレシス学会専門医	2 名
透析看護認定看護師	1 名
透析療法指導看護師	1 名
透析技術認定士	10 名
CAPD 認定指導看護師	1 名
インターベンションエキスパートナース	1 名
アフェレシス学会技術認定士	3 名

3. 業務実績

①血液浄化治療件数

		治療内容	症例／件数	
1		血液透析	458/5156	
2		ポータブル透析	256	
3		CAPD(腹膜透析)	21/209	
4		CHDF(持続的血液濾過透析)	95/679	
5	アフェレシス	PE(単純血漿交換)	14/77	
		DFPP(二重膜濾過血漿分離交換法)	6/13	
		血漿吸着法	LDL 吸着	2/3
			免疫吸着	6/16
		直接血液吸着	エンドトキシン吸着	28/53
		吸着式血球成分除去	GCAP(顆粒球除去療法)	9/67
			LCAP(白血球除去療法)	1/5
	CART(腹水濾過濃縮再静注法)	4/4		
6		腎移植	10	

②透析導入件数

	治療内容	件数
1	血液透析	77件
2	腹膜透析	4件

③認定施設

日本透析医学会認定施設
日本アフェリシス学会認定施設
透析療法従事職員研修・実習指定施設
東京都区部災害時透析医療ネットワーク正会員施設

④透析液清浄度

ET	感度以下	0.001 EU /ml 以下	(2回/月)
生菌	感度以下	0.1 CFU/ml 以下	(2回/月)

⑤院内活動

血液浄化セミナー	3回/年
医療機器安全講習会(透析装置)	2回/年

4. 社会・地域貢献活動、研究業績

	開催年月日	内容(学会・セミナー等)	開催地
1	平成29年9月19日	第8回フレッシュマンセミナー	昭和大学病院

3) 救命救急センター

1. 人員構成

センター長	土肥 謙二
医師	3名
看護師	60名

2. 資格者一覧

DMAT 隊員 医師	6名
DMAT 隊員 看護師	12名
公益社団法人日本看護協会認定看護師	2名

4) ICU

1. 人員構成

ICU 室長	小谷 透
医師	3 名
病棟師長	只野 江理子
その他	呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、消化器一般外科、脳外科各1名 (専従医として勤務) 麻酔科ならびに各診療科から研修医1-2名

2. 資格者一覧

日本集中治療医学会認定専門医	3 名
日本麻酔科学会認定麻酔指導医	3 名
日本呼吸療法医学会認定呼吸療法専門医	3 名

3. 業務実績

①集中治療室入室件数

	検査項目	件数
1	消化器一般外科	648
2	脳外科	403
3	心臓外科	177
4	泌尿器科	103
5	呼吸器外科	92
6	内科	72
7	小児科	26
	総数	1626

②診断名

	診断項目	件数
1	術後	1489
2	急性呼吸不全	43
3	敗血症(ショックを含む)	34
4	意識障害	153
5	急性腎不全	67

4. 主な社会・地域貢献活動、研究業績

	開催年月日	内容(学会・セミナー等)	開催地
1	平成 29 年 7 月 1 日-2 日	呼吸管理フォーラム	昭和大学スキルスラボ
2	平成 29 年 10 月 21 日	第 32 回昭和大学クリニカルセミナー	品川プリンスホテル
3	平成 30 年 2 月 2 日	第 8 回 RST 主催人工呼吸ケアセミナー	昭和大学臨床講堂

5) HCU

1. 人員構成

HCU 室長	小谷 透
病棟師長	高橋 多香子 他看護師 24 名
事務	1 名

2. 資格者一覧

慢性呼吸器疾患認定看護師	1 名
--------------	-----

3. 業務実績

①HCU入室患者(内訳)

平成 29 年度	患者数	緊急入院数
総数	1,479 名	256 名

②診療科別入室患者数

診療科	患者数	診療科	患者数
消化器・一般外科	973	耳鼻咽喉科	4
脳神経外科	131	血液内科	3
呼吸器外科	127	小児科	1
産婦人科	98	皮膚科	1
消化器内科	85	糖尿病代謝・内分泌内科	1
神経内科	81	眼科	1
呼吸器・アレルギー内科	45		
泌尿器科	30		
脳神経内科	29		
乳腺外科	15		
総合診療科	13		
腎臓内科	10		
リウマチ・膠原病内科	9		
腫瘍内科	10		
整形外科	7		
循環器内科	6		
救急医学科	5		
心臓血管外科	4		

③人工呼吸器患者数 57 名

4. 主な社会・地域貢献活動、研究業績

ICU の記載内容を参照

6) CCU

1. 人員構成

CCU 室長	小林 洋一
医師	濱崎 裕司 他医師 5 名
病棟責任者(師長補佐・看護師)	三浦 まき 他看護師 37 名

2. 資格者一覧

循環器学会専門医	5 名
カテーテルインターベンション認定医	1 名
不整脈学会専門医	1 名
超音波学会専門医	1 名
総合内科専門医	3 名

3. 業務実績

①入院患者・診断・剖検数

	入院患者・診断・剖検数	患者数
1	CCU 入院患者数	419
2	循環器内科入院患者数	348
	急性心筋梗塞	111
	不安定狭心症	43
	急性心不全	96
	重症不整脈	33
	肺動脈血栓塞栓症	22
3	死亡数	47(循内 38)

②IABP・PCPS 件数

	IABP・PCPS 件数	患者数
1	IABP	26
2	PCPS	10
3	NPPV	123
4	気管内挿管呼吸器管理	52
5	Nasal high flow	50
6	CHDF	53

③心臓電気生理検査・カテーテルアブレーション・デバイス植え込み

	心臓電気生理検査、カテーテルアブレーション、デバイス植え込み等	患者数
1	心臓電気生理検査	189
2	カテーテルアブレーション	250
3	ペースメーカー植え込み(交換含む)	95
4	植え込み型除細動器植え込み(交換含む)	36
5	両心室ペーシング除細動器付き(交換含む)	6
6	植え込み型ループレコーダー	19

7) リハビリテーションセンター

1. 人員構成

センター長	依田 光正	
技師長補佐	及川 雄司	
その他	専従医師	1名
	非常勤医師	1名
	理学療法士	12名
	作業療法士	7名
	言語聴覚士	3名
	技師(マッサージ師)	1名
	クラーク	1名
	技術補助員	0名

2. 資格者一覧

日本理学療法士協会 専門理学療法士 運動器理学療法専門分野	1名
日本理学療法士協会 専門理学療法士 内部障害理学療法専門分野 呼吸	1名
日本理学療法士協会 認定理学療法士 内部障害理学療法専門分野 循環	1名
日本心臓リハビリテーション学会 心臓リハビリテーション指導士	2名
日本呼吸ケアリハビリテーション学会 呼吸ケア指導士	2名
日本胸部外科学会・日本呼吸器学会・麻酔科学会 3学会合同呼吸療法認定士	3名
がんリハ研修終了者	9名

3. 業務実績

① 平成29年度 疾患別リハビリテーション 患者人数 (単位:件数)

	脳血管	廃用	運動器	呼吸器	心大血管	がん
理学療法	7,124	2,449	10,619	5,034	8,040	5,403
作業療法	9,917	1,951	3,941	3,611	0	1,812
言語聴覚療法	4,903	186	0	0	0	8
合計	21,944	4,586	14,560	8,645	8,040	7,223

② 平成29年度 疾患別リハビリテーション 診療単位数 (単位:単位数)

	脳血管	廃用	運動器	呼吸器	心大血管	がん
理学療法	9,143	2,624	12,857	5,849	15,702	6,260
作業療法	10,166	2,502	5,274	4,683	0	2,477
言語聴覚療法	6,824	225	0	0	0	8
合計	26,133	5,351	18,131	10,532	15,702	8,737

平成 29 年度 部門別診療報酬点数 (単位:点数、加算・リハ総や退院時リハ料などを含む)

理学療法	12,787,844
作業療法	5,523,624
言語聴覚療法	1,755,312
合 計	20,066,780

4. 社会・地域貢献活動

特になし

8) 中央手術室

1. 人員構成

手術部長	村上 雅彦
麻酔科科長	大嶽 浩司
麻酔科医師	27 名
手術室師長	石川 恵美子
手術室看護師スタッフ	54 名
中央材料室	リジョイスカンパニー

2. 業務実績

	年間手術件数	全身麻酔	局所麻酔	合計
1	消化器一般外科	1090	141	1231
2	産婦人科	1136	0	1136
3	整形外科	750	26	900
4	形成外科	742	284	1026
5	乳腺外科	535	30	565
6	泌尿器科	408	9	417
7	耳鼻咽喉科	399	19	418
8	耳鼻咽喉科(頭頸部腫瘍センター)	227	15	242
9	脳神経外科	376	7	383
10	小児外科	221	0	221
11	心臓血管外科	180	0	180
12	呼吸器外科	153	0	153
13	眼科	10	0	10
14	皮膚科	2	168	170
15	小児心臓血管外科	12	0	12
16	小児循環器内科	2	0	2
17	消化器内科	3	0	3
18	循環器内科	10	0	10
19	血液内科	6	0	6
20	小児科	13	0	13
21	救急医学科	2	0	2
	合計	6402	699	7101

9) 緩和ケアセンター

1. 人員構成

センター長	樋口 比登実
医師	3名
看護師	2名
薬剤師	1名

2. 資格者一覧

緩和医療学会暫定指導医	1名
日本麻酔科学会指導医	1名
日本麻酔科学会専門医	1名
日本ペインクリニック学会専門医	1名
精神保健指定医	2名
日本精神神経学会専門医	2名
日本精神神経学会指導医	2名
がん看護専門看護師	1名
緩和ケア認定看護師	1名
緩和薬物療法認定薬剤師	1名

3. 業務実績

①新規依頼件数

	依頼科	人数
1	外科系	63
2	内科系	255
3	婦人科	28
4	泌尿器科	18
5	耳鼻咽喉科	26
6	その他	3
	合計	393

②依頼内容(終了者 248 名について)

	依頼内容	人数
1	症状マネジメント	223
2	精神的サポート	222
3	家族のサポート	16
4	療養先の相談	5

③原発部位

	原発部位	人数
1	肺	85
2	食道	26
3	胃	12
4	大腸	21
5	肝	17
6	胆嚢・胆管	8
7	膵臓	28
8	乳がん	54
9	子宮	19

	原発部位	人数
10	卵巣	12
11	前立腺	13
12	腎臓	11
13	膀胱	5
14	造血器	24
15	頭頸部	20
16	その他	17
17	非がん	12
18	原発不明	7

4. 社会・地域貢献活動

	開催年月日	内容	開催地
1	平成 29 年 7 月 1 日～2 日	緩和ケア研修会	昭和大学
2	平成 29 年 11 月 20 日	第 12 回がん医療研究会	昭和大学病院臨床講堂
3	平成 30 年 2 月 24 日～25 日	緩和ケア研修会	昭和大学
4	平成 29 年 4 月～平成 30 年 3 月 (毎月開催)	緩和ケアセミナーとがん患者サロン	昭和大学 入院棟 17 階会議室

昭和大学病院 中央診療部門

10) 褥瘡ケアセンター

1. 人員構成

褥瘡ケアセンター長	土岐 彰
褥瘡管理者	遠藤 由布
その他	褥瘡ケアチーム 11 名

2. 資格者一覧

日本褥瘡学会 褥瘡認定薬剤師	1 名
皮膚・排泄ケア認定看護師	2 名

3. 業務実績

① 褥瘡回診回数

	定期回診	臨時回診
昭和大学病院	51 件	0 件
昭和大学病院附属東病院	39 件	0 件

② 褥瘡回診新規依頼件数

	件数
昭和大学病院	335 件
昭和大学病院附属東病院	33 件

③ 褥瘡回診延べ患者件数

	件数
昭和大学病院	886 件
昭和大学病院附属東病院	88 件

4. 主な社会・地域貢献活動、研究業績

	開催年月日	内容(学会・セミナー等)	開催地
1	平成 29 年 9 月 12 日	褥瘡ケアセミナー	昭和大学病院
2	平成 29 年 5 月 6 日	東京都病院薬剤師会褥瘡領域養成研究会	東京医科大学病院

11) 腫瘍センター

1. 人員構成

センター長	佐々木 康綱
センター師長	川上 由香子
看護師	13名
薬剤師	3名

2. 資格者一覧

がん化学療法認定看護師	1名
がん指導薬剤師	1名

3. 業務実績

診療科別治療件数

	科別	件数
1	呼吸器内科	7
2	消化器内科	827
3	血液内科	853
4	脳神経外科	11
5	婦人科	421
6	耳鼻科	5
7	泌尿器科	419
8	腫瘍内科	2885
9	乳腺外科	3957
10	小児科	34
11	リウマチ内科	663
12	整形外科	18
13	皮膚科	22
14	消化器外科	2

4. 主な社会・地域貢献活動、研究業績

	開催年月日	内容(学会・セミナー等)	開催地
1	平成29年11月20日	第12回がん医療研究会	昭和大学病院 臨床講堂

12) ブレストセンター

1. 人員構成

センター長	中村 清吾
医師	18名
看護師	5名
その他	11名

2. 資格者一覧

日本外科学会専門医	10名
日本乳癌学会専門医	7名
日本癌治療認定医機構癌治療認定医	5名
乳癌認定看護師	1名

3. 業務実績

①手術件数

	手術名	患者数
1	乳房切除術	311
	内一期的乳房再建術	145
2	乳房温存術	186
	内 SAVI	1
3	マンモトーム生検	148

②検査件数

	検査名	患者数
1	マンモグラフィ	4210
2	DEXA	348
3	マンモトーム生検	148
4	乳房超音波	6488
5	針生検	637

③治療機器

マンモグラフィ	2台
超音波	3台
吸引式針生検	3台
骨密度測定器	1台

4. 主な社会・地域貢献活動、研究業績

	開催年月日	内容(学会・セミナー等)	開催地
1	平成 29 年 7 月 28 日—29 日	第 7 回乳腺腫瘍学セミナー	昭和大学病院

13) 輸血センター

1. 人員構成

輸血センター長	中牧 剛
臨床検査技師	9名

2. 資格者一覧

輸血認定技師	2名
細胞治療認定管理師	3名

3. 業務実績

①輸血実施状況

1	赤血球製剤	11566 単位
2	濃厚血小板製剤	32420 単位
3	新鮮凍結血漿製剤	4876 単位
4	自己血	660 単位

②検査件数

	検査項目	件数
1	血液型検査	10756
2	不規則性抗体検査	12342
3	間接・直接クームス検査	590・361
4	HTLV-1 検査	1105
5	血小板抗体検査	48
6	HLA 検査	103
7	LCT 検査	17
8	亜型検査	5
9	クリオ・パイログロブリン等検査	732
10	Ham・Sugar Water Test	3

③その他

	その他	詳細	件数
1	細胞治療関連	末梢血幹細胞採取・保存・移植に協力	8 症例
		臍帯血移植	10 件
		骨髄移植	4 件
		骨髄濃縮	1 件

2	自己血関連	自己血採血・調整・保存・管理	830 件
		自己フィブリン糊の作製	196 件
3	日本臓器移植ネットワーク事業関連	献腎移植希望登録者の検査・ 血清回収・保存発注業務	49 件

昭和大学病院 中央診療部門

14) 超音波センター

1. 人員構成

センター長	後閑 武彦
臨床検査技師+受付	14名+1名
医師	内科・外科・小児科・耳鼻科・泌尿器科など各診療科

2. 資格者一覧

日本超音波医学会認定	超音波指導医	4名
日本超音波医学会認定	超音波専門医	4名
日本超音波医学会認定	超音波検査士（循環器）	6名
日本超音波医学会認定	超音波検査士（消化器）	5名
日本超音波医学会認定	超音波検査士（体表臓器）	6名
日本超音波医学会認定	超音波検査士（産婦人科）	1名
日本超音波医学会認定	超音波検査士（血管）	1名
日本超音波医学会認定	超音波検査士（泌尿器科）	1名
日本超音波医学会認定	超音波検査士（健診）	1名
日本臨床検査同学院認定	二級臨床検査士（循環生理学）	10名

3. 業務実績

超音波検査件数（超音波センターにおける超音波検査総件数）

	検査項目	件数	件数
1	腹部	4604	4685
2	腹部カラードプラ・造影	435	539
3	心臓（経食道を含む）	8310	8744
4	乳腺	7984	8346
5	体表	2456	2597
6	頸動脈	1700	1705
7	その他	515	642
	合計	26004	27258

15) 内視鏡センター

1. 人員構成

センター長	山村 冬彦
看護師長	平田 葉子
その他	11名

2. 資格者一覧

日本消化器内視鏡学会指導医	9名
日本消化器内視鏡学会専門医	7名
日本消化器病学会指導医	9名
日本消化器病学会専門医	4名
日本消化管学会専門医	2名

3. 業務実績

①内視鏡件数

	検査項目	件数
1	上部内視鏡検査	4534
2	下部内視鏡検査	3520
3	ESD	165
4	消化管止血術	147
5	気管支鏡	254

②内視鏡機器(新規)

PCF-H290ZI
PCF-H290ZL

主な社会・地域貢献活動、研究業績

	開催年月日	内容(学会・セミナー等)	開催地
1	平成29年10月20日	第4回城南消化器内視鏡研究会	臨床講堂

昭和大学病院 中央診療部門

16) 頭頸部腫瘍センター

1. 人員構成

センター長・教授	嶋根 俊和
准教授	勝田 秀行
講師	池田 賢一郎
講師	櫛橋 幸民
講師	江川 峻哉
助教	齊藤 芳郎
助教	鴨志田 慎之助
助教(医科)	北嶋 達也

2. 資格者一覧

日本耳鼻咽喉科学会専門医	4名
日本口腔外科学会専門医	1名
日本口腔外科学会認定医	2名
日本耳鼻咽喉科学会研修指導医	3名
日本口腔外科学会指導医	1名
頭頸部がん指導医	1名
頭頸部がん専門医	1名
日本がん治療認定医	5名
日本気管食道科学会専門医	3名

3. 業務実績

①手術症例件数

	検査項目	件数
1	口腔癌	39
2	中咽頭癌	5
3	下咽頭癌	8
4	喉頭癌	7
5	甲状腺癌	21
6	鼻副鼻腔癌	2
7	耳下腺癌	5
8	顎下腺癌	4
9	頸部郭清	61
10	頭頸部再建手術	13

11	甲状腺腫瘍	14
12	副甲状腺腫瘍	1
13	耳下腺腫瘍	26
14	顎下腺手術	5
15	舌下腺手術	3
16	頸部神経鞘腫	16
17	頸部嚢胞	13
18	声門閉鎖術	1
19	その他頸部良性腫瘍	10

②化学(分子標的薬含む)・放射線療法(超選択的動注含む)

	診療項目	件数
1	化学放射線療法	17
2	化学療法単独(入院)	7
3	放射線療法単独(入院)	6

4. 主な社会・地域貢献活動、研究業績

	開催年月日	内容(学会・セミナー等)	開催地
1	平成 29 年 6 月 24 日	第 338 回昭和大学学士会例会 頸部神経鞘腫手術の最前線	昭和大学歯科病院
2	平成 29 年 11 月 18 日	公益社団法人東京都荏原歯科医師会創立 70 周年記念事業 区民公開講座 口腔がんの診断と治療を知っておこう	スクエア荏原
3	平成 29 年 12 月 2 日	口腔がん検診 公益社団法人東京都荏原歯科医師会・昭和大学 頭頸部腫瘍センター	荏原歯科医師会館
4	平成 30 年 2 月 17 日	昭和大学歯学部同窓会城南支部講演会 たばこ問題と頭頸部癌の最近のトピックス	昭和大学歯科病院

昭和大学病院 中央診療部門

17) 小児循環器・成人先天性心疾患センター

1. 人員構成

教授(センター長・小児循環器内科 診療科長)	富田 英
教授	石野 幸三
准教授(小児心臓血管外科 診療科長)	宮原 義典
准教授	藤井 隆成
講師	旗 義仁
助教	4 名
特任教授	佐野 俊二

2. 資格者一覧

小児科専門医／指導医	6 名／3 名
小児循環器専門医	4 名
循環器専門医	2 名
総合内科専門医／指導医	1 名／1 名
不整脈専門医	1 名
心臓病上級臨床医	2 名
超音波専門医／指導医	1 名／1 名
外科専門医	3 名
心臓血管外科専門医／修練指導医	3 名／2 名

3. 業務実績

手術・カテーテル件数 (平成 30 年 1 月 1 日～3 月 31 日)

	項目	件数(H30.1～3)
1	開心術	9
2	非開心術	6
3	診断カテーテル	17
4	カテーテル治療	13

検査件数 (平成 30 年 1 月 1 日～3 月 31 日)

	項目	件数(H30.1～3)
1	胎児エコー	10
2	CT	15
3	MRI	5

1) 看護部

1. 人員構成

看護部長	城所 扶美子
次長	荒川 千春、吉田 雅子、福地本 晴美、田口 美保、小林 宏栄
師長	32名
その他:係長	65名

職種別

助産師		看護師		准看護師	保育士	看護補助者		
常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	常勤	職員	派遣	委託
51	0	934	5.8	0	5	12	72	20

2. 資格者一覧

①専門看護師

領域	人数	領域	人数	領域	人数
がん看護	5名	急性・重症患者看護	1名	小児看護	1名
母性看護	1名	精神看護	1名	感染症看護	1名

②認定看護師

領域	人数	領域	人数	領域	人数
がん性疼痛	1名	感染管理	2名	集中ケア	3名
緩和ケア	1名	糖尿病看護	1名	小児救急看護	1名
乳がん看護	1名	摂食・嚥下障害看護	1名	救急看護	3名
がん化学療法看護	3名	脳卒中リハビリテーション看護	1名	新生児集中ケア	1名
皮膚・排泄ケア	2名	透析看護	1名	慢性呼吸器疾患看護	1名
がん放射線療法看護	1名	慢性心不全看護	1名	認知症	1名
手術看護	1名	不妊症看護	1名		

③認定看護管理者

認定看護管理者	サードレベル修了者	セカンドレベル修了者	ファーストレベル修了者
4名	7名	35名	84名

3. 業務実績

①院内研修開催数

開催件数	申請者数	参加者数	出席率
70件	4564名	3300名	72.3%

② 認定看護師実習受入れ人数

学校名	学科・領域	人数
東京女子医科大学 看護学部 認定看護師教育センター	透析看護	2名
目白大学メディカルスタッフ研修センター	脳卒中リハビリテーション看護	2名

③ 専門看護師実習受け入れ人数

学校名	学科・領域	人数
旭川医科大学大学院 医学系研究科修士課程看護学専攻	がん看護	2名
昭和大学大学院保健医療学研究科 がん看護専門看護師教育課程	がん看護	1名
聖路加国際大学大学院 看護学研究科修士課程上級実践コース	小児看護	1名
聖路加国際大学大学院 修士課程ウィメンズヘルス上級実践コース	母性看護	1名

④ 基礎教育臨地実習の他施設受け入れ人数

学校名	実習名称	学年	人数
東京医療保健大学	基礎Ⅰ/基礎Ⅱ/小児	1年/2年/3～4年	3名/40名/37名
神奈川県・昭和大学保健医療学部共催 看護師実習指導者講習会	成人Ⅰ・Ⅱ・母性・小児	—	19名

⑤ 外来件数

種類	患者数	種類	患者数
助産指導外来	3917件	がん看護外来	722件
赤ちゃんクラス	499件	ストーマ外来	消化器系 394件
両親・母親学級	660件		泌尿器系 90件

4. 社会・地域貢献活動

開催年月日	内容(学会・セミナー等)	開催地
平成29年5月12日	「看護の日」活動	昭和大学病院・昭和大学病院附属東病院

2) 薬 局

1. 人員構成

薬剤部長・病院薬剤学教授	佐々木 忠徳
課長	白井 敦
副主幹	小林 智子, 池田 幸

2. 資格者一覧

日本病院薬剤師会生涯研修認定	27	日本医療薬学会指導薬剤師	1
日本病院薬剤師会生涯研修履修認定	20	日本医療薬学会がん専門薬剤師	2
日本化学療法学会抗菌化学療法認定薬剤師	4	日本医療薬学会薬物療法専門薬剤師	2
日本緩和医療薬学会緩和薬物療法認定薬剤師	2	日本アンチドーピング機構スポーツファーマシスト	10
日本臨床救急医学会救急認定薬剤師	1	日本薬剤師研修センター認定実務実習指導薬剤師	32
日本医療情報学会医療情報技師	2	日本薬剤師研修センター研修認定薬剤師	14
日本医療薬学会認定薬剤師	3	日本薬剤師研修センター小児薬物療法認定薬剤師	4

3. 業務実績

①調剤件数

外来処方せん	合計(日平均)	入院処方せん	合計(日平均)
枚数(枚)	1836(6.3)	枚数(枚)	142383(390.1)
件数(件)	5748(19.8)	件数(件)	288776(791.2)
院外処方せん発行率	99.1%	注射せん	合計(日平均)
		枚数(枚)	132399(362.7)

②院内製剤調製件数

項目	合計(年)	項目	合計(年)
内用・外用液剤(本)	862	注射剤(本)	591
消毒薬(本)	157	点眼剤(本)	24205
軟膏剤(個)	458	その他無菌(本)	3333
坐剤(個)	359	乾性内用・外用散剤kg	2.635
		乾性錠剤(錠)	15663

③混合調製(中心静脈栄養、入院・外来化学療法)

中心静脈栄養	合計(年)	入院化学療法	合計(年)	外来化学療法	合計(年)
総本数(本)	7425	調製枚数(人)	6144	調製枚数(人)	9550
		調製本数(本)	9504	調製本数(本)	32225

④医薬品情報管理

質疑応答関連	問い合わせ件数(件)	1684	医薬品安全情報報告件数(件)	42
	経過・転帰件数(件)	70	市販直後調査件数(件)	19619
			新規医薬品情報提供件数(件)	69

⑤薬務業務

	内服薬	外用薬	注射薬	合計
採用品目	848	306	801	1955
ジェネリック採用薬	287	91	188	566
院外採用薬	413	135	10	558

⑥薬剤管理指導

	算定件数			
実施患者人数	430点	380点	325点	退院時指導
8673	0	4894	5012	3875

⑦治験薬管理(品目数)

前年度繰越	新規受領	返却済み	次年度繰越
43	20	17	46

⑧学生・研修・見学

薬学生	海外留学生	研修			
230人 (P2-5年)	4人 (2大学)	日本薬剤学会 3名	日本調剤 1名	小児薬物療法 認定薬剤師研修 7名	日本臨床腫瘍薬学会外来 がん認定薬剤師研修 1名

⑨認定施設

日本医療薬学会 認定薬剤師制度による研修施設	日本薬剤師研修センター 認定対象研修実施機関
日本医療薬学会 薬物療法専門薬剤師研修施設	日本薬剤師研修センター 薬局・病院実務研修受入施設
日本医療薬学会 がん専門薬剤師研修施設	

4.社会・地域貢献活動

	開催年月日	内容(学会・セミナー等)	開催地
1	平成29年7月16日	Team Pharmacist Seminar 関節リウマチにおける薬剤師の関わり	昭和大学病院
2	平成29年9月8日	院外処方箋発行に関する情報交換会	昭和大学病院
3	平成30年1月20日	Team Pharmacist Seminar がん疼痛治療の基礎と臨床	昭和大学病院

3) 放射線室

1. 人員構成

准教授(技師長兼務)	佐藤 久弥
その他	56名

2. 資格者一覧

第1種放射線取扱主任者	11名
第2種放射線取扱主任者	1名
マンモグラフィー検診精度管理中央委員会認定	7名
放射線治療品質管理士認定	1名
放射線治療専門放射線技師	1名
医学物理士	2名
放射線管理士	6名
MDIC 認定技師	1名
放射線機器管理士	5名
Ai 認定診療放射線技師	1名
日本核医学専門技師	1名
BLS	35名
ACLS	5名
日本血管撮影・インターベンション専門診療放射線技師	7名
医療情報技師	4名
救急撮影認定技師	7名
X線 CT 認定技師	7名
臨床実習指導教員	2名
医療画像情報精度管理士	3名
エックス線作業主任者	1名
ガンマ線透過写真撮影作業主任者	1名

3. 業務実績

①大学病院検査件数

モダリティ	平成 28 年度	平成 29 年度	モダリティ	平成 28 年度	平成 29 年度
一般撮影	194853	91156	DR 検査	2983	2884
乳房撮影	5150	4652	CT 検査	39904	38671
ポータブル撮影	36384	35589	MRI 検査	22797	22660
心臓カテーテル	1797	1909	核医学検査	3881	3508
DSA 検査	1296	1219	放射線治療	17688	13793

* 単位(件数)

4. 社会・地域貢献活動

	開催年月日	内容(学会・セミナー等)	開催地
1	平成 29 年 4 月 10 日	統括放射線技術部新人研修会	学内 6名(菅野天斗、櫻澤豪、池田裕亮、熊谷香那、山下優夏、田中葵)
2	平成 29 年 4 月 23 日	放射線教育への貢献 第 16 回昭和大学診療放射線技師学術大会	学内
3	平成 29 年 8 月 18~19 日	統括放射線技術部研修会	学内
4	平成 29 年 5 月 ~平成 30 年 3 月	放射線教育への貢献 診療放射線技師臨床実習受け入れ ・北海道医薬専門学校 診療放射線学科 ・鹿児島医療技術専門学校 診療放射線技術学科 ・帝京大学医療技術学部 診療放射線学科 ・東洋公衆衛生学院 診療放射線学科 ・日本医療科学大学 診療放射線科学科 ・駒澤大学 医療健康科学部 診療放射線技術科学科	学内 7名(佐藤久弥、高瀬正、大澤三和、橘高大介、薄井裕美、藤井智希、沼生加奈子)

4) 臨床検査室

1. 人員構成

事務部長	丸地 伸
係長	5 名
臨床検査技師	58 名

2. 資格者一覧

日本臨床検査同学院 1 級臨床検査士(微生物)	1 名
日本検査血液学会 認定血液検査技師	1 名
日本輸血・細胞治療学会認定輸血検査技師	2 名
日本輸血・細胞治療学会細胞治療認定管理師	3 名
日本臨床細胞学会細胞検査士	5 名
日本臨床衛生検査技師会認定一般検査技師	1 名
日本臨床微生物学会認定臨床微生物検査技師	2 名
日本臨床微生物学会感染制御認定臨床微生物検査技師	2 名
日本心電学会認定心電検査技師	3 名
日本睡眠学会睡眠医療認定検査技師	1 名
日本救急検査技師認定機構救急検査認定技師	2 名
日本臨床検査同学院 2 級臨床検査士	53 名

3. 業務実績

① 臨床検査室部門別検査件数

検査項目	平成 28 年度 件数	平成 29 年度 件数
生化学・血清 *	5490057	5784761
血液 *	867500	798618
尿一般 *	142739	153728
細菌	104880	95204
生理	74441	69970
病理 * *	35403	35116
(解剖)	92	91
合計	6715112	6937488

*:緊急検査項目を含む * *:迅速診断、電子顕微鏡、免疫染色含む

② 緊急検査件数

検査項目	平成 28 年度	平成 29 年度
生化学・血清	3825366	3744297
血液	527653	540721
尿一般	40284	54452
病理	956	930
合計	4394259	4340400

※当件数は平成 29 年 4 月 1 日から平成 29 年 12 月 31 日までの情報を算出し、1 年分に演算したものとする。

③ 東病院検査件数

検査項目	平成 28 年度	平成 29 年度
合計	4742	5013

④ 採血件数

検査項目	平成 28 年度	平成 29 年度
昭和大学病院	147117	148959
昭和大学病院附属東病院	25047	23905

5) 栄養科

1. 人員構成

科長補佐	菅野 丈夫
管理栄養士	5名
調理補助	1名
事務職員(派遣)	1名

2. 資格者一覧

日本糖尿病療養指導士認定機構 日本糖尿病療養指導士	3名
日本病態栄養学会 病態栄養認定管理栄養士	3名
日本病態栄養学会 NST コーディネーター	1名
日本病態栄養学会 腎臓病病態栄養専門管理栄養士	1名
日本病態栄養学会 がん病態栄養専門管理栄養士	2名
日本静脈経腸栄養学会 NST 専門療法士	1名

3. 業務実績

①給食数

一般常食	198965食 (36.3%)
一般軟菜	62088食 (11.3%)
流動食	4969食 (0.9%)
学童小児食	13361食 (2.4%)
調乳	29380食 (5.4%)
非加算治療食	75523食 (13.8%)
加算治療食	163188食 (29.8%)
合計	547474食 (100%)

②栄養指導件数(個人指導)

腎臓病	1410件 (44.6%)	脂質異常症	30件 (0.9%)
糖尿病	579件 (18.3%)	消化管疾患	344件 (10.9%)
心臓病	275件 (8.7%)	高血圧	36件 (1.1%)
食物アレルギー	206件 (6.5%)	肝臓病	14件 (0.4%)
肥満	46件 (1.5%)	その他	130件 (4.2%)
糖尿病透析予防指導	54件 (1.7%)	合計	3162件 (100%)
膵臓病	38件 (1.2%)		

③栄養指導件数(集団指導)

糖尿病教室	11 件 /年
-------	---------

④NST 実施件数

循環器内科	232 件 (19.7%)	総合診療科	31 件 (2.6%)
救急医学科	140 件 (11.9%)	心臓血管外科	35 件 (3.0%)
小児外科	121 件 (10.3%)	整形外科	48 件 (4.1%)
脳神経外科	74 件 (11.9%)	乳腺外科	24 件 (2.0%)
血液内科	63 件 (5.4%)	形成外科	1 件 (0.1%)
消化器・一般外科	60 件 (5.1%)	呼吸器外科	4 件 (0.3%)
腫瘍内科	32 件 (2.7%)	リウマチ・膠原病内科	12 件 (1.0%)
呼吸器・アレルギー内科	139 件 (11.8%)	泌尿器科	7 件 (0.6%)
腎臓内科	43 件 (3.7%)	皮膚科	5 件 (0.4%)
消化器内科	53 件 (4.5%)	神経内科	11 件 (0.9%)
産婦人科	21 件 (1.8%)	合計	1176 件 (100%)
耳鼻咽喉科	20 件 (1.7%)		

4. 社会・地域貢献活動

	開催年月日	内容(学会・セミナー等)	開催地
1	平成 29 年 9 月 10 日	昭和大学病院 NICU 卒業生の会(パンダの会) 「離乳食について」	昭和大学 50 周年記念会館

6) 臨床工学室

1. 人員構成

室長 心臓血管外科(教授)	青木 淳
課長	大石 竜
その他	19名

2. 資格者一覧

透析技術認定士	9名
3学会合同呼吸療法認定士	11名
体外循環認定士	4名
日本アフェシス学会認定技士	3名
急性血液浄化認定指導者	1名
第一種 ME 技術実力検定	1名
日本高気圧酸素治療装置操作技士	1名

3. 業務実績

①中央機器管理件数

機器管理内容	件数
人工呼吸器(成人)	6043
人工呼吸器(小児)	2764
機器管理(定期点検)	1259
機器管理(CE点検)	1173
HBO	79
IABP	62

②心臓カテーテル検査件数

機器管理内容	件数
IVR(成人)	1360
IVR(小児)	24
不整脈治療	177
植込み・交換	64

③血液浄化治療件数

治療内容		症例／件数	
血液透析		458/5156	
ポータブル透析		256	
CHDF(持続的血液濾過透析)		95/679	
アフエ レシス	PE(血漿交換)	14/77	
	DFPP(二重膜濾過血漿分離交換法)	6/13	
	血漿吸着法	LDL 吸着	2/3
		免疫吸着	6/16
	直接血液吸着	エンドトキシン吸着	28/53
	血球成分吸着	GCAP(顆粒球除去療法)	9/67
		LCAP(白血球除去療法)	1/5
CART(腹水濾過濃縮再静注方)		4/4	

④手術件数、PCPS

術式	件数
人工心肺症例(脳分離含む)	52
非人工心肺症例	43
TAVI	33
術中自己血回収	87
PCPS	37

⑤院内活動

医療機器安全講習会
人工呼吸器実践講習会

4. 主な社会・地域貢献活動、研究業績

	開催年月日	内容(学会・セミナー等)	開催地
1	平成 29 年 8 月 20 日	東京都臨床工学技士会 Y ボード キッズセミナー	お台場科学未来館
2	平成 29 年 11 月 23 日	日本工学院専門学校臨床工学専攻科 授業	日本工学院専門学校
3	平成 29 年 10 月 4 日	昭和大学看護専門学校 授業	昭和大学看護専門学校
4	平成 30 年 2 月 2 日	東京 DMAT 隊調整員	東京

1) 臨床試験支援センター

1. 人員構成

センター長(医師)	小林 真一
副センター長(薬剤師)	白井 敦
その他	事務 2 名、薬剤師 1 名、CRC 7 名

2. 資格者一覧

日本臨床薬理学会認定医・専門医・指導医	1 名
日本臨床薬理学会認定薬剤師	1 名
日本臨床薬理学会認定 CRC	4 名
日本癌治療学会認定 CRC	1 名

3. 業務実績

①臨床試験受託件数

項目	件数
臨床試験(治験)	27
製造販売後調査	52
臨床研究	12

②治験実績件数

項目	実績
新規例数(例)	78 例
終了報告(件)	25 件
登録終了した治験の実施率(%) ※平成 30 年 3 月現在	77.2%

4. 主な社会・地域貢献活動、研究業績

	開催年月日	内容(学会・セミナー等)	開催地
1	平成 29 年 11 月 17 日	第 22 回 医薬品開発基礎研究会 (臨床研究に関する倫理講習会)	昭和大学病院
2	平成 30 年 1 月 29 日	臨床研究に関する倫理講習会	昭和大学病院
3	平成 30 年 3 月 28 日	臨床研究に関する倫理講習会	昭和大学病院

昭和大学病院 診療運営部門

2) 診療録管理室

1. 人員構成

室長	小林 洋一
診療情報管理士	5名
その他(派遣・委託)	50名

2. 資格者一覧

診療情報管理士	5名
医療情報技師	1名

3. 業務実績

①診療録 閲覧・貸出件数

種別	閲覧・貸出冊数	利用者数
入院診療録	14644冊	3001名
外来診療録	59809冊	6743名

②入院診療録サマリー14日以内受領率

平成29年度	84.8%
--------	-------

③診療情報提供(カルテ開示)件数

平成29年度	78件
--------	-----

④クリニカルパス使用退院患者数

平成29年度(医療者パス)	13,100件
平成29年度(患者パス)	12,821件

⑤院内がん登録 登録症例数

2016年度症例	2,866件
----------	--------

3) 医療情報室

1. 人員構成

室長	大嶽 浩司
課長	井上 宏政
その他	4名

2. 業務実績

- ・病院情報システム 電子カルテの導入

昭和大学病院 診療運営部門

4) 管理課

1. 人員構成

事務部長	丸地 伸
管理課長	中村 武彦
その他	24 名

2. 業務実績

①ワークショップ開催

開催年月日	内容
平成 29 年 6 月 2 日・3 日	統括部長会ワークショップ (統括部長会主催・多職種) 「昭和大学が地域医療を支えるためにできること」
平成 29 年 11 月 17 日	管理課ワークショップ (病院事務部交換研修ワークショップ委員会主催・事務職) 「掲示物の管理方法」

②院内イベント(ボランティアによるコンサート)

開催年月日	内容
平成 29 年 7 月 22 日	第 80 回昭和大学病院院内コンサート 「香蘭女学校‘CHOIR’、女声コーラス‘雅’(コーラス)」
平成 29 年 9 月 30 日	第 81 回昭和大学病院院内コンサート 「おもひでサンデー～歌とマンドリンの調べ～ (マンドリン演奏、昭和歌謡)」
平成 29 年 11 月 25 日	第 82 回昭和大学病院院内コンサート 「昭和大学管弦楽団(管弦楽演奏)」
平成 29 年 12 月 16 日	第 83 回昭和大学病院院内コンサート 「ムーランクリスマスライブ(ギター演奏と歌)」
平成 30 年 1 月 27 日	第 84 回昭和大学病院院内コンサート 「田園調布混声合唱団(合唱)」
平成 30 年 3 月 17 日	第 85 回昭和大学病院院内コンサート 「東隆幸ギター教室アンサンブルクラス(ギターアンサンブル)」

③院外の勉強会・研修会等

開催年月日	内容
平成 29 年 6 月 2 日	第 117 回用度業務研究会
平成 29 年 6 月 2 日	平成 29 年度 第 1 回用度業務研究会第 1 分科会
平成 29 年 6 月 2 日	平成 29 年度 第 1 回用度業務研究会第 2 分科会
平成 29 年 7 月 14 日	第 123 回病院庶務研究会
平成 29 年 10 月 12 日・13 日	第 124 回病院庶務研究会
平成 29 年 10 月 12 日・13 日	平成 29 年度 荏原防火管理研究会視察研修会
平成 29 年 10 月 19 日・20 日	第 118 回用度業務研究会
平成 29 年 12 月 8 日	平成 29 年度 第 2 回用度業務研究会第 1 分科会
平成 29 年 12 月 15 日	平成 29 年度 第 2 回用度業務研究会第 2 分科会
平成 30 年 2 月 2 日	第 119 回用度業務研究会
平成 30 年 2 月 23 日	第 125 回病院庶務研究会

昭和大学病院 診療運営部門

5) クオリティマネジメント課

1. 人員構成

事務部長	丸地 伸
課長	田中 一美
その他	8名(内 派遣職員等3名)

2. 業務実績

① ワークショップ開催

	開催年月日	内容(学会・セミナー等)	開催地
1	平成29年9月15日 平成30年2月17日	病院ワークショップ(対象 診療科長) 「昭和大学病院・東病院の将来ビジョンについて～土日週日化の実行に向けて～」	TKP品川カンファレンス センターANNEX

② 院外の勉強会・研修会等

	開催年月日	内容(学会・セミナー等)	開催地
1	平成29年7月4日・5日	国公立私大附属病院医療安全セミナー	大阪大学医学部附属病院
2	平成29年7月7日	第19回日本医療マネジメント学会学術総会	仙台国際センター
3	平成29年8月22日	アサーティブ・対人対応トレーニングコース	日本生産性本部セミナー
4	平成29年9月17日	第55回 日本医療・病院管理学会学術総会	昭和大学 旗の台キャンパス
5	平成29年10月16日	第10回医療界と法曹界の相互理解のためのシンポジウム	東京地方裁判所
6	平成29年11月16日	医療事故調査制度研修会	東京都医療事故調査等支援団体連絡協議会
7	平成30年2月7日	業務遂行の基礎力向上セミナー	日本生産性本部セミナー
8	平成30年2月27日	患者相談窓口担当者講習会	東京都医療安全支援センター

3. 主な社会・地域貢献活動、研究業績

	開催年月日	内容(学会・セミナー等)	開催地
1	平成29年11月17日	第22回 医薬品開発基礎研究会 (臨床研究に関する倫理講習会)	昭和大学病院
2	平成30年1月29日	臨床研究に関する倫理講習会	昭和大学病院
3	平成30年3月28日	臨床研究に関する倫理講習会	昭和大学病院

6) 医事課

1. 人員構成

事務部長	丸地 伸
医事長	加藤 幹夫
職員数	53 名

2. 業務実績

① 保険診療講習会

開催年月日	内容	開催地
平成 29 年 11 月 22 日	平成 30 年度診療報酬改定の動向 講師:谷澤 正明 (日本血液製剤機構 事業本部 事業戦略部)	臨床講堂
平成 30 年 2 月 15 日	学内機能評価と再指導に向けて 講師:松平 真悟 (昭和大学統括保険診療管理室 室員)	昭和大学上條講堂

② 院外の勉強会・研修会等

開催年月日	内容
平成 29 年 6 月 23 日	医事業務研修会(レセプト点検の精度管理)
平成 29 年 5 月 19 日 平成 29 年 11 月 22 日	都内私立大学附属病院医療保険研究会
平成 29 年 6 月 14~16 日 平成 29 年 10 月 18~20 日	私立医科大学医療事務研究会
平成 29 年 7 月 21 日 平成 30 年 2 月 2 日	7 大学間ベンチマーク会議
平成 29 年 11 月 14 日	診療報酬改定のポイントと医療機関の経営対応
平成 30 年 1 月 17 日	外国人患者の対応支援研修

③ ワークショップ開催

開催年月日	内容
平成 29 年 6 月 23 日	レセプト不備による返戻を減らすために

3. 社会・地域貢献活動、研究業績

●研究業績

学会等発表

発表年月日	学会名、開催地	題名
平成 29 年 7 月 7、8 日	第 19 回日本医療マネジメント学会 学術総会	医事課経験年数に応じた保険請求 業務分担の見直し ～査定抑制の効果～ 発表者：加藤 聡子

7) 医療推進課

1. 人員構成

事務部長	丸地 伸
課長	西正 譲
職員数	73名(内 委託職員 50名・派遣職員 8名)

2. 業務実績

開催年月	内容
平成 29 年 4 月 18 日	城南呼吸器医療連携セミナー
平成 29 年 5 月 19 日	東京都がん診療連携協議会 クリティカルパス部会
平成 29 年 6 月 20 日	放射線画像診断連携の会
平成 29 年 7 月 27 日	旗の台泌尿科フォーラム
平成 29 年 7 月 31 日	品川区地域連携他職種連携勉強会
平成 29 年 10 月 12 日	東京都がん連携パス委員会
平成 29 年 11 月 14 日	城南呼吸器医療連携セミナー
平成 29 年 11 月 21 日	地域医療連携保険セミナー
平成 30 年 1 月 17 日	旗の台泌尿科フォーラム
平成 30 年 2 月 8 日	泌尿器・画像診断医療連携の会

3. 主な社会・地域貢献活動、研究業績

開催年月日	内容(学会・セミナー等)	開催地
平成 29 年 10 月 21 日	第 32 回クリニカルセミナー	セラトン都ホテル東京

昭和大学病院 医療安全管理部門

1) 医療安全管理部門

1. 人員構成

医療安全管理部門長(副院長)	小林 洋一
副部門長(事務部長)	丸地 伸
医療安全管理者(看護師長)	根本 友重
医療安全管理者(看護係長)	二瓶 友美
医薬品安全管理責任者(薬局係長)	野田 秀裕
医療機器安全管理責任者(臨床工学室課長)	大石 竜
その他:(医師、看護師、診療放射線技師、臨床検査技師、患者相談窓口担当者、診療情報管理士、事務)	計:13名

2. 業務実績

①アクシデント・インシデント報告件数(合併症を含む)

分類	インシデント件数	アクシデント件数 (警鐘事例含む)
誤薬(内服・外用)	1135件	7件
誤注射・輸血	1102件	5件
転倒・転落	527件	9件
チューブトラブル	928件	3件
検査・画像	884件	9件
手術・ME	475件	8件
食事・その他	1419件	7件
合併症・偶発症、手術合併症	330件	-
合計	6.800件	48件

②インシデントレポート職種別報告件数(アクシデントは除く)

職種	件数	報告率
医師(研修医含む)	719件	10.5%
看護師	5271件	77.5%
その他	810件	12%
合計	6800件	100%

③医療安全管理部門主催講習会

講習会	開催回数
医療安全講習会(e-ラーニング)	6回
部署別職員研修会	14回
BLS講習会	8回
CVCインストラクター研修会	4回
人工呼吸器実践講習会	8回

3. 主な社会・地域貢献活動、研究業績

①医療安全推進週間

平成29年度の医療安全推進週間を平成29年11月21日から30日まで実施した。平成29年度のテーマは「お薬手帳」と設定し、期間中に在院・来院された方へ「お薬手帳と保険証を一緒に携帯してもらう」ことへのご協力をいただきたい旨を添えたポケットティッシュを配布した。

その他、例年の院内各部署の医療安全に関する取り組みを紹介する「医療安全活動自慢」と「安全標語」の掲示を行い、患者さん・職員全体からの投票を受け付けた。その結果、下記の取り組みが最優秀賞に選ばれた。

活動自慢最優秀賞 <<大学病院>> N11 『シナリオなしの防災訓練』

安全標語最優秀賞 <<大学病院>> CCU 『慣れたころ 遠のく初心と 増す危険』

昭和大学病院 感染管理部門

1) 感染管理部門

1. 人員構成

感染管理部門長(感染症専門医)	二木 芳人	感染管理副部門長(感染症専門医)	詫間 隆博
感染管理副部門長(ICD)	大西 司	医師	福地 邦彦
次長(看護師)	荒川 千春	専従感染管理者(感染症看護専門看護師)	中根 香織
薬剤師	内藤 結花	感染制御認定臨床微生物検査技師	宇賀神 和久
薬剤師	石野 敬子	感染制御専門薬剤師	前田 真之
その他	2名		

2. 資格者一覧

日本感染症学会専門医	3名
日本化学療法学会抗菌化学療法指導医	1名
インフェクションコントロールドクター(ICD)	3名
感染症看護専門看護師	1名
感染制御専門薬剤師	1名
日本化学療法学会抗菌化学療法認定薬剤師	2名
感染制御認定臨床微生物検査技師	1名

3. 業務実績

①新規 MRSA 検出件数

項目	件数・検出率
院内発生新規 MRSA	124 件(昨年 109 件)
持ち込み新規 MRSA(入院後 48 時間以内に検出)	123 件(昨年 199 件)
MRSA 検出率(新規 MRSA/延べ入院患者数×1,000)	0.51/1000days(昨年 0.51)

②針刺し切創・血液曝露事例発生件数

項目	件数
針刺し切創件数	64 件うち未使用針 10 件(昨年 69 件)
血液・体液曝露件数	13 件(昨年 21 件)
針刺し切創事例のうちリキップによる事例	3 件(昨年 5 件)
針刺し切創事例のうち手術室事例	11 件(昨年 19 件)

③ICT(環境)ラウンド件数

場所	回数
病棟(中央棟, 入院棟)	48 回

場所	回数
外 来・検査部門・中材・解剖・歯科	27 回
中央部門(薬局,検査部,栄養科,ME 室,リハビリ,食堂)	26 回

④抗菌薬適正使用ラウンド・AST(抗菌薬適正使用支援チーム)ラウンド件数

場 所	件数
抗菌薬適正使用ラウンド 中央棟,入院棟	48 回
AST ラウンド(血液培養陽性例)	581 例

⑤感染対策講習会(eラーニング)テーマ一覧

	テーマ
1	標準予防策と手指衛生
2	血液培養 2 セット採取
3	抗菌薬の適正使用
4	針刺し・血液体液曝露
5	注意が必要な微生物と感染症の届出
6	個人防護具の活用と感染経路別予防策

4. 主な社会・地域貢献活動、研究業績

①社会・地域貢献活動

開催年月日	内容(学会・セミナー等)	開催地
平成 29 年 5 月 11 日	第 11 回昭和感染症フォーラム	ホテル雅叙園東京
平成 29 年 6 月 19 日	地域連携カンファレンス	昭和大学病院
平成 29 年 10 月 13 日	地域連携カンファレンス	昭和大学病院
平成 29 年 12 月 8 日	地域連携カンファレンス	昭和大学病院
平成 29 年 12 月 7 日	第 12 回昭和感染症フォーラム	ホテル雅叙園東京
平成 30 年 3 月 2 日	地域連携カンファレンス	昭和大学病院

②手洗いキャンペーン

開催年月日	職種	人 数
平成 29 年 10 月 10 日～16 日	医師	33 名
	臨床研修医	4 名
	看護師	94 名
	薬剤師	14 名
	臨床検査技師	22 名
	患者	54 名
	その他	158 名

昭和大学病院 ベッドコントロール管理室

1) ベッドコントロール管理室

1. 人員構成

室長	村上 雅彦
看護次長	吉田 雅子
その他	4名

2. 業務実績

新入院患者数	20,419 人
緊急入院患者数	8,697 人
平均在院日数	10.9 日
病床利用率(全体)	82.8%
病床利用率(一般病棟)	%

1) 総合相談センター

1. 人員構成

センター長(医師)		樋口比登実
専任スタッフ	事務員	立川 純恵 高木 菜穂
	医療連携担当	磯飛 雄一
	退院調整看護師	米村 智子、伊藤 浩、板垣 友子
		女屋 麻利
	患者相談担当看護師	大田 優子
	緩和ケア担当看護師	牧 克仁
ソーシャルワーカー	中澤 恒子、多田 弘美、小川 何奈	
	竹内 香織、藪 かおり、篠崎 真純	
兼任スタッフ	薬相談担当	川手 礼子、和田 紀子
	栄養相談担当	菅野 丈夫
	医療連携担当	山本 茂
	諸法担当	脇坂 美穂、小幡 由美
	ベッド調整担当	伊藤 亜紀子

2. 資格者一覧

緩和ケア認定看護師	牧 克仁
私立大学協会メディエーター研修 修了	大田 優子
がん看護専門看護師	米村 智子
がん相談員基礎研修1～3 修了	大田 優子 米村 智子 板垣 友子 多田 弘美 小川 何奈
がん相談員基礎研修1～2 修了	中澤 恒子
社会福祉士	中澤 恒子 多田 弘美 小川 何奈 竹内 香織 藪 かおり 篠崎 真純
精神保健福祉士	中澤 恒子 多田 弘美 小川 何奈
児童福祉司	多田 弘美

3. 業務実績

① 平成29年度 大学病院総合相談センター 相談件数 表1

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
入院患者ケース数	300	305	292	285	292	292	295	281	303	257	302	317	3521
外来・直接来所患者ケース数	124	98	95	99	83	90	97	80	102	76	68	83	1095
がん相談患者ケース数	302	274	286	278	301	277	292	281	279	206	267	227	3270
総数	726	677	673	662	676	659	684	642	684	539	637	627	7886

② 平成29年度 東病院総合相談センター 相談件数 表2

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
入院患者ケース数	73	82	94	88	96	85	75	72	67	70	85	82	969

外来・直接来所患者ケース数	22	19	21	21	17	14	14	23	31	12	8	8	210
がん相談患者ケース数	3	6	7	5	9	5	4	7	3	4	3	3	59
総数	98	107	122	114	122	104	93	102	101	86	96	93	1238

4. 社会・地域貢献活動

院内

	開催年月日	内容(学会・セミナー等)	開催地
1	平成 29 年 7 月 12 日	昭和大学病院看護部研修「医師の治療方針に関すること～DNARってなに？」(米村智子)	昭和大学病院
2	平成 29 年 7 月 25 日	昭和大学病院看護部研修 放射線療法看護(米村智子)	昭和大学病院
3	平成 29 年 7 月 26 日	昭和大学病院看護部研修 退院調整～退院支援スクリーニングシートの活用(伊藤浩)	昭和大学病院
4	平成 29 年 8 月 29 日	血液内科外来・病棟合同勉強会 ～移植患者を支える社会資源・制度 (多田弘美)	昭和大学病院
5	平成 29 年 4 月～ 平成 29 年 8 月 年 5 回	口唇裂・口蓋裂父母教室 口唇裂・口蓋裂の患者の保護者対象に ソーシャルワーカーが社会資源について 講義 (竹内香織 藪かおり)	昭和大学病院
6	平成 29 年 9 月 1 日	昭和大学病院看護部研修 退院調整～連携部門との情報共有 (板垣友子)	昭和大学病院
7	平成 29 年 9 月 26 日	昭和大学病院看護部研修 退院支援カンファレンス (伊藤浩 板垣友子)	昭和大学病院
8	平成 29 年 10 月 13 日	昭和大学病院看護部研修 がん患者の事例検討(米村智子)	昭和大学病院
9	平成 29 年 11 月 6 日, 11 月 21 日,12 月 5 日	昭和大学病院看護部研修 退院調整～事例を通して考える退院調整 (伊藤浩 板垣友子)	昭和大学病院
10	平成 29 年 5 月 12 日, 11 月 21 日,2 月 13 日, 平成 30 年 2 月 20 日	昭和大学病院 がんサロン 患者・家族を支える社会資源 (中澤恒子 多田弘美 小川何奈)	昭和大学病院
11	平成 29 年 7 月 1 日～ 7 月 2 日 平成 30 年 2 月 24 日～ 2 月 25 日	医師に対する緩和研修プログラム(PEACE) 昭和大学病院 (米村智子 多田弘美)	昭和大学病院
12	平成 29 年度 年 12 回	昭和大学在宅チーム医療教育推進委員会	昭和大学

		委員（中澤恒子）	
13	平成 29 年 12 月 9 日～ 平成 29 年 12 月 10 日	看護キャリア開発・研究センター ELNEC-J(米村智子)	昭和大学病院

院外

	開催年月日	内容(学会・セミナー等)	開催地
1	平成 29 年 5 月 15 日	ターミナルケア／緩和医療学総論「エンド・オブ・ライフを生きる人々の心理とコミュニケーション」講義(米村智子)	昭和大学保健医療学部
2	平成 29 年 6 月 24 日	第 22 回日本緩和医療学会学術大会「子宮腔内照射を受ける進行子宮頸がん患者の特徴と支援体制の検討」(米村智子)	横浜
3	平成 29 年 11 月 10 日	日本赤十字北海道看護大学大学院看護学科研究科 がん看護学特講Ⅱ「スピリチュアルペインと看護援助」講義(米村智子)	日本赤十字北海道看護大学大学院
4	平成 29 年 11 月 10 日	日本赤十字北海道看護大学大学院看護学科研究科 がん看護学特講Ⅱ「放射線療法に伴う看護援助」講義(米村智子)	日本赤十字北海道看護大学大学院
5	平成 30 年 1 月 25 日	摂食・嚥下機能療法研究会 ～急性期病院の役割と地域連携 講演 (中澤恒子)	昭和大学歯科病院
6	平成 30 年 2 月 4 日	第 32 回日本がん看護学会学術集会「治療選択に関する意思決定を行う高齢肺がん患者の実態」口述発表(共同研究者)(米村智子)	千葉
7	平成 30 年 2 月 9 日	品川・荏原多職種合同研修会「大学病院からの地域連携」講演(伊藤浩)	品川区
8	平成 29 年 7 月 31 日, 平成 29 年 10 月 24 日, 平成 30 年 2 月 27 日	2017 年度東京都がん診療連携協議会 相談・情報部会 委員(多田弘美)	都立駒込病院
9	平成 29 年 4 月～ 平成 30 年 3 月 年 10 回	東京都難病医療相談会 相談員 (中澤恒子 小川何奈)	東京都医師会館
10	平成 29 年度	東京都がん診療連携協議会研修部会 看護師小委員会 委員(米村智子)	がん研有明病院
11	平成 29 年度	城南緩和ケア研究会世話人(多田弘美)	品川区
12	平成 29 年度	品川区虐待防止ネットワーク推進協議会委員 (中澤恒子)	品川区
13	平成 29 年度	目黒区高次脳機能障害者支援ネットワーク 会議委員 (中澤恒子)	目黒区
14	平成 29 年度	東京都神経難病医療ネットワーク事業拠点 病院 相談連絡員 (中澤恒子)	東京都

Ⅲ 各部門活動狀況

2 昭和大学病院附属東病院

昭和大学病院附属東病院 診療部門

1) 糖尿病・代謝・内分泌内科

1. 診療体制と実績

(1)

診療科長：平野 勉

診療科長補佐：山本 剛史

(2) 医師数

教授	1名	准教授	0名	講師	4名
助教	4名	助教(医科)	5名		

(3) 臨床研修医受入実績

1年次臨床研修医	18名
2年次臨床研修医	23名

(4) 指導医及び専門医・認定医

指導医	日本糖尿病学会指導医	5名
	日本内分泌学会指導医	1名
専門医	日本糖尿病学会専門医	9名
	日本内分泌学会専門医	2名
	日本動脈硬化学会専門医	2名
	日本老年学会専門医	1名
	日本内科学会総合内科専門医	3名
認定医	日本内科学会認定医	18名

(5) 主な診療実績

	疾患別入院患者数(上位)	患者数
1	2型糖尿病患者	310
2	副腎疾患(うちアルドステロン症)	35(26)
3	糖尿病合併症の増悪、新規発症	30
4	1型糖尿病	25
5	甲状腺疾患	19
6	下垂体疾患	13
7	電解質異常	10

	患者統計	患者数
1	通院外来患者数	4866
2	初診患者数	1157
3	妊娠糖尿病外来患者数	160
4	CGM 件数	137
5	EndoPAT 件数	117
6	入院患者合計	475

2. 高度医療への取り組み

①持続血糖モニタリング Continuous Glucose Monitor (CGM)	外来CGMの運用をおこなっている。CGMを使用することで血糖値を24時間連続して測定することが可能となり、今まで認識できなかった食後高血糖や夜間低血糖などの問題点が明らかになるようになった。
②持続皮下インスリン注入療法 Continuous subcutaneous insulin injection (CSII)	1型糖尿病患者に積極的に導入している。24時間連続的にインスリンを注入するポンプを皮下に挿入することで、時間帯によって基礎インスリンの量を変更するなどの複雑な血糖コントロールが可能となった。新しい機種では上述のCGMと併用することによりオンタイムで血糖値を把握しながら治療することもできるようになっている。
③EndoPAT (血管内皮機能検査)	外来で非侵襲的に血管内皮機能を測定できる体制を整えている。動脈硬化のフェノタイプとして脂質プラークの蓄積や血管平滑筋増生などに伴う狭窄病変は以前から有名であるが、近年血管内皮細胞の老化度が注目されるようになっている。

3. 主な社会・地域貢献活動

	開催年月日	内容(学会・セミナー等)	開催地
1	毎月第2水曜日	糖尿病教室	昭和大学病院
2	毎月第2土曜日	ヘルシースクール	昭和大学病院
3	平成29年11月9日	世界糖尿病デーイベント	昭和大学附属東病院
4	平成29年12月2日	1型糖尿病患者会勉強会	昭和大学病院

2) 神経内科

1. 診療体制と実績

(1)

診療科長：小野 賢二郎

診療科長補佐：矢野 怜

(2) 医師数

教授	1名	准教授	1名	講師	5名
助教	6名	助教(医科)	8名		

(3) 臨床研修医受入実績

1年次臨床研修医	24名
2年次臨床研修医	28名

(3) 指導医及び専門医・認定医

指導医	日本神経学会指導医	5名
専門医	日本神経学会専門医	11名
	日本脳卒中学会専門医	1名
	日本認知症学会専門医	1名
	日本内科学会総合内科専門医	6名
認定医	日本内科学会認定内科医	17名

(5) 主な診療実績

	主要疾患別入院項目	患者数
1	脳梗塞	251
2	てんかん	75
3	パーキンソン病	67
4	認知症	34
5	脳炎・髄膜炎	31
6	多発性硬化症・視神経脊髄炎	20
7	筋萎縮性側索硬化症	14
8	多系統萎縮症	12
9	重症筋無力症	10
10	ギラン・バレー症候群	10

	特殊外来・検査外来	受診者数
1	もの忘れ外来(初診患者数)	72
2	頭痛外来(総受診者数)	526
3	針筋電図・末梢神経伝導検査	124
4	経食道心臓超音波検査	36
5		
6		
7		
8		
9		
10		

2. 高度医療への取り組み

①急性期脳卒中診療	脳神経外科との協力体制のもと、遺伝子組み換え組織プラスミノーゲンアクチベーター(rt-PA)静脈内投与や血管内治療などの急性期再開通療法を駆使し、超急性期から急性期(発症 24 時間以内)の脳卒中患者を対象とした診療を 24 時間体制で行っている。
②アルツハイマー病などの認知症診療	もの忘れ外来を開設し、脳脊髄液バイオマーカー、遺伝子検査、MRI・核医学検査などの画像検査、神経心理学的検査を積極的に活用した精度の高い認知症の診断を行っている。

3. 主な社会・地域貢献活動

	開催年月日	内容(学会・セミナー等)	開催地
1	平成 29 年 5 月 13 日	講演会	昭和大学病院
2	平成 29 年 5 月 29 日	講演会	昭和大学附属東病院
3	平成 29 年 6 月 8 日	講演会	昭和大学附属東病院
4	平成 29 年 7 月 1 日	昭和大学学士会シンポジウム	昭和大学病院
5	平成 29 年 7 月 18 日	昭和大学学士会後援セミナー	昭和大学附属東病院
6	平成 29 年 7 月 28 日	講演会	昭和大学附属東病院
7	平成 29 年 10 月 6 日	講演会	昭和大学附属東病院
8	平成 29 年 10 月 27 日	講演会	昭和大学附属東病院
9	平成 29 年 12 月 9 日	講演会	昭和大学病院
10	平成 30 年 1 月 19 日	講演会	昭和大学病院
11	平成 30 年 2 月 9 日	講演会	昭和大学附属東病院
12	平成 30 年 3 月 2 日	講演会	昭和大学病院
13	平成 30 年 3 月 23 日	昭和大学学士会後援セミナー	昭和大学附属東病院
14	平成 30 年 3 月 30 日	講演会	昭和大学附属東病院

3) 精神神経科

1. 診療体制と実績

(1)

診療科長：岩波 明

診療科長補佐：岡島 由佳

(2) 医師数

教授	1名	准教授	2名	講師	0名
助教	1名	助教(医科)	1名		

(3) 臨床研修医受入実績

1年次臨床研修医	0名
2年次臨床研修医	0名

(4) 指導医及び専門医・認定医

指導医	日本精神神経学会指導医	3名
専門医	日本精神神経学会専門医	5名
その他	精神保健指定医	5名

(5) 主な診療実績

	受診項目	患者数
1	外来患者数(初診)	630
2	外来患者数(再診)	33876

	検査項目	患者数
1	心理検査	450

2. 高度医療への取り組み

①専門外来を設置し、より専門的な治療を目指している	パニック障害外来、物忘れ/認知症外来、アスペルガークリニック、PTSD 外来を開設し、より専門医療に特化した外来を心がけている。
②検査の充実	頭部 MRI、CT、脳波、血液検査などの器質的・身体的検査や心理検査などを組み合わせ、多角的視点から診断確定、治療方針の決定を行なうことを目指している。

3. 主な社会・地域貢献活動

	開催年月日	内容(学会・セミナー等)	開催地
1	平成 29 年 5 月 20 日	昭和大学附属烏山病院春季公開講座	昭和大学附属烏山病院
2	平成 29 年 9 月 2 日	シニアオレンジカフェ(認知症カフェ)	昭和大学附属烏山病院
3	平成 29 年 10 月 14 日	第5回成人発達障害支援研究会	如水会館
4	平成 29 年 11 月 11 日	昭和大学附属烏山病院秋季公開講座	昭和大学附属烏山病院
5	平成 29 年 12 月 2 日	シニアオレンジカフェ(認知症カフェ)	昭和大学附属烏山病院
6	平成 30 年 2 月 3 日	シニアオレンジカフェ(認知症カフェ)	昭和大学附属烏山病院

4) 眼 科

1. 診療体制と実績

(1)

診療科長：高橋 春男

診療科長補佐：恩田 秀寿

(2) 医師数

教授	1名	准教授	1名	講師	3名
助教	4名	助教(医科)	3名		

(3) 臨床研修医受入実績

1年次臨床研修医	0名
2年次臨床研修医	14名

(4) 指導医及び専門医・認定医

指導医	日本眼科学会指導医	6名
専門医	日本眼科学会専門医	8名

(5) 主な診療実績

眼内手術	件数	眼外手術	件数
PEA+IOL	1587	斜視手術	35
PECCE+IOL	32	眼瞼下垂手術	110
IOL 縫着術	40	内反症手術	31
トラベクトミー	58	DCR	2
トラベクトミー	32	SIG	29
BGI	10	眼瞼結膜腫瘍切除術	11
バックリング	95	眼窩底骨折整復術	60
硝子体切除術(剥離)	74	眼窩内側壁骨折整復術	14
硝子体切除術(剥離以外)	288	眼窩内腫瘍摘出術	7
角膜移植	1	翼状片手術	9

2. 高度医療への取り組み

①低侵襲硝子体手術	27Gトロカールを使用し、黄斑前膜剥離術などの硝子体手術を積極的に行った。
②低侵襲緑内障手術	エクスプレスを使用した緑内障手術を積極的に行った。

3. 主な社会・地域貢献活動

	開催年月日	内容(学会・セミナー等)	開催地
1	平成 29 年 4 月 26 日	第 8 回昭和大学眼科学術研究会	目黒雅叙園
2	平成 29 年 10 月 21 日	第 5 回 South Tokyo Ophthalmic Conference	昭和大学臨床講堂
3	平成 29 年 11 月 1 日	第 9 回昭和大学眼科学術研究会	目黒雅叙園
4	平成 29 年 11 月 25 日	第 59 回日本産業・労働・交通眼科学会	昭和大学江東豊洲病院講堂
5	平成 30 年 3 月 3 日	第 5 回 Shinagawa Ophthalmic Meeting	ベルサール東京日本橋

5) 皮膚科

1. 診療体制と実績

(1)

診療科長：末木 博彦 診療科長補佐：岩井 信策

(2) 医師数

教授	2名	准教授	1名	講師	2名
助教	3名	助教(医科)	10名		

(3) 臨床研修医受入実績

1年次臨床研修医	0名
2年次臨床研修医	14名

(4) 指導医及び専門医・認定医

専門医	日本皮膚科学会認定皮膚科専門医	5名
-----	-----------------	----

(5) 主な診療実績

	主な検査・処置	患者数		入院患者	患者数
1	皮膚科光線療法	4359	1	皮膚腫瘍摘出術	80
2	いぼ冷凍凝固術	2692	2	帯状疱疹	75
3	鶏眼・胼胝処置	1093	3	蜂窩織炎・丹毒	72
4	皮膚科 SADBE 療法	873	4	薬疹・中毒疹	33
5	ダーモスコピー	789	5	水疱症	15
6	糸状菌検鏡	250	6	重症下肢虚血	14
7	皮膚生検	161	7	血管炎	12
8	パッチテスト 皮内反応検査	150	8	アトピー性皮膚炎	11
9	陥入爪ワイヤー	117	9	蕁麻疹	6
10	Qスイッチルビーレーザー	67	10	円形脱毛症	5

2. 高度医療への取り組み

①重症型薬疹	重症型薬疹(Stevens-Johnson 症候群:SJS、中毒性表皮壊死症:TEN、薬剤過敏症症候群:DIHS)に対する免疫グロブリン静注療法を含めた集学的治療
②乾癬	尋常性乾癬、膿疱性乾癬、関節症性乾癬に対する生物学的製剤治療(静注・皮下注)

3. 主な社会・地域貢献活動

	開催年月日	内容(学会・セミナー等)	開催地
1	平成 29 年 5 月 13 日	第 21 回昭和大学皮膚科懇話会	東京カンファレンスセンター品川
2	平成 29 年 11 月 17 日	第 81 回日本皮膚科学会東京支部学術大会	京王プラザホテル
3	平成 29 年 11 月 29 日	第4回皮膚リンパ腫臨床・病理セミナー	新宿アイランドタワー

昭和大学病院附属東病院 診療部門

6) 麻酔科（ペインクリニック）

1. 診療体制と実績

(1)

診療科長：大嶽 浩司

診療科長補佐：上嶋 浩順

(2) 医師数

教授	1名	准教授	3名	講師	4名
助教	20名	助教(医科)	1名		

(3) 臨床研修医受入実績

1年次臨床研修医	72名
2年次臨床研修医	7名

(4) 指導医及び専門医・認定医

指導医	日本麻酔科学会指導医	9名
専門医	日本麻酔科学会専門医	7名
	日本ペインクリニック学会専門医	2名
	日本集中治療医学会専門医	5名
	日本心臓血管麻酔学会専門医	3名
	呼吸療法専門医	2名
認定医	日本麻酔科学会認定医	2名
	日本小児麻酔学会認定医	2名
	日本老年麻酔学会認定医	1名
	日本区域麻酔学会認定医	1名

(5) 主な診療実績

	手術項目、力を入れている症例	患者数
1	全身麻酔	248
2	局所麻酔	3730

	主な検査・処置名	患者数
1	星状神経節ブロック	1326
2	硬膜外ブロック	820
3	仙骨ブロック	606
4	超音波ガイド下ブロック	820
5	透視ガイド下ブロック	190

2. 高度医療への取り組み（麻酔科）

①高機能麻酔器・生体情報モニタの導入	全身麻酔症例の増加に際し、高機能麻酔器と生体情報モニタを導入し、安全かつ緻密な麻酔管理に努めている。従来の麻酔器搭載生体情報モニタの拡充にも取り組んでいく。
②超音波ガイド下末梢神経ブロック	高解像度の超音波装置と神経刺激装置を導入し、整形外科の全身麻酔管理の多くの症例に超音波ガイド下末梢神経ブロックを併用している。昭和大学独自のラダー教育システムで認定を受けた医師が施行することでブロックの質を担保し、ブロックによる合併症の減少や麻薬使用量の低減による PONV 発生防止などが期待できる。

高度医療への取り組み（ペインクリニック）

①脊髄刺激療法	難治性疼痛に対するインターベンショナル治療法として施行している。脊髄後索に植え込んだ電極（リード）を通じて様々な電氣的刺激を行い、痛みを軽減する方法。薬物療法や神経ブロック治療に抵抗を示す、難治性の神経障害性痛が適応となる。刺激機器や刺激法は進化しており、従来効果の得られなかった症例でも有効性が確認できた。パーキンソン病の痛み・歩行・姿勢も改善するため、神経内科とも連携して施行している。
②パルス高周波法	特殊な神経ブロック針を用いて、神経に高周波電流を42度で間欠的に通電することで、神経に障害を与えず痛みを軽減する方法。従来の神経ブロックに比較して、長期間の鎮痛効果を得られる。特に、慢性痛に有効である。
③慢性痛におけるビタミンD	近年、ビタミンDはCa代謝以外にも様々な役割があることが報告されてきた。難治性の慢性痛では、ビタミンD欠乏を生じていることもあり、臨床に取り入れている。

3. 主な社会・地域貢献活動

	開催年月日	内容(学会・セミナー等)	開催地
1	平成 27 年 3 月 29 日	第 2 回痛みを考える会	昭和大学
2	平成 27 年 10 月 14 日	第 14 回神経ブロック手技研究会	昭和大学

1) リハビリテーション室

1. 構成

センター長		
部署責任者	相澤 加奈子（作業療法士）	
その他	専任医師(常勤)	1名
	非常勤医師	1名
	理学療法士	4名
	作業療法士	2名
	言語聴覚士	0名
	技師(マッサージ師)	0名
	クラーク	1名
	技術補助員	0名

2. 資格者一覧

日本理学療法士協会 専門理学療法士 運動器理学療法専門分野	1名
日本理学療法士協会 専門理学療法士 内部障害理学療法専門分野	0名
日本理学療法士協会 認定理学療法士 内部障害理学療法専門分野 呼吸	0名
日本理学療法士協会 認定理学療法士 内部障害理学療法専門分野 循環	0名
日本心臓リハビリテーション学会 心臓リハビリテーション指導士	0名
日本呼吸ケアリハビリテーション学会 呼吸ケア指導士	0名
日本胸部外科学会・日本呼吸器学会・麻酔科学会 3学会合同呼吸療法認定士	0名
日本体育協会 公認アスレティックトレーナー	1名
がんリハ研修終了者	2名

3. 業務実績

① 平成 29 年度 疾患別リハビリテーション 患者人数 (単位:件数)

	脳血管	廃用	運動器
理学療法	4633	589	7855
作業療法	4651	572	4074
言語聴覚療法			
合計	9284	1161	11929

② 平成 29 年度 疾患別リハビリテーション 診療単位数

(単位:単位数)

	脳血管	廃用	運動器
理学療法	5568	588	8697
作業療法	6279	676	4637
言語聴覚療法			
合 計	11847	1264	13334

③ 平成 29 年度 部門別診療報酬点数 (単位:点数、加算・リハ総や退院時リハ料などを含む)

理学療法	3327883
作業療法	2548687
言語聴覚療法	
合 計	5876570

4. 社会・地域貢献活動

特になし

2) 手術室

1. 人員構成

手術室室長	高橋 春男
看護師長	武田 恵
看護師	13 名
委託業者	3 名

2. 資格者一覧

手術看護認定看護師	1 名
-----------	-----

3. 業務実績

手術件数

項目	件数
整形外科	425
眼科	3552
合計	3977

2) 薬 局

1. 人員構成

薬局長(代行)	佐々木 忠徳
その他	6名

2. 資格者一覧

日本病院薬剤師会 生涯研修認定	5名
日本病院薬剤師会 生涯研修履修認定	2名
日本病院薬剤師会 認定指導薬剤師	2名
日本病院薬剤師会 感染制御認定薬剤師	1名
日本薬剤師研修センター 認定実務実習指導薬剤師	3名
日本薬剤師研修センター 研修認定薬剤師	2名
日本アンチドーピング機構 スポーツファーマシスト	1名
日本腎臓病薬物療法学会 腎臓病薬物療法認定薬剤師	1名
日本化学療法学会 抗菌化学療法認定薬剤師	1名
日本褥瘡学会 認定褥瘡薬剤師	1名
糖尿病療養指導士認定機構 糖尿病療養指導士	1名
日本リウマチ財団 リウマチ財団登録薬剤師	2名

3. 業務実績

①処方箋業務(月平均)(前年度比)

外来処方箋枚数	99枚(8.9枚)(43.2%)
入院処方箋枚数	25233枚(2102.8枚)(103.4%)
院外処方箋疑義照会件数	4163件(346.9件)(130.1%)

②医薬品情報管理業務(月平均)(前年度比)

医薬品情報提供(問い合わせ)件数	73件(6.1件)(57.9%)
------------------	------------------

③薬剤管理指導業務(月平均)(前年度比)

介入患者数		4964 人(413.7 人)(99.2%)
介入率(介入患者数/全入院患者数)		83.5%
薬剤管理指導人数		2942 人(245.2 人)(99.6%)
退院指導人数		2981 人(248.4 人)(130.5%)
薬剤管理指導	325 点	1802 件(150.2 件)(97.4%)
	380 点	2082 件(173.5 件)(100.4%)
退院時薬剤情報管理指導	90 点	1866 件(155.5 件)(92.3%)
薬剤総合評価調整加算	250 点	79 件(6.6 件)(88.8%)

④治験薬管理(品目数)

診療科名	品目数			
	前年度繰越	新規受領	返却済み	管理中
皮膚科	3	0	3	0
リウマチ・膠原病内科	1	0	0	1
精神神経科	1	0	1	0
神経内科	0	2	0	2
合計	5	2	4	3

⑤学会・病院薬剤師会委員活動等

日本腎臓病薬物療法学会代議員	1 名
私立医科大学協会感染対策協議会薬剤師専門職部会	1 名
東京腎と薬剤研究会世話人	1 名
東京都病院薬剤師会 輸液・栄養領域薬剤師養成特別委員	1 名
東京都病院薬剤師会 褥瘡領域薬剤師養成特別委員	1 名

4. 社会・地域貢献活動

	開催年月日	内容(学会・セミナー等)	開催地
1	平成 29 年 7 月 15 日	第 4 回 Team Pharmacist Seminar	昭和大学病院
2	平成 30 年 1 月 20 日	第 5 回 Team Pharmacist Seminar	昭和大学病院

昭和大学病院附属東病院 診療・患者支援部門

4) 放射線室

1. 人員構成

准教授(技師長兼務)	佐藤 久弥
主査(診療放射線技師)	今井 康人
その他	1名

2. 資格者一覧

放射線管理士	1名
MDIC 認定技師	1名
放射線機器管理士	1名
医療画像情報精度管理士	1名
臨床実習指導教員	1名

3. 業務実績

①東病院検査件数

モダリティ	平成 28 年度	平成 29 年度
一般撮影	11,928	18,445
ポータブル撮影	1,453	1,663
DR 検査	207	206
CT 検査	3,110	4,841

* 単位(件数)

6) 栄養科

1. 人員構成

科長補佐	菅野 丈夫
係長	中田 美江
栄養士	4名
調理師	2名

2. 資格者一覧

日本糖尿病療養指導士認定機構 日本糖尿病療養指導士	1名
日本病態栄養学会 病態栄養認定管理栄養士	1名
日本静脈経腸栄養学会 NST 専門療法士	1名
日本心臓リハビリテーション学会 心臓リハビリテーション指導士	1名
厚生労働大臣 給食用特殊料理専門調理師	1名
厚生労働大臣 調理技能士	1名

3. 業務実績

①給食数

一般常食	57,370食 (45.7%)
一般軟菜	10,202食 (8.1%)
流動食	124食 (0.1%)
学童小児食	187食 (0.1%)
非加算治療食	16,649食 (13.3%)
加算治療食	40,975食 (32.6%)
合計	125,507食 (100%)

②栄養指導件数(個人指導)

糖尿病	706件 (80.5%)
腎臓病	112件 (12.8%)
脂質異常症	28件 (3.2%)
糖尿病透析予防指導	15件 (1.7%)
心臓病	9件 (1.0%)
消化管疾患	1件 (0.1%)
その他	6件 (0.7%)
合計	877件 (100%)

③栄養指導件数(集団指導)

糖尿病教室	46 件 /年
-------	---------

④NST 実施件数

神経内科	211 件 (50.4%)
リウマチ・膠原病内科	120 件 (28.6%)
糖尿病内科	19 件 (4.5%)
整形外科	66 件 (15.8%)
脳神経外科	1 件 (0.2%)
消化器・一般外科	2 件 (0.5%)
合計	419 件 (100%)

4. 社会・地域貢献活動

	開催年月日	内容(学会・セミナー等)	開催地
1	平成 29 年 11 月 9 日	世界糖尿病デー	昭和大学病院附属東病院

2) 管理課

1. 人員構成

事務部長	丸地 伸
課長	市川 三津子
その他	19名

2. 業務実績

① ワークショップ開催

	開催月日	テーマ	主催/参加者	開催場所
1	平成 29 年 9 月 15 日 平成 30 年 2 月 17 日	昭和大学病院・東病院の将来ビジョンについて～土日週日化の実現に向けて～	病院/診療科長 および診療科 長補佐	TKP 品川カンファレンスセンター

② 保険診療講習会

	開催月日	講師	開催場所
1	平成 29 年 11 月 22 日	一般社団法人日本血液製剤機構事業本部 事業戦略部 谷澤 正明 氏	臨床講堂
2	平成 30 年 1 月 30 日	昭和大学統括保険診療管理室 松平 真悟 先生	上條講堂

③ 人権啓発講習会

	開催月日	開催場所	対象者
1	平成 29 年 7 月 20 日	中央棟 7 階会議室	病院管理者層
2	平成 29 年 10 月 25 日	入院棟臨床講堂	病院職員
3	平成 29 年 11 月 28 日	入院棟臨床講堂	病院職員

④ 院内イベント(ボランティアによるコンサート)

	開催月日	開催場所	出演者	演目	参加人数
1	平成 29 年 6 月 23 日	E3 デイルーム	L'allure	フルート三重奏	32名
2	平成 29 年 8 月 25 日	E3 デイルーム	カンタービレ 6	オカリナ演奏	42名
3	平成 28 年 10 月 27 日	E3 デイルーム	ジージーズ	男性カルテット	21名
4	平成 29 年 12 月 22 日	E3 デイルーム	カンタービレ 6	オカリナ演奏	26名
5	平成 29 年 2 月 23 日	E3 デイルーム	L'allure	フルート三重奏	40名

3. 社会・地域貢献活動、研究業績

	開催年月日	内容	開催地
1	平成 29 年 10 月 21 日	クリニカルセミナー	シェラトン都ホテル東京
2	平成 29 年 11 月 9 日	「世界糖尿病デー」イベント	昭和大学病院附属東病院

1) 医療安全管理部門

1. 人員構成

役職	氏名
医療安全管理部門長(病院長)	稲垣 克記
副部門長(管理課長)	市川 三津子
医療安全管理者(看護師長)	彦山 弘子
医薬品安全管理責任者(薬局係長)	嶋村 弘史
医療機器安全管理責任者(診療放射線技師)	今井 康人

2. 業務実績

①アクシデント・インシデント報告件数(合併症を含む)

分類	インシデント件数	アクシデント件数 (警鐘事例含む)
誤薬(内服・外用)	357件	1件
誤注射・輸血	100件	0件
転倒・転落	116件	6件
チューブトラブル	75件	0件
検査・画像	95件	0件
手術・ME	101件	2件
食事・その他	311件	2件
合計	1155件	11件

②インシデントレポート職種別報告件数(アクシデントは除く)

職 種	件数	報告率
医師(研修医含む)	66件	6.8%
看護師	932件	80.6%
その他	157件	12.6%
合計	1155件	100.0%

③医療安全管理部門主催講習会

講習会	開催回数
医療安全講習会(全体講習)	6回
部署別職員研修会	14回
BLS講習会	8回
CVCインストラクター研修会	4回
人工呼吸器実践講習会	8回

4. 主な社会・地域貢献活動、研究業績

①医療安全推進週間

平成29年度は11月21日～11月30日までの期間を医療安全推進週間と定め、「お薬手帳」をテーマにし、期間中に在院・来院された方へ「患者さんの持参薬等の情報を正しく確認するためにお薬手帳を携帯していただく」ことへのご協力をいただきたい旨を添えたポケットティッシュの配布をした。

その他、院内各部署の医療安全に関する取り組みを紹介する「医療安全活動自慢」と「安全標語」の掲示も行った。皆様からの投票の結果、下記の取り組みが最優秀賞に選ばれた。今後も様々な活動を通して、医療安全の推進を図っていくことを広報掲示した。

活動自慢最優秀賞 <東病院> E3病棟 『DVT 発生予防への取り組み』

安全標語最優秀賞 <東病院> 医事係 『安全は一人じゃ守れない！声がけ！指差し！忘れず！』

1) 感染管理部門

1. 人員構成

感染管理部門長(感染症専門医)	二木 芳人	感染管理副部門長(感染症専門医)	詫間 隆博
感染管理副部門長(感染症専門医)	大西 司	医師	矢野 怜
次長(看護師)	荒川 千春	専任感染管理者(感染管理認定看護師)	秋間 悦子
薬剤師	吉川 雅之	臨床検査技師	清野 桂子
その他	2名		

2. 資格者一覧

日本感染症学会専門医	3名
日本化学療法学会抗菌化学療法指導医	1名
インфекションコントロールドクター(ICD)	3名
感染管理認定看護師	1名
感染制御認定薬剤師	1名
日本化学療法学会抗菌化学療法認定薬剤師	1名

3. 業務実績

①新規 MRSA 検出件数

項目	件数・検出率
院内発生新規 MRSA	7 件(昨年 19 件)
持ち込み新規 MRSA(入院後 48 時間以内に検出)	10 件(昨年 11 件)
MRSA 検出率(新規 MRSA/延べ入院患者数×1,000)	0.14/1000days(昨年 0.37)

②針刺し切創・血液曝露事例発生件数

項目	件数
針刺し切創件数	11 件うち未使用針 1 件(昨年 9 件)
血液・体液曝露件数	1 件(昨年 0 件)
針刺し切創事例のうちリキャップによる事例	0 件(昨年 0 件)
針刺し切創事例のうち手術室事例	3 件(昨年 5 件)

③ICT(環境)ラウンド件数

場所	回数
病棟	36 回
外来・中材・手術室	24 回
中央部門(薬局,検査室,栄養科,食堂)	24 回

④抗菌薬適正使用ラウンド・AST(抗菌薬適正使用支援チーム)ラウンド件数

場 所	件数
抗菌薬適正使用ラウンド	48 回
AST ラウンド(血液培養陽性例)	41 例

⑤感染対策講習会(eラーニング)テーマ一覧

	テーマ
1	標準予防策と手指衛生
2	血液培養 2 セット採取
3	抗菌薬の適正使用
4	針刺し・血液体液曝露
5	注意が必要な微生物と感染症の届出
6	個人防護具の活用と感染経路別予防策

4. 主な社会・地域貢献活動、研究業績

①社会・地域貢献活動

	開催年月日	内容(学会・セミナー等)	開催地
1	平成 29 年 5 月 11 日	第 11 回昭和感染症フォーラム	ホテル雅叙園東京
2	平成 29 年 6 月 19 日	地域連携カンファレンス	昭和大学病院
3	平成 29 年 10 月 13 日	地域連携カンファレンス	昭和大学病院
4	平成 29 年 12 月 8 日	地域連携カンファレンス	昭和大学病院
5	平成 29 年 12 月 7 日	第 12 回昭和感染症フォーラム	ホテル雅叙園東京
6	平成 30 年 3 月 2 日	地域連携カンファレンス	昭和大学病院

②手洗いキャンペーン

	開催年月日	職種	人 数
1	平成 29 年 10 月 10 日～16 日	医師	4 名
		看護師	41 名
		薬剤師	6 名
		臨床検査技師	5 名
		患者	42 名
		その他	59 名

病院年報委員会 名簿

委員長	大 嶽 浩 司 (副院長／麻醉科)
委員	矢 野 怜 (神経内科)
委員	魚 住 祥二郎 (消化器内科)
委員	山 田 宏 輔 (消化器・一般外科)
委員	森 田 順 (泌尿器科)
委員	平 川 真由美 (看護部)
委員	白 井 敦 (薬局)
委員	佐 藤 久 弥 (放射線室)
委員	家 泉 桂 一 (臨床病理検査室)
委員	吉 田 勝 彦 (臨床病理検査室)
委員	結 城 祐 磨 (管理課)
委員	飯 田 真 由 (管理課)
委員	戸 塚 る り (管理課)
委員	飯 田 美 香 (東病院管理課)
委員	中 川 梓 (クオリティマネジメント課)
委員	荒 川 博 美 (医事課)
委員	濱 崎 美 和 (医療推進課)

平成29年度 病院年報

平成31年3月発行

編 集	病院年報委員会
発 行	昭和大学病院 〒142-8666 東京都品川区旗の台1-5-8 昭和大学病院附属東病院 〒142-0054 東京都品川区西中延2-14-19
印 刷	(有) 創文社
